

武蔵野公会堂改修等基本計画

武蔵野市

目 次

1	基本計画策定に至る経過について	1
(1)	基本計画策定に至る背景	1
(2)	武蔵野公会堂を取り巻く周辺環境等	3
(3)	武蔵野公会堂の位置づけ・他の文化施設との関係	4
(4)	施設概要	6
(5)	施設の現状と課題	7
(6)	改善が必要な具体的箇所の現況	12
(7)	有識者会議の概要	16
(8)	市民意見聴取の概要	17
2	基本計画策定にあたって	19
(1)	施設更新の基本的な考え方	19
(2)	武蔵野公会堂が改修等により目指すべき姿（施設コンセプト）	20
(3)	改修等の基本方針	21
3	主な改修事項（実現すべき空間・機能）	23
(1)	ホール機能	23
(2)	諸室機能	25
(3)	共用空間等	26
(4)	その他	27
4	事業概算費用	28
(1)	コストバランスに配慮した改修等工事費の設定	28
(2)	改修等工事概算額	28
(3)	今後の設計における改修等内容の精査について	29
5	事業手法の検討	30
(1)	事業手法について	30
(2)	本事業の手法について	32
6	管理運営の考え方	33
(1)	管理運営の現状	33
(2)	運営面における必要な取組み	33
(3)	運営事業者の体制等	34
7	事業スケジュール	34
	【参考資料】	35
	・ 耐震診断結果（抜粋）	
	・ 現行遡及工事概要	
	・ 有識者会議の経過	
	・ 市民意見聴取の経過	
	（アンケート、パブリックコメント等）	
	・ 参考モデルプラン	

1 基本計画策定に至る経過について

(1) 基本計画策定に至る背景

本市は早くから都市化が進み、人口の増加に合わせて昭和 30 年代から公共施設や都市基盤施設を整備、拡充して、市民サービスの充実や質の高いまちづくりに取り組んできた。また、昭和 46(1971)年に策定された「基本構想・長期計画」では、市民の生活空間を「三層構造」として捉え、市全域を対象とする「市」レベル、3駅ごとの交流を図る「駅勢圏」レベル、地域生活単位としての「コミュニティ」レベルと設定し、公共施設を各レベルに位置づけることとした。

本市では、この三層構造の考え方にに基づき、公共施設を効率的、効果的に配置してきた歴史があるが、これらの施設が一斉に更新の時期を迎えており、維持更新に多大な費用が必要となっている。加えて、全国的な少子高齢化が進む中で、将来的にも健全な財政を維持するため、今後も公共施設を効率的、効果的に整備し、必要な投資は行いながらも、施設のあり方を踏まえて過剰な施設建設を抑制する必要がある。また、付加価値の高い魅力あるまちづくりを目指して、必要な市民サービスを適切に提供し、安全で時代のニーズに合った施設整備が求められている。

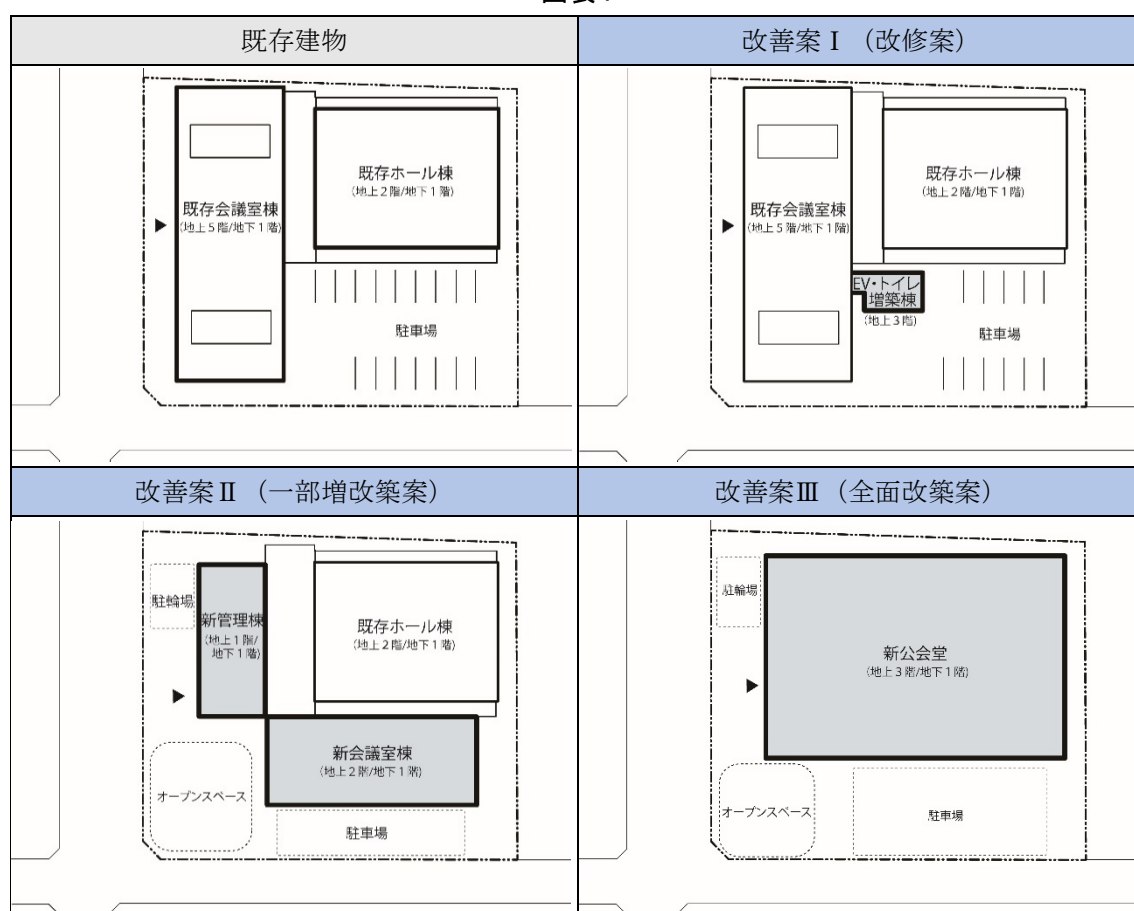
このような背景のもと「第2期武蔵野市公共施設等総合管理計画」では、財政負担の軽減・平準化を図るため、既存施設の長寿命化・延命化も含め、施設ごとに適した更新時期を見定めることが重要であるとし、そのための考え方を整理している。当該計画では「建築物の耐久計画に関する考え方(日本建築学会)」に従い、構造種別に応じて目標とする耐用年数を設定したうえで、その 10 年前に健全度調査等を行い物理的な耐用年数を見定めるとともに、経済性や機能性などを総合的に評価してさらなる延命化を検討し、最終の目標耐用年数を設定することとしている。

一方、武蔵野公会堂の議論としては、「武蔵野市文化施設の在り方検討委員会」(令和元年度・2年度)で、「武蔵野公会堂は引き続きこのエリアにおいて市民文化の交流・発信拠点としての機能を有することが期待される」と提言され、「武蔵野市第六期長期計画」においては、「周辺街区のまちづくりの動向を注視しつつ、エリアが抱える地域課題の解決に向け、まちづくりの将来構想とともに一体的な検討を進める」としている。また、「NEXT 吉祥寺 2021」では、JR 吉祥寺駅南口から都立井の頭恩賜公園に至るパークエリアにおいては「吉祥寺が抱える交通課題の解決に向け、面的な市街地再編も視野に入れつつ、駅周辺に求められる都市機能を検討」し、「パークエリアの将来像を立案」するとし、武蔵野公会堂は「パークエリアのまちづくりの将来構想とともに一体的な検討が不可欠」とであるとされている。

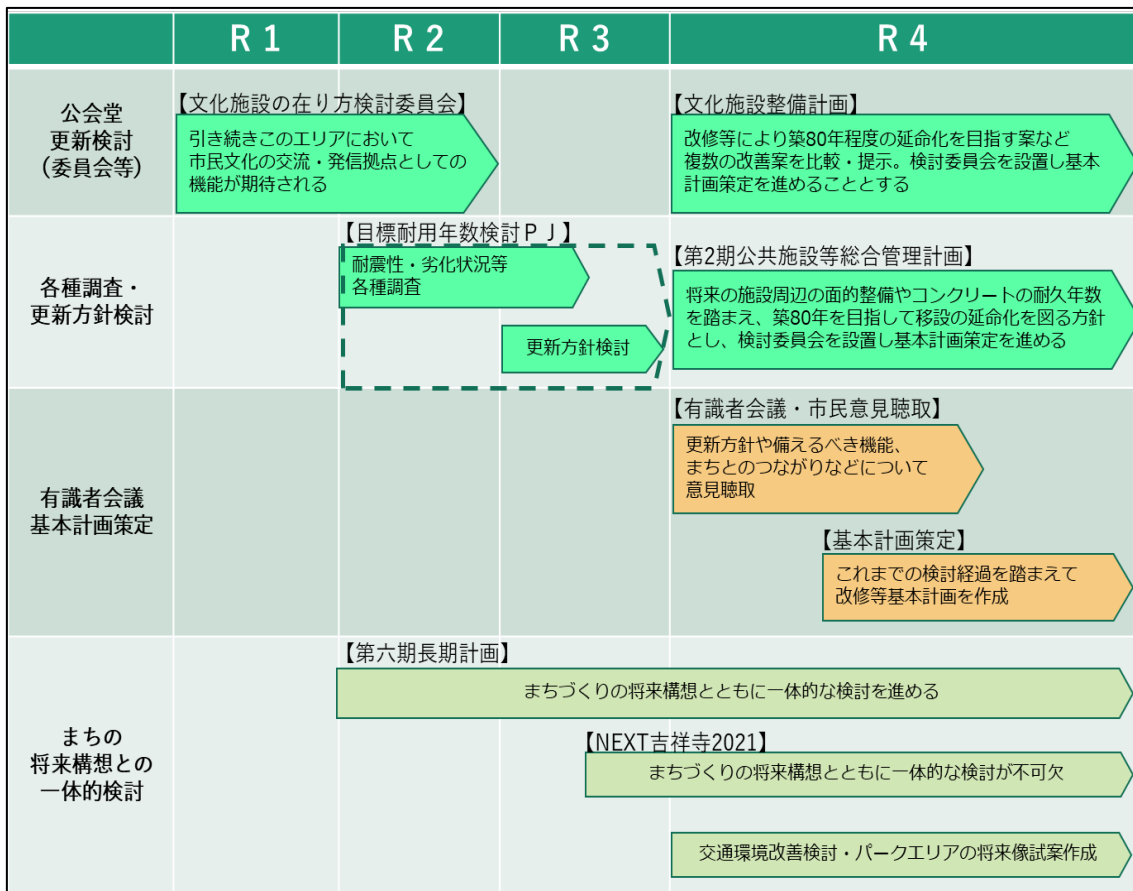
このような中、老朽化が進む武蔵野公会堂をどのように更新するかを検討するため、令和2(2020)年度より各種調査等を開始し、「武蔵野市文化施設整備計画」及び第2期公共施設等総合管理計画において、「コンクリート強度や、耐震性、劣化状況等の各種調査結果に加え、将来の施設周辺の面的整備の可能性や、経済性、まちとのつながり、安全・安心の考え方も踏まえて総合的に検討し、築 80 年の延命化を図る」との方向性を示した。また、この方向性を踏まえ、一部減築や増築を含む改修(以下「改修等」という。)により延命化を図る案と全面建替え案の比較検討を行い、改修等により延命化を図る案(改善案Ⅱ)の優位性が高いとまとめた(図表1参照)。

しかし、更新手法についてはなお専門的見地からの検討が必要であるとの考えから、令和4(2022)年度に「武蔵野公会堂の改修等に関する有識者会議」を設置し、利用上の課題や市民ニーズを確認しながら、ハード面の課題を解消する方策のほか、リハーサル室や控室の必要性など、専門的見地からの検討に基づく具体的な意見を聴取した。これを踏まえて作成した基本計画案を令和5(2023)年2月に公表し、パブリックコメント等の実施を経て、本基本計画を策定したものである(図表2参照)。

図表1



図表 2



(2) 武蔵野公会堂を取り巻く周辺環境等

JR 吉祥寺駅南口には駅前広場が無く、パークロードにおいては駅を利用する多くの歩行者と駅を発着するバスが輻輳しており、駅周辺の交通環境改善が長年の課題となっている。このため、都市計画決定されている南口駅前広場の整備事業と、整備後の更なる交通環境の改善に向けた検討を進めている。

井ノ頭通りは、広域交通を担う幹線道路と交通結節点となるバス乗車場の役割を有しているが、2つの役割に対して十分な空間が確保されていない。狭い歩道にはバス待ちの列と、まちを行き交う多くの歩行者とが交錯しており、快適な歩行空間の創出が望まれている。また、都立井ノ頭恩賜公園に向かう玄関口にふさわしい本格的な空間づくりについても検討を進め、このエリア全体の将来像立案に向け、具体的な取組みを進めていく必要がある。

このような周辺環境の中、武蔵野公会堂は駅と公園を結ぶ経路上に位置しており、また、駅周辺の商業地域と武蔵野公会堂以南の低層住宅地域を結ぶ場所に立地している。よって駅周辺エリアの賑わいや魅力向上に貢献しながらも、住居環境には十分に配慮する必要がある。合わせて安全性や利便性が高く、地域住民や市民、来街者にも親しみのある公共施設となることが期待されている。

また、武蔵野公会堂が面している市道第 151 号線（パープル通り）は都立井の頭恩賜公園へのバリアフリールートとして電線類の地中化なども検討しており、公園を訪れた市民・来街者が気軽に立ち寄りたくなるような、このエリアの顔となる施設として整備することが求められている。



《パークロード》



《井ノ頭通り》



《駅前広場》



《パープル通り》

(3) 武蔵野公会堂の位置づけ・他の文化施設との関係

市の文化施設8施設（図表3参照）のうち、武蔵野公会堂を含め、舞台（ホール・劇場）のある施設は、武蔵野市民文化会館（大ホール、小ホール）、武蔵野芸能劇場（小劇場）、武蔵野スイングホール（スイングホール）、吉祥寺シアター（劇場）の5施設である。

武蔵野市民文化会館は、大ホール（1,252 席）と小ホール（425 席）を備え、クラシックコンサートを中心とした公演事業に多く利用されている。小ホールは、パイプオルガンを設置した音楽専用ホールとなっている。他に練習室、リハーサル室、展示室、会議室、和室、茶室等を備えている。

武蔵野芸能劇場は、小劇場(154 席)と小ホールを有し、現在では、施設設置の主目的である古典芸能に加え、小劇場では演劇、小ホールでは展示をメインに広く利用されている。

武蔵野スイングホールは、武蔵境駅北口の再開発ビル内の公共施設で、イベントホール(180 席、平土間対応が可能)のほか、展示にも使える会議室、レセプションルームを備えている。イベントホールは、ジャズや落語などの公演のほか、移動観覧席による平土間化を活かしたワークショップなどにも使われている。

吉祥寺シアターは、吉祥寺東部地区の新たなイメージ創出を期して開設された、演劇・ダンス等の舞台芸術に特化した施設であり、劇場とけいこ場、カフェを併設している。武蔵野芸能劇場と比べ、有料かつ比較的高額な入場料の公演が上演され、著名な俳優や劇団の上演も多い。

吉祥寺美術館は、商業ビル内に設けており、企画展示室と常設展示室のほか、音楽室を備えている。音楽室は完全防音の設えではないため、楽器演奏の利用には制約があり、合唱・声楽での利用が多い。

市の公共施設配置の考え方のベースとなる三層構造に照らし合わせると、ホール機能に関しては、全市的施設として武蔵野市民文化会館が位置づけられ、駅勢圏施設として吉祥寺エリアの武蔵野公会堂、中央エリアの武蔵野芸能劇場、武蔵境エリアの武蔵野スイングホールと位置づけることができる。なお、吉祥寺美術館や吉祥寺シアター、茶室の松露庵は単一目的施設であり、三層構造の観点からみればそれぞれ全市的施設として位置づけられる。

なお、利用目的が文化施設と一部重なる公共施設としては、コミュニティセンター、市民会館、武蔵野プレイスが挙げられる。コミュニティセンター(分館等含め 20 館)は館ごとに特徴が異なり、芸術文化を含む多様な市民活動の拠点となっている。武蔵境エリアにある市民会館と武蔵野プレイスは、生涯学習施設として幅広い目的で利用されており、市民会館には音楽室や美術工芸室が、武蔵野プレイスには青少年向けの複数のスタジオが備えられている。

図表3



(4) 施設概要

武蔵野公会堂は、市内の公立文化施設としては最も古く、昭和 39(1964)年に開館した。昭和 28(1953)年に市議会に特別委員会が設置されて以降、建設の具体的な検討が始まり、昭和 32(1957)年に市制 10 周年事業として位置づけられ、建設計画が決定している。他の集会施設の状況や文化活動の利便性を高める目的から会議室を増やし、ホール規模は当初の想定から縮小して、集会施設として建設された。昭和 63(1988)年までは市直営で運営され、平成元(1989)年4月から、市民及び地域社会の福祉の増進と文化の向上に寄与するため、文化施設としての位置づけとなり、公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団により運営されてきている。JR 吉祥寺駅南口から徒歩2分と、立地の良さが特徴である。

また、建物は西側に位置する会議室棟と、東側に位置するホール棟の2棟で構成されている。建物造形は、道路に面して 1 階をピロティとして宙に箱が浮くような会議室棟も印象的ではあるが、音響効果や舞台装置に必要なホールの天井形態をそのまま屋根形状としたホール棟の外観意匠が特徴的である。また、コンクリートの打ち放し面には、斜めに幅の違う溝模様が施されているなど、設計者*1の工夫が各所にみられる。

所在地	武蔵野市吉祥寺南町1丁目6番 22 号
敷地面積	1,873.79 m ² (令和4(2022)年5月実測値) * 前面道路の区域変更により、検査済取得時敷地面積(1,954.05 m ²)から変更
用途地域	商業地域(建ぺい率:80%、容積率:600%)、防火地域、埋蔵文化財包蔵地域
前面道路	西側:市道第 151 号線(幅員:8.0m) * 平成 12(2000)年 幅員 6.0mから 8.0m に道路区域変更 南側:市道第 151 号線(幅員:5.45m)
開館年	昭和 39(1964)年1月
構造・規模	鉄筋コンクリート造、地下 1 階／地上3階(建築確認上は地下 1 階／地上5階) 建築面積:1,061.41 m ² 、延べ面積:2,486.62 m ²
施設構成	【ホール棟】 舞台・客席(約 317 m²・350 席・固定席)、楽屋(約9m²・2 室)、ロビー(約 126 m²)、調光室、照明室、映写室、トイレ、倉庫 【会議室棟】 会議室(6室・合計約 481 m²)、和室(約 54 m²・2室、うち 1 室は茶室機能あり)、給湯室、トイレ 【管理部門、外構】 事務室(約 36 m²)、機械室等(約 188 m²)、防災備蓄倉庫(約 82 m²)、駐車場(収用台数 14 台)、駐輪場(収用可能台数 50 台程度) ※各諸室の面積は図面上の壁芯の面積であり内寸値と異なる。

*1 建物の設計業務は、日建設計工務（現株式会社日建設計）が担当した。



《会議室棟》



《ホール棟》

(5) 施設の現状と課題

① 施設の物理的劣化等状況

令和2(2020)年度から3(2021)年度にかけて実施した各種調査の結果、コンクリートについては、全体的に中性化の進行は認められず、圧縮強度の各階の平均値はすべて所定の強度を上回っており、健全な状態が確認できた。

しかし、屋上の防水や軒裏をはじめ、外壁の塗装剤、壁面のひび割れやモルタルの浮きのほか、スチール製の外部建具など、経年による劣化が進行しており、特に給排水管等は劣化が著しく進行している箇所が見られ、早急な設備更新が必要な状況である。また、竣工時から使用している機械設備等もあり、想定耐用年数を大幅に超過しているため、機器全体の更新が必要である。耐震性能については、法令で定める所定の基準を確保しており安全と判断されたが、本施設は帰宅困難者用一時滞在施設としての機能が課せられており、本市の定める基準に照らすと、会議室棟の2階及び3階で補強が必要との結果となった。

② 施設の機能的劣化状況

機能的劣化とは、新築時には最新であった設備や機器が、技術の進歩により優れた機能を持つものにとって代われ、その建物の付加価値が下がっていることを指す。本施設においては、防音性能の不足のほか、設備機器や映像・音響設備が旧式のものであるため、最新の機器と比べエネルギー効率が悪く、使用を続けることでランニングコストの増加や、作動動作の悪化によるメンテナンスの回数・費用の増加といった悪影響も懸念される。

③ 施設の社会的劣化状況

社会的劣化とは、ライフスタイルや社会的ニーズの変化により要求性能が向上し、施設利用者ニーズと建物自体にギャップが生じることである。本施設においては、エレベーターの未設置や車いす使用者用の客席不足など、バリアフリー化への対応が不足していることをはじめ、リハーサル室や練習室、楽屋が不足していること、舞台空間の不足や客席空間の狭さなど、多くの課題を抱えており、高度化・多様化した新しい演出等に対応できる舞台系設備の整備も含め、将来を見据えた改善が求められている。

また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症予防対策や、アスベストの除去等対策など、新たな社会的ニーズにも対応していく必要がある。中でも機械設備等については、高効率機器の採用による省エネルギー化等により二酸化炭素の排出抑制を目指すなど、本市が設定する環境配慮を行うことが不可欠となっている。

④ 関係法令等に関する既存不適格等の整理

令和3(2021)年度に現況調査を行った結果、「建築基準法」に規定の構造仕様、防火設備、内装制限、非常用出入口、排煙設備、換気有効窓開口等や、「東京都建築安全条例」における避難経路、客席部の出入口幅・構造、楽屋・倉庫と舞台部の区画において、既存不適格^{*2}となっていた。

また、「東京都火災予防条例」では客席通路幅の不足、「東京都駐車場条例」の1台当たりの設置寸法や誘導標識などが既存不適格となっていた。さらに、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び「東京都高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例」において、便所内の設備、段差スロープの素材・寸法、昇降機の設置等が既存不適格であるとされた。

その他、「武蔵野市まちづくり条例」や「武蔵野市みどりの保護育成と緑化推進に関する条例」、「東京都における自然の保護と回復に関する条例」において、敷地内の緑化面積や環境配慮の措置で再生可能エネルギーの利用や空調・照明・給湯設備の省エネルギー利用、景観配慮等の規定が既存不適格となっている。

このため、既存建築物の増築等を行う場合には、原則として現在の法令等が遡及適用されることとなり、これらに対応する改修等が必要となる。

^{*2} 既存不適格：基準時（工事着手時等）の法令等の規定に適合していた建築物で、その後法令等の改正により現行の法令等の規定に適合しなくなった建築物のこと。

⑤ その他の配慮すべき項目

令和4(2022)年度に実施したアスベスト含有調査により、各階の各室、各所からアスベストが含まれているとの結果が出たため、改修等においては適正な処理を行う必要がある。

また、今後市において前面道路の電線類地中化計画があるため、西側道路部に地上機4台を設置する必要がある、設計時にはこれを視野に調整、検討を行う必要がある。

なお、令和5(2023)年度に「武蔵野市公共施設の環境配慮指針」を策定する予定のため、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」における特定建築行為に該当する場合には、当該指針に準拠した建築物になるよう努める必要がある。さらに、武蔵野市が独自に定める「耐震安全性能基準」を満たした耐震性能を有するよう計画する必要がある。

⑥ 施設の利用状況

ホールの利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響が生じる前の平成 30(2018)年度以前の5年間で、73.8%から 92.5%まで変動がある(平成 28(2016)～29(2017)年度の利用率は9割超と高く、武蔵野市民文化会館の大規模改修による休館等の影響と考えられる)(図表4)。

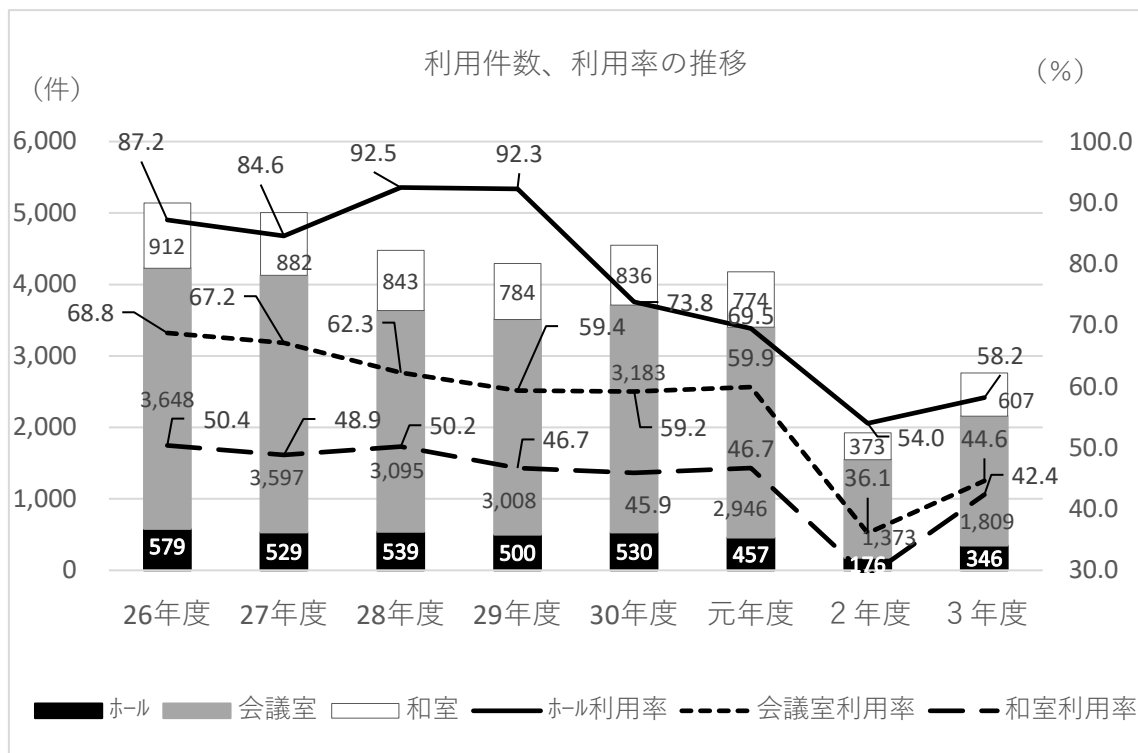
ホールは、室内楽・器楽や合唱など生音の音楽系の利用が多く、続いて古典芸能や講演会等に利用されている。音楽ではジャズやロック等の電気音響を利用する分野や、演劇・ダンス等の利用は少ない状況である(図表5)。

市内の他施設のホールと比較して、利用団体の関係者のみの利用も多く(関係者のみ 37.8%/平成 30(2018)年度)、発表会等での利用が一定数を占めていると推測される。

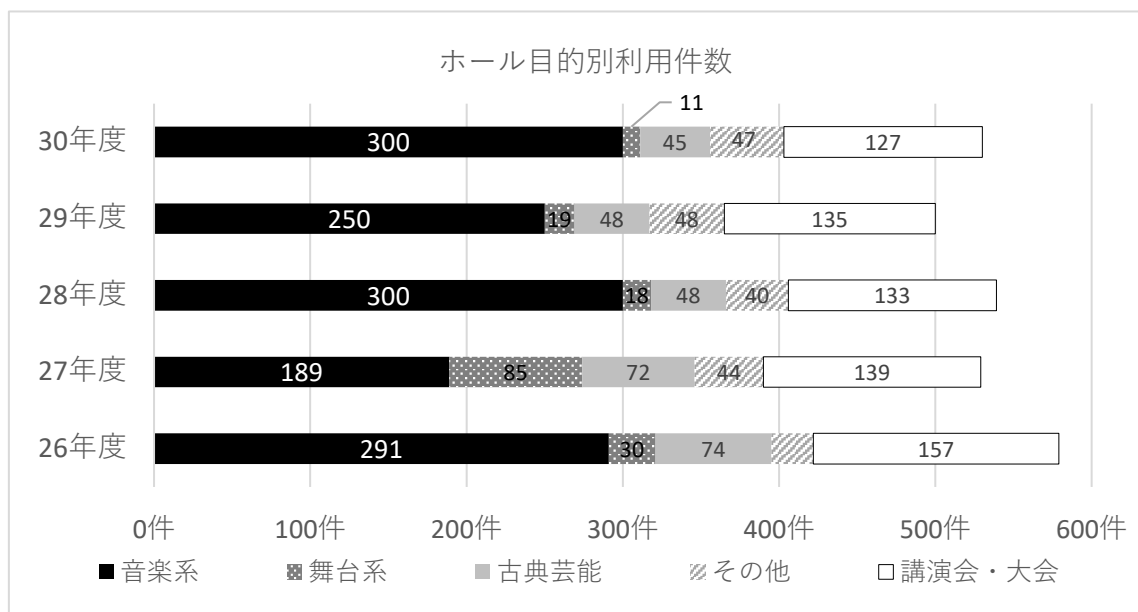
会議室は、防音設備がなく、芸術文化に関する活動の場としての利用は、短歌・俳句等での利用にとどまっており、7.7%(平成 30(2018)年度)と低い。その他、会議での利用が 73.5%、ホール控室での利用が 18.8%となっている(図表6)。和室についても、会議やホール控室としての利用が多い(図表7)。

武蔵野文化生涯学習事業団の主催事業として落語公演が年4回行われている。昭和 60(1985)年より続く「武蔵野寄席」の中心的な会場である。「吉祥寺音楽祭」など吉祥寺エリアの大規模な地域イベントの会場にもなっている。

図表4



図表5

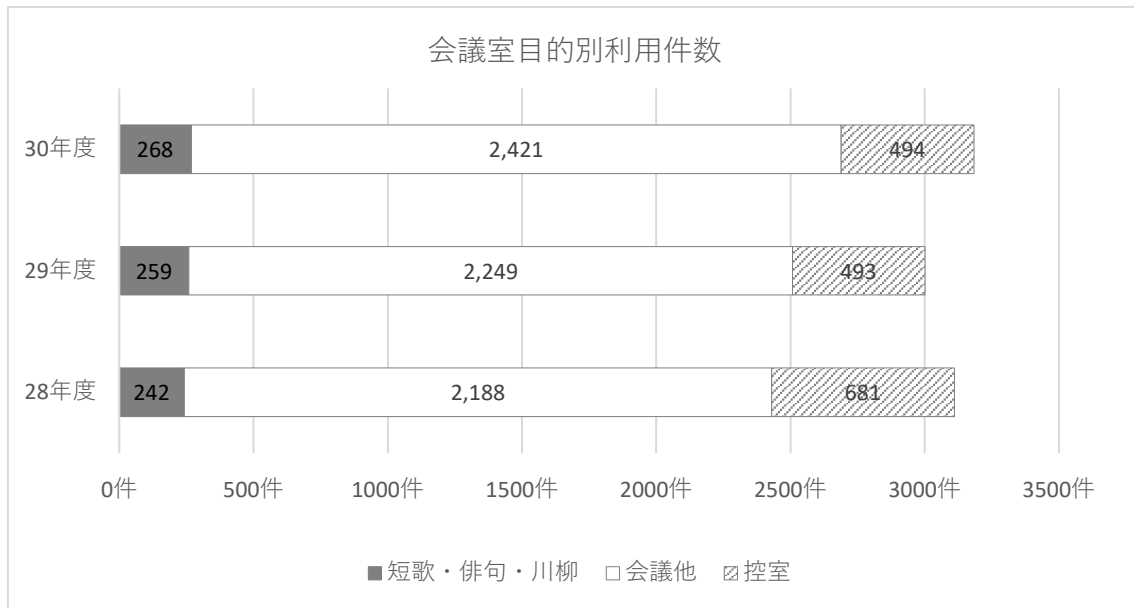


音楽系：吹奏楽、室内楽・器楽、声楽・合唱、ポピュラー、ジャズ、歌謡、民族音楽・舞踊

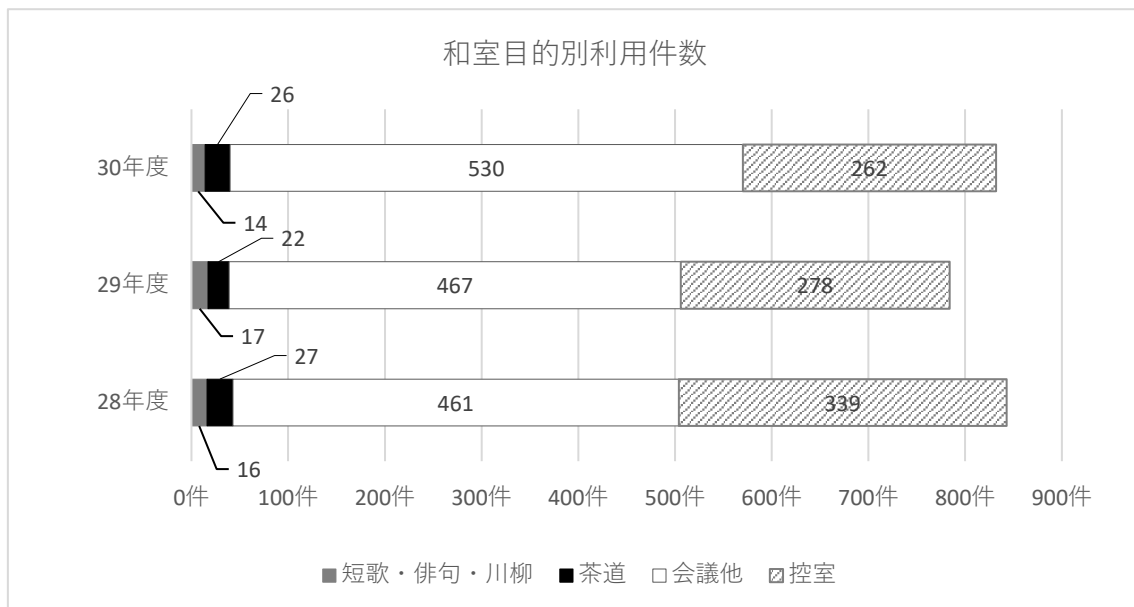
舞台系：オペラ、バレエ・ダンス、演劇

その他：オムニバス、映画、その他

図表6



図表7



* 図表5～7はコロナ禍の影響が生じる前の平成30（2018）年度までの数値を掲載

(6) 改善が必要な具体的箇所の現況

令和3(2021)～4(2022)年度に行った現地調査により、改善の必要がある主な箇所を以下に示す。

【地下階】



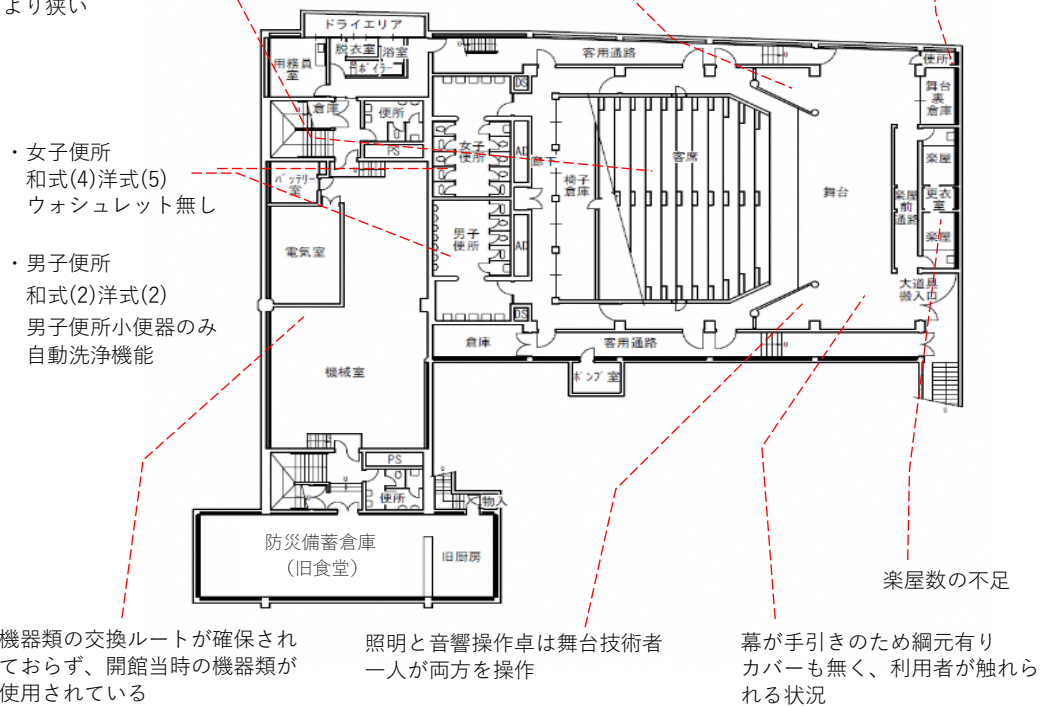
椅子の自動跳ね上げ無しにより、現行法にて必要な通路幅の確保ができていない
座席幅も現在の一般的なサイズより狭い



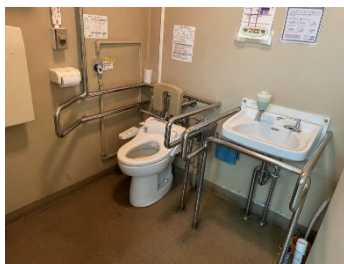
ピアノ2台（スタインウェイ・YAMAHA 各1台）が舞台袖に直置きとなっているため、舞台袖スペースが不足している



和式トイレ音が漏れるため本番中使用不可
洋式化を検討も構造上困難



【1階】



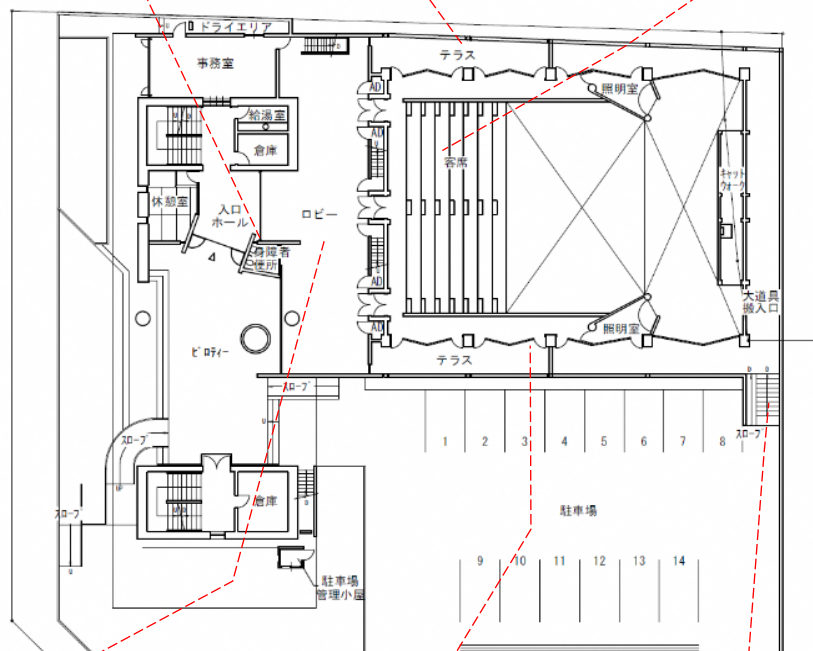
身障者用便所の設置はあるが、所定のスペースが確保できていない



側面のガラス開口部からの音漏れがあり、演目の制限等が生じている



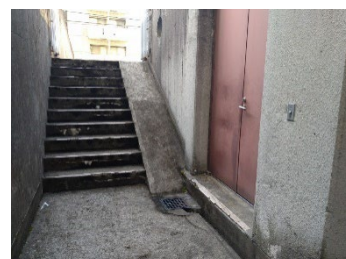
車いす席は客席後方に限るかつエレベーターも無いため、車いすの方は客席前方に行くことができない



ロビーは通常ホール利用者のみが使用可。十分な広さではない

軒裏の経年劣化が著しく、塗装の剥がれており、鉄筋の露出や錆なども見られる

搬入口はB1Fレベルにあり、搬出入物は急な階段を人力で下ろすことが必要な状況



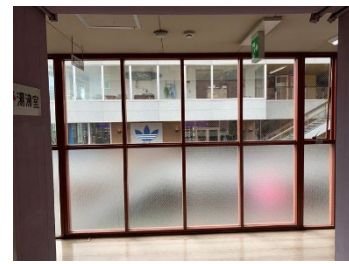
【2・3階】



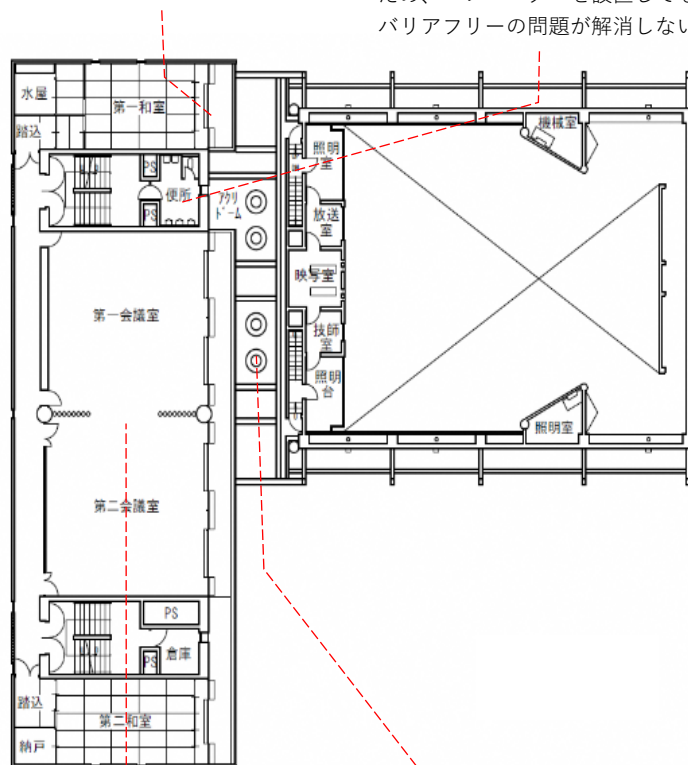
ガラス戸を防火設備に改修する必要がある



便所が階段の踊り場レベルにあるため、エレベーターを設置してもバリアフリーの問題が解消しない

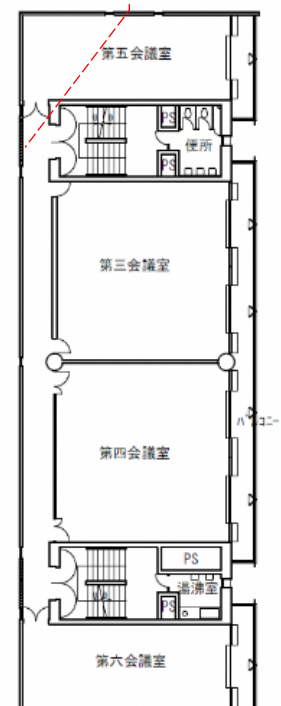


排煙設備の設置が必要
(既存不適格)

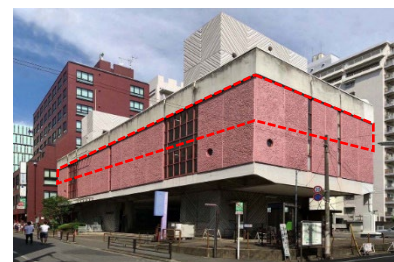
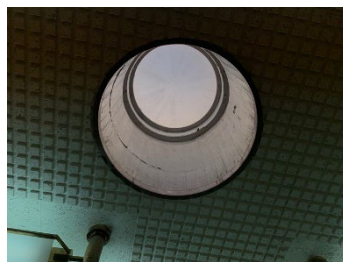


会議室は一体利用が可能だが、片方のみ利用の場合、遮音性が不十分のため、マイク利用の制限あり

トップライトを網入りガラスにする必要がある (既存不適格)



道路に面する3階の外壁には、非常用出入口の設置が必要
(既存不適格)

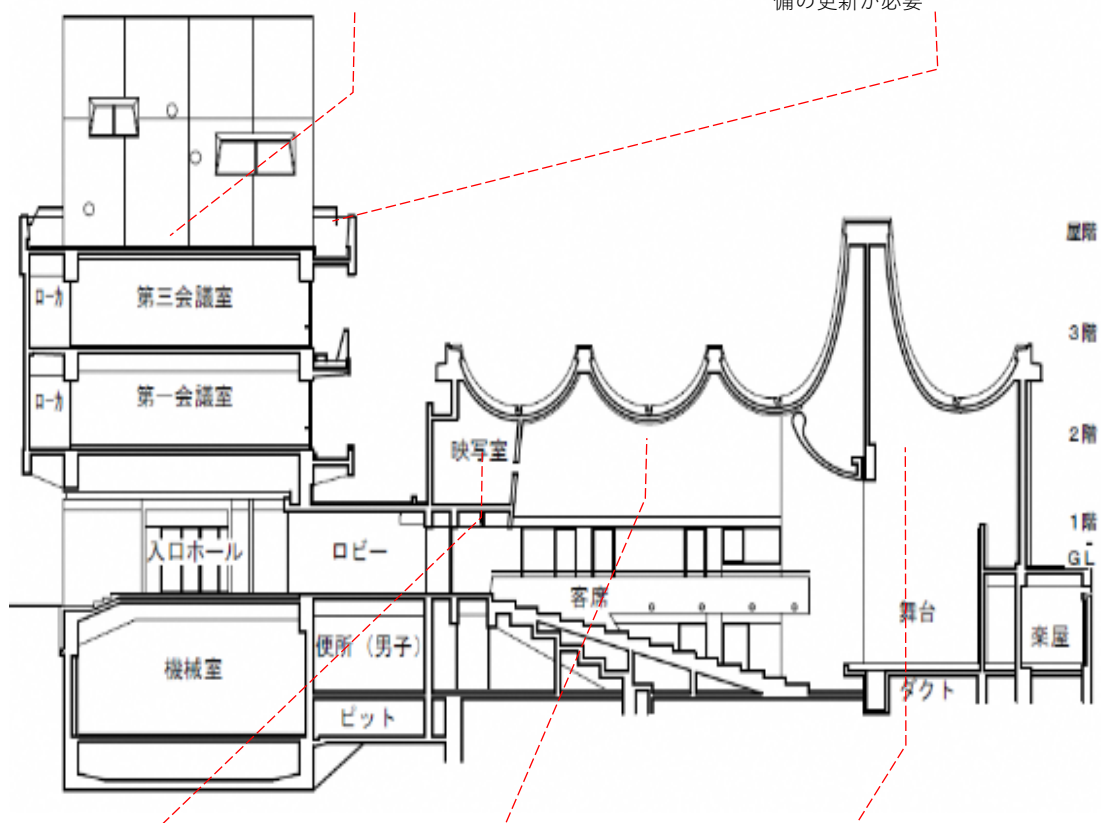


【断面図】



屋上防水の摩耗・劣化が著しい。防水シートを固定するアンカーの浮きに伴って、シートが破断している箇所も見受けられる

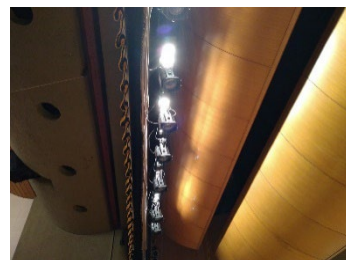
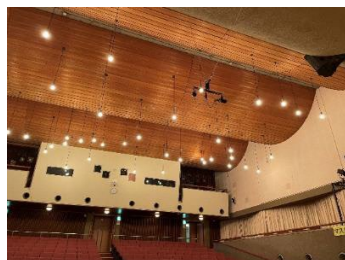
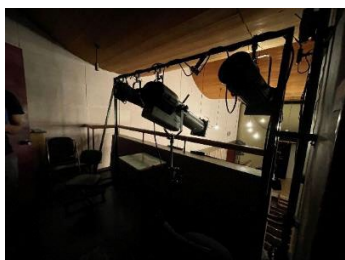
地下階の設備と同様に、耐用年数を大幅に超過している空調設備の更新が必要



シーリングライト、フォロースポットと客席照明の干渉がある

屋根形状がそのまま天井のため、特定天井ではないが、直天井のため音漏れがある

天井反射板の収納のためバトンが少ない



(7) 有識者会議の概要

令和4(2022)年6月から11月までのおよそ6か月の期間にわたり「武蔵野公会堂の改修等に関する有識者会議」を設置し、6回の会議を重ね、武蔵野公会堂の更新の方向性や必要な機能等についての検討がなされた。

はじめに市における検討経緯を確認し、現場見学を行い、施設の現状と課題の把握に努め、委員間の認識の共有を図った。次に、令和3(2021)年度に市がまとめた改善案を踏まえ、更新の方向性について意見交換を行うとともに、改修によって改善が見込まれるホール機能についての検討を進めた。その後、武蔵野公会堂が今後目指すべき姿や役割、まちとの関係性、社会状況の変化等を勘案して、改修等により延命化を目指すことを前提とした場合に必要となる機能について、各委員から様々な意見が述べられた。会議の開催経過は以下のとおりである。

第1回	6月2日(木)	市の検討経過（施設・エリアの課題、施設の改善案など）、施設見学
第2回	7月21日(木)	施設の現状・課題について、改善案について
第3回	8月24日(水)	改修・更新の方針について
第4回	9月27日(火)	必要とされる機能の検討
第5回	10月21日(金)	必要とされる機能の検討
第6回	11月22日(火)	報告書（案）の検討

(8) 市民意見聴取の概要

有識者会議の設置期間と並行して、以下のとおり複数の市民意見聴取の機会を設け、その結果については有識者会議における検討や基本計画案作成の参考情報とした。基本計画案の作成・公表後には、計画案に関するパブリックコメントを実施するとともに、市民説明会を開催した。

① 市民ワークショップ

第1回	日時 令和4年8月30日（火）午後7時～9時 会場 武蔵野公会堂 ホール 参加者 19名 テーマ 武蔵野公会堂ってどんなところ？ 内容 施設の見学を実施後、公会堂の思い出などについてグループで意見交換
第2回	日時 令和4年9月13日（火）午後7時～9時 会場 武蔵野芸能劇場 小ホール 参加者 17名 テーマ 武蔵野公会堂に必要な機能や規模を考えよう！ 内容 施設を「ホール、会議・練習、共用エリア、その他」に分けてグループで意見交換
第3回	日時 令和4年10月10日（月・祝）午後1時30分～3時30分 会場 武蔵野プレイス フォーラム 参加者 15名 テーマ もっと広げる・まちに広がるために どうしたらよいか考えよう！ 内容 施設の情報発信やまちへの広がりについてグループで意見交換



② オープンハウス

武蔵野公会堂に対する印象・期待などについて、出張型とすることで幅広い層からの意見を聴取した。

武蔵野プレイス 青少年フロア	青少年フロアを利用中の若者世代から意見聴取 日時 令和4年10月28日（金）、29日（土）午後4～6時 回答者 62名
0123 吉祥寺	0123 吉祥寺を利用中の子育て世代から意見聴取 日時 令和4年11月4日（金）、5日（土）午後2時～4時 回答者 25名

③ 市民アンケート

調査期間	令和4年9月1日（木）～19日（月）
実施方法	アンケートフォームによる Web 回答または用紙提出 （公共施設で用紙配布） 調査対象者の限定なし
回答者数	214 名（Web 回答 92 名、用紙回答 122 名）

④ 基本計画案に関するパブリックコメント

実施期間	令和5年2月3日（金）～22日（水）
実施方法	電子メール、ファックス、郵送、アンケートフォームによる Web 回答
意見数	43 件（市民説明会参加者による意見を含む）

③ 基本計画案に関する市民説明会

実施日	令和5年2月11日（土・祝）、2月16日（木）
会場	武蔵野公会堂 第1・2会議室
参加者数	計11名（2/11：5名、2/16：6名）

2 基本計画策定にあたって

(1) 施設更新の基本的な考え方

武蔵野公会堂は築後 59 年が経過しており、前述のとおり老朽化や利便性等に関する課題があるため、これまでの検討や各種調査結果、有識者会議における報告等を踏まえ、どのように更新してこれらの課題を解消するのが効果的であるかを改めて整理する。更新の大きな方向性としては、改修等により施設の延命化を図るか、全面建替えかの大きく2つが想定できる。

第2期公共施設等総合管理計画では、コンクリートの耐久年数に照らし、本施設の耐用年数を築 80 年程度と見定めており、また文化施設整備計画では、吉祥寺駅南口の将来の面的な整備を想定し、本施設の使用期間を残り 20 年程度と設定して施設課題の改善案をまとめている。このため、優先度や仕様の設定を見極めて経済性を考慮することが重要となる。

改修等により延命化を図る場合、ホール棟については、コンクリート強度や耐震性能は問題なく、新たな設備・技術の導入によって、より多様な用途への対応も可能になると見込まれ、バリアフリー化と合わせて、ホール棟の動線や楽屋などの課題についても改善を図ることができる。

一方、全面的な建替えとする場合、第2期公共施設等総合管理計画における本市の基本的な考え方により、築 60～80 年程度の長期に使用可能な施設を目指して建設することになる。その際には将来を見据えて多岐に渡る検討や調整を行うこととなり、建設までに要する期間が長期に及ぶと想定されるため、給排水管等の劣化更新が急がれる現状を鑑みると、新たな施設建設までの期間の施設運営の継続が難しくなる事態が考えられる。また、多様な主体が連携してエリアのビジョンを描き、イメージを共有しながら進める将来の面的な整備の可能性に制約を与えることにもなる。加えて、使用期間を 20 年程度とした場合には、全面建替えは費用対効果の面で課題が大きくなる。

これらのことから、武蔵野公会堂がホールを中心とした文化施設であって、現在のホール棟は今後さらに有効に活用できる余地があることを踏まえ、全面的な建替えよりも整備費を抑えながら、既存建物を活かして改修等により延命化を図ることを施設更新の基本的な考え方とする。

なお、改修等の具体案については、有識者会議の助言も踏まえ、既存建物を活用した複数の選択肢が想定されるため、基本計画の段階では改修の詳細な範囲は限定せず、設計提案により判断することとする。

(2) 武蔵野公会堂が改修等により目指すべき姿（施設コンセプト）

これまでの検討経過等を踏まえ、改修等により既存施設の延命化を図るにあたり、これからの武蔵野公会堂が目指すべき姿を以下にまとめる。

① 市民の芸術文化活動を支える創造・発信型の施設

本施設は、吉祥寺地域のみならず武蔵野市における市民の芸術文化活動を支える重要な文化施設である。文化施設としての芸術文化の創造・発信の機能を拡充し、若者世代を含め幅広い世代の多様な芸術文化活動や新しい表現の試みを可能にする施設を目指す。

② 安全で誰もが安心して利用できる施設

安全で誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインに配慮した使いやすく快適な施設とする。そのため、エレベーターの設置、各階へのトイレの設置、搬入経路の段差解消等のバリアフリー化が大前提となる。老朽化が著しい各種設備は、故障・事故等の予防のため適切に改修・更新する。また、本施設は災害時の帰宅困難者一時滞在施設に位置付けられているため、法令の基準以上の市の設定基準を満たせるよう耐震性能を高めることで、安全で誰もが安心して利用できる施設を目指す。

③ まちとのつながりを持ち愛着を持たれる施設

武蔵野公会堂は商業地域に位置するが、道路を挟んだ南側には低層住宅地が広がり、また JR 吉祥駅南口から都立井の頭恩賜公園に至る経路上にあるため、改修にあたっては、まちの魅力をさらに高めていく視点が重要となる。周囲のまちとつながり、まちの活気を生み出すとともに、将来の周辺エリアの姿を見据え、市民・利用者・来街者に広く親しまれる施設を目指す。

④ まちにつながる新たな空間の創出と緑化を意識した外構計画

- ・ 現施設には入口付近等に閉鎖的な雰囲気があり、まちとのつながりが弱いという課題を改善するため、まちに開き、つながるための空間の創出を目指した改修計画とする。
- ・ 増改築を行う場合には現行の緑化基準が適用されるため、敷地内緑化を行うことにより、利用者だけではなく来街者も気軽に立ち寄りたくなる外構計画とする。

(3) 改修等の基本方針

① 安全性と機能性を確保しコストバランスに配慮した改修等工事

- ・ 設定した残耐用年数を踏まえ、安全性の確保や機能性を重視し、コストバランスに配慮した改修等工事を計画する。
- ・ 老朽化が著しい電気・空調・給排水の一般設備については、安全性の確保の視点に加え、建築物のエネルギー消費性能の向上により環境負荷の低減を図り、ランニングコストにも留意して、全面更新を前提とした改修とする。
- ・ 第2期公共施設等総合管理計画において、健全財政を維持するため公共施設の保有量の適正化を図ることとしていることを踏まえ、増築を行う場合には床面積が過度に増大しないような計画とする。

② より多様な利用を可能にするホール計画

- ・ ホール舞台周りの現状の課題を踏まえ、舞台奥行の拡張や、舞台裏の環境改善により演者のニーズに応えるほか、天井、壁面の遮音性能の向上を目指すことで、利用者ニーズに配慮した計画とする。
- ・ 設計者の工夫が施されたホールの既存のデザインを活かし、経年劣化等によるひび割れなどの劣化補修を行うことを優先して、更新箇所の優先度を見定めることにより、コストバランスに配慮する。
- ・ 舞台機構や舞台照明、舞台音響などの舞台特殊設備に関しては、多様な利用を想定した更新により機能向上を図り、これまでより多様な演目にも対応できる改修とする。
- ・ 市民利用が多い施設であることや想定される利用期間を踏まえ、機器の選定等に関しては、施設管理者や利用者等の意見を踏まえ機能とコストのバランスに配慮する。

③ ホールとともに芸術文化活動に寄与する諸室（会議室棟）計画

- ・ エレベーター設置や各階へのトイレ設置等により、誰でも利用しやすいユニバーサルデザインの施設を実現する。
- ・ ホールとの連携を想定し、他施設との関係性を踏まえながら、多様な芸術文化活動に活用できる機能・規模の諸室を整備する。

- ・ 現会議室棟の活用範囲については、減築し新たな棟を増築する案のほか、増築をエレベーター等の最小限にとどめて改修により再利用する案も含め、設計段階で詳細を検討するものとする。

3 主な改修事項（実現すべき空間・機能）

(1) ホール機能

～市民の発表の場として多様な芸術文化の享受を可能にする～

ホールは市民の発表の場としての役割を主と位置づけたうえで、現在の利用にとどまらず、幅広い用途での利用や創造活動などに必要な環境を施設面や運営面から作り出す。

また次世代につながる新たなニーズにも対応し、新たな利用者層・利用ジャンルを呼び込んでいく必要がある。そのため、利用者にとって利便性が高く、現在の技術水準に合う設備の導入により、これまでよりも多様な上演と高度な演出を可能とするホールを整備する。

① 舞台エリア

- ・ 舞台や舞台袖は可能な限り広く確保し（現在の後壁を撤去する等）、舞台裏諸室の配置を見直す等により、演者の安全でスムーズな動線を確保する。舞台奥行は約1mの拡大を目指す。
- ・ 什器、大道具備品、音楽備品、照明・音響備品等を収納する倉庫（約 50～100 m²を想定）や、舞台等で利用するテーブル・椅子等を収納する倉庫に加え、適湿適温な環境を保持できるピアノ庫を設置する。
- ・ 遮音性能を高め、現状より幅広い演目に対しても利用の可能性を拡げる。
- ・ 建築音響面については、費用対効果を考慮しながら、現状より性能を向上させる。
- ・ 舞台特殊設備について、利用者にとって使いやすく、現在の技術水準に見合った設備を備える。特に、音響反射板は、収納方式を見直し、舞台上のバトン等の自由度を確保し、照明・映像・音響等を利用した高度な演出を実現可能とすることで、現在よりも多様な演目・演出に対応できるようにする。

② 楽屋エリア

- ・ 楽屋は、舞台への移動がスムーズに行えるよう、配置や設置高さ（レベル）、動線を計画する。また、楽屋から舞台への動線は、一般来場者用の動線と分けることとする。
- ・ 楽屋の数や広さは、市民利用を中心とした出演者数を考慮したうえで、現状より充実させる（約 30 m²～40 m²を2部屋程度など）。
- ・ 講演等の利用を想定した小規模の楽屋を設置する（10 m²程度を1部屋など）。

- ・ 楽屋は、基本的な機能として、化粧前、着替えブース等、身支度ができる機能を持つだけでなく、楽屋以外の使い方(会議利用や練習室利用)にも対応できるようにする。一部の楽屋には、練習等での音出しが可能な部屋として遮音性能を持たせるとともに、会議などの利用時には化粧前の鏡が隠せるような工夫をする。また、バリアフリー対応(車いす対応の洗面台の導入等)にも配慮する。
- ・ 楽屋トイレは、現状の配置を見直し、本番時も使用できるトイレを設置することとし、バリアフリー対応の仕様を検討する。

③ 搬入ヤード

- ・ 搬入エレベーターやリフター等の昇降機を設置し、スムーズで安全かつ迅速な搬出入を可能とする。
- ・ 搬入ヤードには、大型車や搬入トラック(4t 程度)の留め置きができる計画とし、雨・風の影響を受けないよう庇やシャッターの設置を検討する。

④ 客席エリア

- ・ 建築音響面については、現在のホールの響きを分析し、費用対効果を考慮しながら、より良い響きのホールを目指す。また、遮音・防音性能を高め、近隣へのホールからの発生音に配慮する。
- ・ 座席は、法的基準及び現在のニーズに即した寸法とするとともに、客席周りの通路幅を確保できる配置とする。また、多様な用途への対応策として、移動観覧席の導入(段床と平土間の併用)により、平土間利用を可能とすることも検討する。
- ・ 座席数は、これまでの利用状況や他施設との棲み分けを踏まえ、現状の8割前後(260～300 席程度)は維持しながら、最大限の数を確保する。
- ・ 車いす席スペースは、1 階席後部に限らずなるべく多く配置できるよう検討する。

⑤ ホワイエエリア

- ・ 公演前後の休憩・憩いの場として、公演のない日にも展示や情報の受発信などが可能な場として、気軽に訪れることができる広場的な機能を導入する。
- ・ 客用トイレは、男女別のみならず誰でも利用できるトイレを設置し、興行場法上の必要な数を確保する。

- ・ ロープパーティションやサイン看板、机など什器備品を収納するホワイエ用倉庫を設置する。

(2) 諸室機能

～ホールの活動を支え、市民の日常的な創造活動に寄与する～

ホール以外の諸室は、ホール利用時のバックヤードとしての機能を整備したうえで、会議室としての利用はもとより、遮音性能を備えた練習室や、配信や録音・録画等にも活用できるスタジオ、作業場として利用できるアトリエ等、様々な市民の日常的な創造と交流の活動に利用できる多様なスペースとして整備することが望ましい。

規模や仕様については、市内の他施設の設置状況を踏まえて、武蔵野公会堂の特徴を活かせる諸室を適切に整備することが重要である。また、部屋によってはオンライン配信に必要な設備を整えるなど将来を見据えた実験的な表現の試み等を視野に入れた建築・設備の整備も検討する。

① 多目的室等諸室

- ・ 各諸室は、用途や目的に応じて使い分けができるよう、大小の規模や様々な仕様を備えて複数配置する。ある程度の広さを持つ部屋としては、現状で一定の利用率がある第1・第2会議室(約 160 m²)や、利用率が高い吉祥寺美術館音楽室(約 150 m²)、吉祥寺南町コミュニティセンター多目的ホール(約 210 m²)の広さを参考とする。
- ・ 音出しを可能とする遮音性能に配慮した仕様は、ホールの利用目的に音楽関係が多い状況や市内の他施設の状況を踏まえると、導入の必要性が高い。そのためコストバランスにも配慮しながらも、遮音仕様を取り入れる部屋は複数の部屋において検討する。
- ・ ホールのサテライト会場としても利用可能な配信などのニーズにも対応できる機能を検討する。
- ・ 各諸室は、原則として洋室仕様とし、伝統芸能にも対応できるよう、上下足の履き替えが可能となるような仕様を工夫することとし、移動可能な畳やゴザなどの備品類での対応も検討する。なお、茶室としての機能については、他の施設を含め市全体での必要な配置を確認して検討する。

② 管理諸室

- ・ ホール事務室は、管理しやすいよう、来館者からアクセスしやすい場所に配置し、8～10 名程度が日常的な業務を行える場所とする。また、受付カウンターを設け、来館者への素早い対応を行えるようにする。
- ・ 用務員室は現状と同等の面積を確保する。
- ・ 機械室・電気室・バッテリー室は、現状地下に配置され階段幅が狭い事などから、機械メンテナンスや交換が困難となっている。改修にあたりメンテナンス性の良い計画とする。
- ・ 既存と同規模の防火水槽を確保する。

③ その他

- ・ 一般の来館者用の駐車スペースは、駅に至近の立地から、必要最低限とし、条例で必要とされる台数のスペースを適切に配置する。
- ・ 駐輪場は昨今の自転車の大型化や重量化を踏まえ、余裕のあるスペース確保が望まれるが、放置自転車等への配慮も行い、適切な台数を確保する。
- ・ 搬入トラック(4t 程度)の搬入時の駐車スペースを確保し、公演時の主催者用駐車スペースは最低限を確保する。
- ・ 災害時の帰宅困難者一時滞在施設と位置付けられているため、防災備蓄倉庫及び非常用発電設備は引き続き確保する。

(3) 共用空間等

～まちとつながり、市民の憩い・交流・発信の場となる～

ロビーや広場などの共用空間は、ホールや諸室の利用者でなくても、誰でも気軽に訪れることができ、身近で芸術文化に触れられて関心を喚起することが重要である。また日常的に市民・来街者にとっての憩い・交流の場となり、武蔵野公会堂での活動が表に出るような設えと運営を工夫し、情報発信の場としても寄与するなど、まちとのつながりを高めていく。

① ロビー

- ・ ホールでの上演の有無に関わらず、市民がいつでも気軽に居心地よく過ごせる空間として、広さや動線、椅子・テーブル等の備品配置等について検討する。
- ・ ロッカー、カフェ的な機能の配置、自動販売機等の物販スペースの設置を検討する。

- ・ 武蔵野市や吉祥寺地域の様々な情報が日常的に得られる機能を検討する。
- ・ 小さい子ども連れでも来館できるよう、授乳室やおむつ替えスペースを設置する。

② 広場等

- ・ ピロティ空間の活用、緑地や広場の整備等によって、開放感があり、市民が入りやすく立ち寄りやすい外観や佇まいの外構空間に配慮する。
- ・ まちの商店街や地域の市民、公園や緑地などと連携した催事や情報発信に取り組めるスペースや設備を設ける。
- ・ 駅と公園をつなぐ役割として緑地・広場などのオープンスペースを設け、日常的にくつろげる市民・来街者の憩い・交流の場となり、気軽にまちや芸術文化の情報に触れられるようにする。屋外スペースの計画に関しては、周囲の住宅地にも配慮し、管理面に留意が必要である。
- ・ 吉祥寺の多様な情報が得られる「まちのコンシェルジェ」的な機能を検討する。
- ・ 外部から活動を認識しやすくするデジタルツールも活用し、掲示機能の充実を図る。

(4) その他

エレベーター・バリアフリー対応の基本的な考え方を以下に示す。

- ・ 誰でも利用しやすい施設として、エレベーターの設置は必須とする。
- ・ トイレの配置は、より利用しやすい配置に見直すとともに、バリアフリー化を行い、仕様・数量を改善する。

4 事業概算費用

(1) コストバランスに配慮した改修等工事費の設定

武蔵野公会堂は、コンクリートの耐久年数や、周辺エリアの将来像立案に向けた検討を行っていること等を踏まえ、施設の残耐用年数を 20 年程度と設定している。

改修等を行うにあたっては、安全性や機能性の確保に係るもので、施設を維持するために直ちに行う必要がある改修等項目に加え、有識者会議や各種の市民意見聴取により得られた意見を参考にして、コストバランスに配慮しながら改修等項目を精査する必要がある。

このため、第2期公共施設等総合管理計画における考え方や、一般的にリファイニング建築^{*3}により施設を延命化した場合に係る費用が建替え費用の6～7割程度とされていることを踏まえ、本事業においては同規模・同内容にて建替えた場合にかかる費用の6割程度を目安として事業費用を設定することとする。

^{*3} リファイニング建築（商標登録第 49814812 号）：老朽化した建築物を再生・長寿命化させる建築手法で、既存構造躯体の 80％以上を再利用しながら耐震性・耐用年数の向上や、意匠転換も伴う大規模改修による建物再生手法。建替えに比べて環境負荷の低減や、建替えの 60～70％のコストに抑えることができるといわれている。

(2) 改修等工事概算額

延命化のための改修等の参考モデルプラン(参考資料 65～67 ページ参照)を作成し、このモデルプランで工事を行った場合に要する費用を、整備仕様等に応じて①～③の3種類の概算費用を算出するとともに、下表③と同等の仕様で施設を新築した場合を比較用の新築案④としたうえで、①～③の各事業費が④に対してどの程度の割合になるかを算出した。

	参考モデルプラン（延床面積約 2,570 ㎡）			比較用の新築案
	① 改修等により、現状の機能回復に加え、練習室の遮音性能を向上させる案	② 改修等により、現状の機能回復に加え、ホールと練習室の遮音性能を向上させる案	③ 改修等により、現状の機能回復、ホール・練習室の遮音性能向上に加え、舞台特殊設備、観覧席、屋上緑化などを拡充する案	④ モデルプラン③と同等の仕様で施設を新築する場合（既存施設はすべて解体、地下1階地上2階で新築）
合計	約 17 億 800 万円	約 18 億 3,800 万円	約 20 億 8,200 万円	約 32 億 700 万円
(参考) 新築費に対する割合	0.53	0.57	0.65	1.00

◇ 令和3(2021)年度算出の工事費概算額から変更した項目は以下のとおりである。

- ・ 社会情勢の変化等による建築工事費の高騰を踏まえ、工事単価を一律1.2倍としている。
- ・ モデルプランの延床面積が令和3年度の検討時よりも増加している。
- ・ 有識者会議等での意見を踏まえ、一定の遮音性能の向上を加味している。
- ・ アスベスト調査結果を踏まえて除去費用を追加している。

◇ 本地にて建替えた場合(新築)の概算費用について(参考)

前頁の表中④の金額は、参考モデルプラン(延床面積約2,570㎡)に基づく概算費用として算出しているが、本地の敷地規模から算定すると、本来は延床面積約9,000㎡の施設を設置できることとなる。この場合の費用は、既存の建物や杭基礎の撤去費用などを含めると、概算で86億円程度かかると見込まれる。

また、第2期公共施設等総合管理計画では、施設を60年間使用する場合の保全や修繕などに係る費用について、建替えに要する費用の6割と設定しているため、新築費用の6割に相当する約52億円を加えた約138億円が、施設建設及び60年の維持保全に係る経費の総額として必要になると見込まれる。

(3) 今後の設計における改修等内容の精査について

本基本計画における概算費用については、参考モデルプランをベースに算出したものであり、仕様や改修等の範囲の違いにより3パターンの概算額を算出したものである。本事業においては、同規模・同内容にて建て替えた場合にかかる費用の6割程度を目安として事業費用を設定することとしたため、今後の設計においては、施設の残耐用年数を踏まえ、改修等の優先度を見極めながら、仕様や改修等の範囲を決定していくことが重要となる。

加えて、建築工事費の高騰など、社会情勢の急激な変化による影響を受け、さらに事業費が増加することも想定されるため、改修等の後の面積増にも留意しながら、コストバランスに十分配慮して具体の改修等の内容を精査していくこととする。

5 事業手法の検討

(1) 事業手法について

文化施設や集会施設、スポーツ施設など、不特定多数の市民等が広く利用する施設の整備にあたっては、幅広い意見を収集するとともに、透明性を高めた検討を行っていくことが重要である。

武蔵野公会堂の延命化のための事業者選定にあたっては、市民と情報を共有し、施設整備への関心を高め、事業者選考の透明性を確保する観点から「公開」にて行うことを前提に事業手法を検討することが必要である。

また、既存躯体を活用しながら減築や増築を行う工事が想定されるため、設計段階より合理的な施工方法等を考慮しておくとともに、管理運営も含めて本事業に最適な事業手法を選択することが重要となる。

想定される事業手法をまとめると以下のとおりとなる。

事業手法	管理運営分離発注		管理運営一括発注	
	設計施工 分離発注	設計施工 一括発注	設計施工管理運営一括発注	
	従来方式	DB 方式	DBO 方式	RO 方式 (参考)
資金調達	市	市	市	事業者 (SPC)
設計	事業者	事業者 (SPC、JV)	事業者 (SPC、JV)	
施工	事業者			
維持管理	市/指定管理者	市/指定管理者		
運営	市/指定管理者	市/指定管理者		

SPC：公民連携により事業を実施するための特別目的会社のこと。対象とする公民連携事業以外の事業を実施することができず、市と事業契約を締結する当事者となる。

JV：共同企業体のことで、複数の異なる企業等が共同で事業を行う組織のこと。資金力・技術力・労働力などからみて、一企業では請け負うことができない大規模な工事・事業を複数の企業が協力して請け負う事業組織体のこと。

① 従来方式について

市が行う契約は事業ごとに分離して発注することが原則であり、発注者の意向や課題に対して、段階的な検討を重ねて入念な設計を行うことができるほか、事業者にとっても参画しやすく、設計者選定が早期に行えるといったメリットがある。

一方で、設計段階において施工業者の積算技術や合理的な施工計画のノウハウを反映することが困難といった課題もある。

② DB（デザインビルド）方式について

設計施工を一括で発注することで、個別に契約を行う期間が省略できるなど、事業期間の短縮を図ることが見込める。また、施工発注時の不落札の可能性を避けることができる点や、施工業者がもつ技術力やノウハウを設計に反映できることから、コスト削減が見込めるといった点がメリットとして挙げられる。

一方で、契約時から工事着手までに数年のズレが生じるため、契約時の建設価格で積算した建築工事費に比べ工事着手時の建築工事費が大きく変動する可能性があり、物価上昇時には施工業者のリスクが大きくなる。また、本事業は改修が主であり、他の DB 方式の事例と比べ事業規模が小さいため、施工業者にとって共同企業体を組織して事業参画するメリットが少なく、参画する施工業者が見込めない可能性が高い。

加えて、建築・土木工事に係る技術上のノウハウに関する情報は事業活動情報となり、本市情報公開条例上の非開示情報に該当することから、透明性を高めるための公開によって施工業者も含めた事業者選定を行うことができないといった課題もある。

② DBO（デザインビルドオペレート）方式について

建物の管理・運営事業者の意見を反映できることで、細やかな設計が可能となることが最大のポイントである。しかし、DB 方式における懸念事項に加え、本施設では、今後公募により指定管理者を選定していく方針としているが、公募のための仕様を決定してからでないと事業者選定ができないことから、事業スケジュールが先延ばしとなるといった課題がある。

なお、RO（リハビリテートオペレート）方式については、既存施設を活用することを前提に改修の資金調達も事業者が行うこととなるが、残耐用年数を 20 年程度と設定している本事業において、収支を合わせることは困難であると想定できる。そのため、本事業における検討の対象外とした。

(2) 本事業の手法について

① 従来方式（設計施工分離発注）の採用

前記(1)①～③の比較検討を踏まえると、①の従来方式か②の DB 方式が有効であると言える。DB 方式については、事業期間の短縮が見込めることや施工ノウハウを設計に反映できる点で有効であるが、建築工事費の高騰が続き、今後の動向が不透明な現状を踏まえると、施工事業者のリスクが大きく、他の DB 方式の事例と比べて事業規模が小さいこともあり、事業者の参画が見込めない事態が想定される。また、建築等技術ノウハウは非開示情報にあたるため、透明性を確保するために想定している公開型での事業者選定が行えないといった課題が残る。

これらのことから、本事業においては設計施工分離発注での従来方式により事業を進めることが妥当であると判断した。

② 設計者選定方法

- ・ 設計者の選定方法は、一般的に、設計者を選ぶプロポーザル方式と設計案を選ぶコンペ形式とに分けられる。
- ・ 劇場、ホール等の文化施設の設計は、専門的な技術の熟知も必要な難しい分野であるが、新しい公共空間を創造し、まちのランドマークとして位置付けられる可能性もあるなど、設計者にとって魅力的な分野であるといえる。
- ・ 本事業は一部減築や増改築も含む既存施設の改修等であるため、新規の建築とは異なり制約も多いことに加え、市民の創造・発表の場としての機能を高めた新たな武蔵野公会堂を問うものでもあり、そのためには豊富な経験と知識とともに、施設コンセプトや改修の基本方針を具現化できるアイデアを持つ設計者を選ぶことが重要である。
- ・ プロポーザル方式の特徴は、一定の条件の下で提案される内容により設計者を選考するが、設計段階において、設計者が改めて周囲の意見等を取りまとめながら設計を進める点である。選考時の案を変更する余地を残せる方式であり、設計段階において柔軟な対応をとることができる。
- ・ 一方でコンペ方式は、選定時に設計案を直接評価できるという特徴があるが、設計段階における柔軟な対応は困難である。
- ・ したがって、今回の設計者選定においては、簡易な図案の伴う提案書とヒアリングによって設計者を選考するプロポーザル方式が適していると判断した。

- ・ なお、選考過程の公平性を確保し、優れた設計者の応募を広く募る観点から「公募型」とするとともに、市民と情報を共有し、施設への関心を高め、選考の透明性を確保する観点から「公開ヒアリング」を行うことを前提に設計者選定を行うこととする。

6 管理運営の考え方

(1) 管理運営の現状

- ・ 武蔵野公会堂のこれまでの施設運営は貸館事業が中心となっており、ホールは芸術文化関係の催しのほか、様々な地域イベントにも利用されている。指定管理者の主催事業としては落語公演「武蔵野寄席」を開催している。
- ・ 現在、ホール以外での芸術文化に関する活動は、設備面での制約もあり、短歌・俳句・茶道等での利用にとどまっている(11 ページの図表6、図表7を参照)。

(2) 運営面における必要な取組み

① 芸術文化の体験・活動・交流に関する取組み

- ・ 今後、施設の機能が改善されることにより、これまでは困難であった活動や事業の充実が期待できる。たとえば防音設備の整備により音楽関係の利用が活発になると予想されるほか、ユニバーサルデザインの導入により子ども向けの事業等を積極的に展開することが可能となる。
- ・ 武蔵野市民文化会館や吉祥寺美術館、吉祥寺シアター等、他の文化施設との役割分担を踏まえ、これまでの貸館中心の運営にとどまらず、子どもたちや若者世代を含め多様な世代の芸術文化に関する体験の充実、創造的活動の支援、交流の促進等の取組みが求められる。

② 地域の芸術文化資源との関わりと情報発信

- ・ 市民・利用者・来街者に親しまれる施設として、武蔵野市や吉祥寺地域における多様な芸術文化資源との関係性を築きながら、情報発信を強化すること等により、多様な主体との連携による文化振興とまちの魅力向上につなげていくことが重要となる。

(3) 運営事業者の体制等

- ・ 武蔵野公会堂の管理運営は平成元(1989)年度から公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団が受託しており、同事業団が平成 17(2005)年度から指定管理者に指定されている。
- ・ 改修後の施設運営を担う指定管理者については、公募による選定が予定されている。公募にあたっては、応募事業者から幅広く提案を募り、市民の芸術文化活動の支援、地域とのつながり、情報発信等に関する効果的な取組みが実現可能な事業者を選定する必要がある。
- ・ 施設目的を効果的に実現できる指定管理者を選定するため、施設更新に合わせた指定管理者の公募にあたり、管理運営の基本方針や必要な取組み、管理運営体制等について整理した管理運営計画案を作成する。
- ・ 指定管理者の公募に向けて利用料金制度の導入を検討する場合には、市民の芸術文化活動の場として適切な料金体系を検討するものとする。

7 事業スケジュール

令和5(2023)年度に設計者を選定し、令和5(2023)年度から6(2024)年度または7(2025)年度にかけて基本設計・実施設計を行い、令和7(2025)年度・8(2026)年度に改修等工事を実施する。工事期間中は休館とし、工事後の準備期間を経て、令和9(2027)年度のリニューアルオープンを目指す。

事業スケジュール（予定）

(年度)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
検討委員会/ 計画策定等	文化施設の在り方検討委員会	文化施設整備 計画策定	庁内連携会議 有識者会議 改修等基本計画 策定					
公会堂更新	目標耐用年数検討プロジェクト 各種調査	更新方針検討		選定委員会 設計者選定	設計	改修等工事	開設準備	利用開始

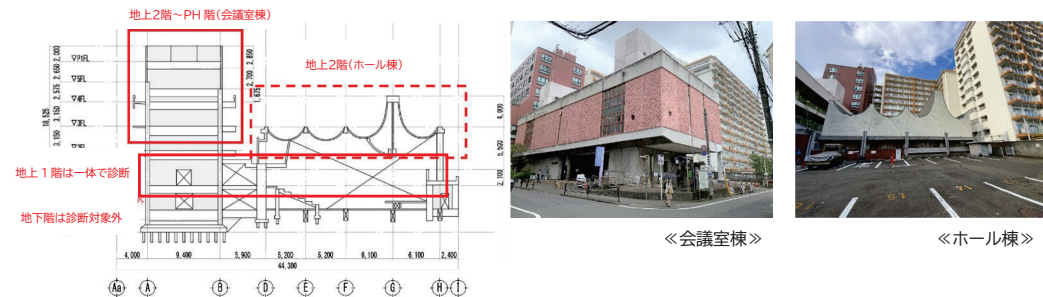
【参考資料】

- 耐震診断結果(抜粋)
- 現行遡及工事概要
- 有識者会議の経過
- 市民意見聴取の経過
 - ・ 市民ワークショップ
 - ・ オープンハウス
 - ・ 市民アンケート実施結果(抜粋)
 - ・ パブリックコメント実施結果
- 参考モデルプラン

◆武蔵野公会堂 耐震診断結果について

《耐震診断におけるゾーニングについて》

本施設は2階より上部が会議室部分とホール棟が独立しているため、下図に示すようにそれぞれについてゾーニングを行い、耐震診断を行っている。したがって、耐震診断結果も『会議室棟（1階はホール棟も含む）』と『ホール棟』に分けて掲載する。



《会議室棟 診断結果(1階および2階～PH階)》

判定基準		$E_0=1/A_i \cdot C \cdot F$					$I_s=E_0 \cdot S_D \cdot T$			
		$I_s \geq 0.60$ かつ $C_{TU} \cdot S_D \geq 0.30$								
X 方向 正 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1	3.001	1.00	3.001	1.178	0.947	3.348	3.535	(0)	OK
	5	1.321	1.00	1.321	1.200	0.947	1.502	1.586	(0)	OK
	4	0.904	0.80	0.723	1.200	0.947	0.822	1.085	(0)	OK
	3	0.672	1.00	0.672	1.200	0.947	0.764	0.806	(1)	OK
	2	0.668	1.00	0.668	1.200	0.947	0.759	0.802	(2)	OK
X 方向 負 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1	3.001	1.00	3.001	1.178	0.947	3.348	3.535	(0)	OK
	5	1.322	1.00	1.322	1.200	0.947	1.502	1.586	(0)	OK
	4	0.925	0.80	0.740	1.200	0.947	0.841	1.110	(0)	OK
	3	0.570	1.00	0.570	1.200	0.947	0.648	0.684	(3)	OK
	2	0.621	1.00	0.621	1.200	0.947	0.706	0.746	(3)	OK
Y 方向 正 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1	7.269	1.00	7.269	1.200	0.947	8.260	8.722	(0)	OK
	5	3.289	1.00	3.289	1.200	0.947	3.737	3.946	(0)	OK
	4	3.296	1.00	3.296	1.200	0.947	3.745	3.955	(0)	OK
	3	1.416	1.00	1.416	1.200	0.947	1.609	1.699	(0)	OK
	2	1.261	1.00	1.261	1.200	0.947	1.433	1.513	(0)	OK
Y 方向 負 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1	7.269	1.00	7.269	1.200	0.947	8.260	8.722	(0)	OK
	5	3.289	1.00	3.289	1.200	0.947	3.737	3.947	(0)	OK
	4	3.296	1.00	3.296	1.200	0.947	3.745	3.955	(0)	OK
	3	1.391	1.00	1.391	1.200	0.947	1.580	1.669	(0)	OK
	2	1.163	1.00	1.163	1.200	0.947	1.322	1.396	(0)	OK

$I_s=0.648$ $C_{TU} \cdot S_D=0.684$

《ホール棟 診断結果(2階)》

判定基準		$E_0=1/A_i \cdot C \cdot F$					$I_s=E_0 \cdot S_D \cdot T$			
		$I_s \geq 0.60$ かつ $C_{TU} \cdot S_D \geq 0.30$								
X 方向 正 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1									
	5									
	4									
	3									
	2	2.929	1.00	2.929	1.200	0.958	3.368	3.515	(0)	OK
X 方向 負 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1									
	5									
	4									
	3									
	2	2.930	1.00	2.931	1.200	0.958	3.368	3.516	(0)	OK
Y 方向 正 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1									
	5									
	4									
	3									
	2	3.624	1.00	3.624	1.200	0.956	4.166	4.348	(0)	OK
Y 方向 負 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1									
	5									
	4									
	3									
	2	3.626	1.00	3.626	1.200	0.958	4.168	4.351	(0)	OK

《補強計画》

補強目標性能 $r_{Iso}=0.80$ と設定し、補強後の I_s が 0.80 以上となる補強案を検討する。補強対象は、耐震診断結果 I_s が 0.80 を下回る会議室棟2、3階(X方向)について、会議室ベランダ側(B通り2～3通り間)に枠組鉄骨ブレースによる補強を行うこととして計算した。

判定基準		$E_0=1/A_i \cdot C \cdot F$					$I_s=E_0 \cdot S_D \cdot T$			
		$I_s \geq 0.80$								
X 方向 正 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1	3.001	1.00	3.001	1.178	0.947	3.348	3.535	(0)	OK
	5	1.321	1.00	1.321	1.200	0.947	1.502	1.586	(0)	OK
	4	0.904	0.80	0.723	1.200	0.947	0.822	1.085	(0)	OK
	3	0.832	1.00	0.832	1.200	0.947	0.945	0.998	(1)	OK
	2	0.785	1.00	0.785	1.200	0.947	0.892	0.942	(2)	OK
X 方向 負 加 力	階	CT	F	E_0	S_D	T	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	(Nr<N)	判定
	PH1	3.001	1.00	3.001	1.178	0.947	3.348	3.535	(0)	OK
	5	1.322	1.00	1.322	1.200	0.947	1.502	1.586	(0)	OK
	4	0.925	0.80	0.740	1.200	0.947	0.841	1.110	(0)	OK
	3	0.730	1.00	0.730	1.200	0.947	0.830	0.876	(3)	OK
	2	0.738	1.00	0.738	1.200	0.947	0.839	0.886	(3)	OK

以上より、耐震補強後に I_s が 0.8 以上確保できることを確認し、補強案検討を終了する。

◆武蔵野公会堂 改善案ごとの現行遡及工事概要について

現在の法規に照らし、改善案ごとに現行遡及工事が必要となる箇所と内容は以下のとおりとなる。

項目	改善案Ⅰ 工事概要		改善案Ⅱ 工事概要		既存のまま修繕工事のみ 工事概要(参考)
	会議室棟(既存)	ホール棟(既存)	会議室棟・管理棟	ホール棟(既存)	
耐震補強	鉄骨プレースを2、3階ベランダ側開口部に設置。⇒Is=0.83	—	—	(会議室棟・管理棟を新築する場合) ⇒ Is=0.777 (既存会議室棟の一部躯体を活用する場合) ⇒ Is=1.181	≪劣化改修≫ (内装・電気設備・機械設備・給排水設備・屋上防水・外壁塗装・ホール客席座面張替え、ひび割れ補修・モルタル浮き等補修等) ≪舞台機構・照明・音響改修≫ ≪設備機器搬出入口設置工事≫
防火区画・防火設備	延焼ラインにかかる開口部交換、 堅穴区画・防火ダンパー設置、 防火設備建具改修(合計10か所)	防火設備建具改修(2か所)	—	防火設備建具改修(2か所)	
非常用進入口	非常用進入口(代替進入口)設置	—	—	—	
排煙設備	内装改修		—	内装改修	
換気設備	換気設備設置、換気上有効な開口部設置		—	換気設備設置、換気上有効な開口部設置	
東京都バリアフリー条例	敷地内スロープの勾配改善 誰でもトイレ有効寸法確保 トイレ内ベビーチェア設置 段差解消(EV設置、スロープ設置)	段差解消 (スロープ設置)	—	段差解消 (スロープ設置)	
	標識の設置		標識の設置		
東京都火災予防条例	—	ホール客席の間隔確保		ホール客席の間隔確保	
東京都建築安全条例 (興行場等に係る規定)	—	客席出入口有効開口幅確保 舞台と舞台回り各室の防火区画、設備設置	—	客席出入口有効開口幅確保 舞台と舞台回り各室の防火区画、設備設置	
東京都自然保護条例	敷地内緑化面積の確保		敷地内緑化面積の確保		

武蔵野公会堂の改修等に関する有識者会議の経過

令和４年６月に設置された「武蔵野公会堂の改修等に関する有識者会議」では、１１月までの約６か月の期間に６回の会議が重ねられ、公会堂の更新の方向性や必要な機能、まちとのつながり等について、並行して実施された市民ワークショップ等での市民意見も参考にしながら検討が進められた。令和４年１２月には有識者会議の報告書が取りまとめられた。

<開催経過>

	開催日	主な議題
第１回	令和４年６月２日（木）	市の検討経過（施設・エリアの課題、施設の改善案など）、施設見学
第２回	令和４年７月２１日（木）	施設の現状・課題について、改善案について
第３回	令和４年８月２４日（水）	改修・更新の方針について
第４回	令和４年９月２７日（火）	必要とされる機能の検討
第５回	令和４年１０月２１日（金）	必要とされる機能の検討
第６回	令和４年１１月２２日（火）	報告書（案）の検討

※各回の資料及び有識者会議の報告書は市のホームページで公表している。

<委員名簿>

氏 名	所 属	選任区分
○小林 真理	東京大学大学院人文社会系研究科教授	文化政策に関する専門家
吉本 光宏	株式会社ニッセイ基礎研究所研究理事	文化政策に関する専門家
◎吉川 徹	東京都立大学大学院都市環境科学研究科教授	都市計画に関する専門家
青木 茂	青木茂建築工房代表者	建築に関する専門家
花柳 美輝風	武蔵野市民芸術文化協会	芸術文化活動の関係者
町田 敏	吉祥寺南町コミュニティ協議会委員長	まちづくり活動の関係者
和久津 豊	吉祥寺活性化協議会会長	まちづくり活動の関係者
毛利 悦子	市民活動担当部長	市の職員

◎座長 ○副座長 （選任区分順）

市民意見聴取の経過

■ 市民ワークショップの概要

市報等での募集に応募していただいた市民の方々を対象に、3回にわたるワークショップを開催した。各回のワークショップ終了後には、グループワークの内容や会場の様子をまとめた「ニュースレター」を作成し、ワークショップにおける振り返りや有識者会議での情報共有、市民一般への情報発信のための資料とした（P40～42 参照）。

第1回	日時 会場 参加者 テーマ 内容	令和4年8月30日（火）午後7時～9時 武蔵野公会堂 ホール 19名 武蔵野公会堂ってどんなところ？ 施設の見学を実施後、公会堂の思い出などについてグループで意見交換
第2回	日時 会場 参加者 テーマ 内容	令和4年9月13日（火）午後7時～9時 武蔵野芸能劇場 小ホール 17名 武蔵野公会堂に必要な機能や規模を考えよう！ 施設を「ホール、会議・練習、共用エリア、その他」に分けてグループで意見交換
第3回	日時 会場 参加者 テーマ 内容	令和4年10月10日（月・祝）午後1時30分～3時30分 武蔵野プレイス フォーラム 15名 もっと広げる・まちに広がるために どうしたらよいか考えよう！ 施設の情報発信やまちへの広がりについてグループで意見交換

■ オープンハウスの概要

ワークショップへの参加が難しい若者世代や子育て世代からの意見聴取を目的として出張型の展示・説明により一人ひとりの意見を聴く「オープンハウス」を実施した。実施結果はニュースレターとして取りまとめ、公共施設での配布等により周知を行った（P43 参照）。

場所	内容・日時・回答者
武蔵野プレイス 青少年フロア	青少年フロアを利用中の若者世代（主に中高生）から意見聴取 日時 令和4年10月28日（金）、29日（土）午後4～6時 回答者 62名
0123 吉祥寺	0123 吉祥寺を利用中の子育て世代から意見聴取 日時 令和4年11月4日（金）、5日（土）午後2時～4時 回答者 25名

NEWS LETTER

武蔵野公会堂の改修に関する 市民ワークショップ



No.1

2022年9月発行
発行元：武蔵野市
編集：(株)シアター
ワークショップ

第1回市民ワークショップを開催しました！

令和4年8月30日(火)、武蔵野公会堂の改修などに関する市民ワークショップの第1回が武蔵野公会堂ホールで開催されました。朝から曇りがちの天気でしたが雨が強くなることはなく、総勢17名の方に参加いただきました。この武蔵野公会堂の改修等に関する市民ワークショップは、武蔵野市立武蔵野公会堂の改修等に関する基本計画の策定に向けて市民の皆さんのご意見をお聞かせいただくため、全3回開催します。このニュースレターでワークショップ当日の様子や頂いたご意見をお伝えしていきます。

今回の第1回市民ワークショップでは、まず初めにワークショップを進行する株式会社シアターワークショップより、光と音楽によるパフォーマンスを披露しました。その後、公会堂のことをさらに知っていただくため、普段見ることのできない舞台裏を含めた施設見学ツアーを実施。チームごとに模造紙を囲んで、約1時間のグループワークをしていただきました。今回のワークショップのテーマは「武蔵野公会堂ってどんなところ？」。施設見学ツアー、話し合いは4つのチームに分かれて行い、施設見学ツアーで感じたことも含めてチーム内で色々な意見を交換していただき、さまざまな視点から公会堂の「これまで」と「これから」の姿が見えるワークショップになりました。代表者の発表もそれぞれの思いが伝わり分りやすく、大変好評でした！



武蔵野公会堂とは？

武蔵野公会堂は、1964年に開館しました。これは市内で一番古く開館した公立文化施設です。吉祥寺駅より徒歩2分、井の頭公園に向かう道沿いにあり、アクセスも抜群です。公会堂の各所に設計者の工夫が凝らされ、ホールは木で貼られた天井と吊り下げ照明による美しい内装が目を引きます。客席数は350席であり、市民の発表会やコンサート、講演会などに良く利用されています。演目としては、「武蔵野寄席」や「吉祥寺音楽祭」、近年では「吉祥寺アニメワンダーランド」等も有名です。

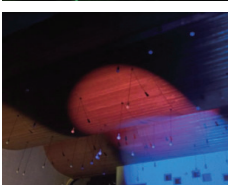
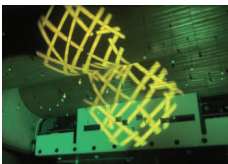


光と音楽のパフォーマンス

今回のワークショップでは開始前に、進行を担当する株式会社シアターワークショップより、光と音楽によるパフォーマンスを披露しました。公会堂の照明が落ちるとテクノな音楽が鳴り始め、ムービングライトが公会堂の天井を光で照らします。最初は白一色だった光の色も、音楽の展開とともにカラフルになり、興奮のうちに終わります。1分程度のプログラムでしたが、光と音楽の力を感じる時間となりました。

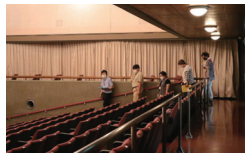


演出で使った→
ムービングライト
JB-Lighting P18



施設見学ツアー！

武蔵野公会堂の事を皆様によく知っていただくため、ワークショップ前に公会堂の施設見学ツアーを実施。チーム毎にホール、楽屋、舞台裏などを回りました。公会堂のこれまで知っている場所だけではなく、日頃入ることが出来ない舞台裏などを見て回ること、みなさんに公会堂についてより詳しく知っていただくと共に、様々なご意見を頂くことが出来ました。



施設見学ツアーのご意見・ご感想

舞台の裏側を見せて
いただいたが、本当に狭い…

和式がまだ残ってるの！(トイレを見て)

外の窓がホールに繋がっているのね！

音階は客席を利用するので、
バックを見せていただけて良かった。

公会堂の中をよく見ることができ、
古さを感じ、昔を楽しみました。

市民ワークショップでのご意見（抜粋版）



どろチーム



りすチーム

これまで

- 市民の活動の場
- 発表会で舞台に立った（幼稚園）。
- おはよしの初舞台。
- 開館以来、思い出がいっぱい。
- 市民グループで映画会を3〜4度。
- 子どもの舞台（50年前）。
- 市民が役者になって劇。

施設利用

- 探偵ムサシ（市のイベント）のチェックポイント。
- テレビ取材の撮影取りで会議室。
- 保健所の講習をたくさん受けた。
- 小会議室はコミセン。

場所の思い出

- 武蔵野の代表的建物。
- スバル座、洋画専門V50也。
- 牧阿佐美バレエ団練習所。
- 清風園（丸井の前施設）。

これから

- 公会堂はランドマーク！
- まちのつながり
- 商業と住宅の調和・緑を豊富に。
- 井の頭公園と連携したイベント。
- 駅近の複合利用施設。・発信力。

会議室

- 小ホールを多目的に。・小会議室は不要。・100名規模の会議室。

屋外・屋上

- 屋外イベント。・屋上が使えたら。

中長期計画

- 建て替え。敷地の拡大も必須。

駐車場活用

- 荷物置きや障がい者用だけで不要。

バリアフリー

- 階段に不自由な方用の椅子（電動）。
- 音の出せる練習室がほしい。

これまで

- 市民の活動の場
- ピアノの発表会で利用。
- 何度か。寸劇をやって出演も。
- コンサートで使わせて頂きました。
- 詩吟、大会・コンクールで使用。

利用したことがない！

- 子どもが利用したことがない。
- 実は利用したことが一度もない。

使い勝手

- ホールはスタッフが充実。
- 会議室の音響設備は古かった。
- ホールに車いすを運ぶのが大変。
- 2階以上はお年寄りが大変。
- 駅から近く便利。土日は使えない。
- 座席も狭く奥に入るのが大変。

レストラン

- 地下のイタリアンレストラン。
- 公会堂カフェレストランを。

これから

- 新しい使い方
- 若者の活動の拠点（音楽、演劇）。
- プロによる援助・一緒に文化発信。
- 文化、教育との連携、学校利用。

武蔵野のシンボル

- ピロティに触っても良い彫刻。
- 武蔵野のイメージの小道、散歩道。

古さをいかす

- ふらっと利用
- まち案内。・オープンスペース。
- 災害時の援護・情報施設！
- 「公会堂」の名前は公募に！

機能

- 搬入口を大きく屋根付に。
- 地下倉庫を看替え室にすれば便利。
- 大物を呼んでコンサートを！
- 明るく元気になる色！
- 保育室。子どもの遊び場。



やまねこチーム



はくちょうチーム

これまで

- 鑑賞体験
- コンサートには狭い！
- 落語・コンサート・講演会。
- 某候補の演説会。

会議

- マンションの会議。
- 公共施設なのにバリアフリーじゃない！
- 暗い！趣がありすぎ？
- ホールと思えない！に見えない。
- 数年前に小編成のオーケストラを聞いたことがある。
- 井の頭公園に行く途中で横を通り過ぎる。
- 死角がある。
- 地の利を活かきれていない。

これから

- 演奏会 / 質の高い鑑賞体験
- wifiを使って同時中継。
- 演劇観たい！・映画の上映会。
- 室内楽の演奏会を定期的に。

新たな居さ / 機能

- 防炎拠点。・図書館。
- キッズスペース。・トイレ。

市民のギャラリー / 展示したい

- エントランスにイベントスペース
- ほしい（絵画展など市民の）。

雰囲気 / 立ち寄れる

- 緑豊かな明るい空間。
- 広報スペースが少ない。
- 気軽に入れるようcaféなど併設。
- エントランスが狭すぎる。

使い勝手 / バリアフリー

- 予約は少なくとも1年以上。
- 完全なるバリアフリー。

これまで

- 初期のおもいで
- 小学生の息子と映画鑑賞。
- 友人の発表会。
- 講座（手芸など）。

建物のイメージ

- 昭和レトロ。
- 屋根が可愛。
- かたい。
- トイレ？和式と不要。
- シート、硬い、狭い。
- 階段が多い。

今もやっている公演

- 映画・落語。
- 講演会。
- マジック。

これから

- 建物の機能として
- カフェの併設。
- 高層化（立地が良い）。
- エレベーターorエスカレーター。
- 図書館を併設（池袋）。
- シートも少し広く。
- 地下で駅と直結。
- 集まれる場。
- トイレがきれい。
- 古い映画・トーク。

建物・雰囲気

- ホールの解放感。
- 昭和レトロ。
- 改修が建て直しと興味がある。

なんでもアンケートのご意見・ご感想

いろいろな考え方と
お話ができて楽しか
つたです。みなさんの思いが
いっぱい詰まったホールに
なると良いですね。

様々な人が、自ら発信し、
参加できる施設が理想。
設備をいかに
改善できるか…
とても難しい課題。

リニューアルする場合に、
どの位の面積、容積、階数が
できるのか。費用も明らかに
して下さい。

知らない方々と
新しいプロジェクトについて
話ができるという経験は
なかなかできないこと。貴重な
体験ですがもう少し多くの
人々が参加しても
よかったのでは？

とても有意義な会
でした。どのチームも
代表の発表が
素晴らしい。

公会堂単体では
なく、やはり地域
全体の街づくりと絡めて
議論しないと夢物語に
なってしまう。

公会堂のこと、
周辺のこと、
知らなかったことを
たくさん知ることが
でき、楽しかったです。

コミセンより公会堂の
方がいいよ！と言われる
施設になって欲しい！
暗い、狭い、小さいので、
入りやすく明るく
広い施設に！

次回のワークショップは...？

テーマ：武蔵野公会堂に必要な機能や規模を考えよう！

日時：令和4（2022）年9月13日（火）

19：00～21：00

場所：武蔵野芸術劇場 小ホール

お問い合わせ

武蔵野市 市民部 市民活動推進課

〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28

武蔵野市役所 西棟 7階

電話：0422-60-1831 ファックス：0422-51-2000

ワークショップの情報はこちらからもご覧頂けます。 武蔵野市公式HP



NEWS LETTER

武蔵野公会堂の改修等に関する
市民ワークショップ



No.2

2022 年 10 月 発行

発行元：武蔵野市
編集：(株)シアター
ワークショップ

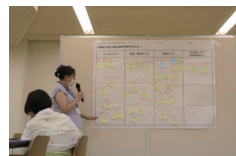
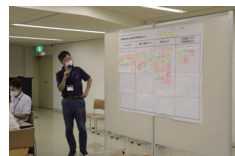
第2回市民ワークショップを開催しました！

令和 4 年 9 月 13 日（火）、武蔵野公会堂の改修等に関する市民ワークショップの第 2 回が武蔵野芸術劇場小ホールで開催されました。第 1 回から継続して参加いただいた方も多く、総勢 17 名の方に活発な意見交換をしていただきました。

第 2 回市民ワークショップのテーマは「武蔵野公会堂に必要な機能や規模を考えよう」でした。前回ご意見をいただいた公会堂の「これから」に焦点を当て、やりたい事を実現するためには公会堂にどんな機能や設備があるといいか、グループワークで考えていただきました。グループワークでは公会堂へ求める機能について意見を出し合い、実際の利用の仕方を想像しながら模造紙を埋めていきました。音響、屋上緑化、ギャラリー、バリアフリー、IT、子育てなどの多彩なアイデアが飛び交いました。4 つのグループの内、さかずきチームからは緑化やオープンスペースなどふらっと立ち寄る施設イメージ、すすきチームからは立ち飲み出来るカフェバーというご意見も。だんごチームはバリアフリーに着目し、うさぎチームは情報発信を通じてまちと繋がるイメージを出していただきました。最後は発表表を通じて他グループの意見にも熱心に耳を傾けていただくことで、さらに豊かなイメージが広がるワークショップとなりました。次回は最終回、テーマは「もっと広げる、まちに広げるためにどうしたらよいか考えよう」です。沢山の方のご参加をお待ちしております！



話し合いの様子

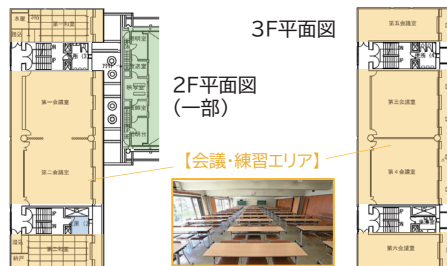


各チーム発表の様子

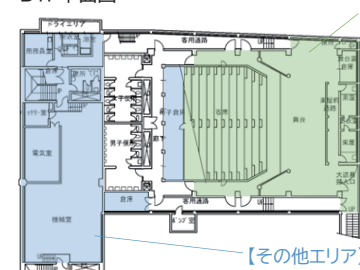
文化施設の機能とは？

公会堂に必要な機能、規模について議論していただくにあたり、文化施設に求められる機能をホールエリア、会議・練習エリア、共用エリア、その他エリアの 4 つに分類しました。右図が公会堂をこの 4 つに塗分けしたマップです。やりたい事がどのエリアで実現できるか、参加者に具体的なイメージをしていただき、各エリアに必要な機能、設備について様々なご提案をいただきました。

- 【ホールエリア】**
主に発表や鑑賞を行うための大ホール、小ホールなど
- 【会議・練習エリア】**
日常的な練習や創作を支えるリハーサル室、会議室、音楽スタジオなど
- 【共用エリア】**
多様な人々の交流を促すロビーの交流スペース、情報コーナーなど
- 【その他エリア】**
管理運営事務室や倉庫など、管理上必要な機能



B1F平面図

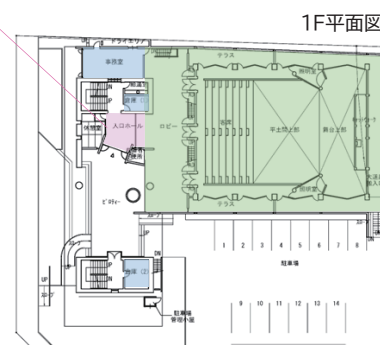


【ホールエリア】



【その他エリア】

【共用エリア】



市民ワークショップでのご意見（抜粋版）

ホール エリア	会議・練習 エリア	共用 エリア	その他 エリア
さかずき チーム 	施設規模 ・大規模ホール（1000 席） ・小学校一校が入る（500 ～） ・大ホールと小ホールの両方を 音響・配信設備 ・学術会議 ・ホール、クラシック以外で 使いやすい、音響設備、 動画配信出来る 施設名称 ・パープルホールを残して	施設規模 ・会議室は 50 名～100 名くら いで小さな講演会をしたい 防音設備 ・防音室（10 畳ほど） ・脱音室 ・会議室とリハ室をわける ・控室、練習室、防音室 多目的会議室 ・会議室 ・会議室解体	緑化 / オープンスペース ・ランドマークとして省エネ・ ユニバーサルデザイン ・緑あふれるオープンスペース ・夜でも明るく？治安は維持 ・明るいオープントランス ふらっと立ち寄る ・ふらっと立ち寄り小休止 ・情報検索ができる設備 駐車場・駐輪場 ・駐車場の有効活用イベント
すすき チーム 	防音・音響 ・夜間公演や早朝リハで 爆音 ・音響の良いホール 演出 ・芸能（能・歌舞伎） ・楽器や道具を置く部屋！ ・男女化粧室と着替え室 搬入 ・騒音にならない搬入口→地下 施設規模 ・大 750～800、小 300	仕切る会議室 ・明るく壁に色を！20～100 人 映像設備 ・スクリーンとプロジェクター 作業室・調理室 ・ケータリングや party も 和室 ・机→掘りゴタツ式でも可 リハーサル室 ・練習室→合唱、オーケストラ ・バンド演奏全て対応	トイレ ・各階に。多い階には 8～10 個（女性）多目的も 情報発信 ・大規模チラシラック ・武蔵野の歴史時代物等展示 ・広い展示会ホール 設備 ・フリー Wi-Fi と専用 Wi-Fi カフェ ・立ち飲みできるカフェバー
だんご チーム 	施設規模 ・音楽・舞台など→350 名 ・音楽家、劇団の意見聞いて 控室 ・ホール動線も考慮した控室 →10 人 / 4 人収容の 2 部屋 配信設備 ・ホールの Wi-Fi→LIVE 中継 バリアフリー ・ホールのバリアフリー ・エレベーター・エスカレーター	施設規模 ・小・中学生の部活利用→50 人 バリアフリー ・展示ギャラリー ・最先端の映像設備 ・コミセンとの関係 ・会議室は必要？ ・コミセンで代用可？	情報発信 ・市内案内コーナー ・展示ギャラリー ・武蔵野の歴史時代物等展示 ・広い展示会ホール 搬入出 ・搬入用の EV またはスロープ ・駐車場の地下化 屋上緑化 ・屋上緑化公園 夏の夜に映画会 ・雰囲気・プレイスのような
うさぎ チーム 	控室 ・音楽、バックヤード広 ・楽器スペース・練習室、 ・楽器音響機器の保管場所 座席 ・ホールのいす ・ゆっくり休めるように 防災拠点 ・防災拠点 可動席 ・災害の際の避難施設 →平土間にできる	まちとのつながり ・若者たちが成長できる場 ・地域放送局 spotify ・サークル活動 open つながる つながら会議室 ・会議室、可変壁 外観 ・インスタ映え？ ・屋根がかわいい昭和レトロ 施設コンセプト ・「そこに行けば何かできる」	屋上・緑化スペース ・屋上有効活用 ・子どもが遊べる公園を屋上に ・フリーマーケット ・マルシェ早朝市場 子育て支援 ・オムツ替えスペース ・授乳室→30 ml くらい？個室 設備 ・立ち寄りスペース ・Wi-Fi・カフェ・防災設備
			運営事務室 ・事務室はオープンに明るく 声かけやすい 再生エネルギー ・再生エネルギー（SDGs） の活用 ・CO2 削減・防災 屋外スペース ・一般駐車場を屋外スペースに ・緑多き屋上ガーデן 防災拠点 ・非常時の逃げやすさ 運営事務室 ・明るく声掛けしやすい 再生エネルギー ・託児機能 ・預かりもあるキッズスペース 解体を考える 災害対応 ・大規模災害時の避難施設機能。 子育て支援 ・保育・子ども預かりスペース ・トイレ・バリアフリー →各階に。一番多い階には 8～10 個（女性）多目的も 中長期的計画 ・20 年建替なら最小限の改修で ・高層化して図書館を併設 環境配慮 ・脱炭素ソーラー バリアフリー ・バリアフリー→全館 駐車場 ・障がい者用搬入用以外は不要

なんでもアンケートのご意見・ご感想から一部をご紹介します！

このスタイルの住民参加の議論ができるワークショップを多く開催してほしい。参加者は様々な意見を持っているので、実際に採用できる。考えてほしい。

緑、飲食は欲しいですね。給水ポイント。駅ピアノ・パフォーマンスエリアがあるといいです。（小さくてもかまわない。）

第 1 回は参加できず初参加でした。初対面の市民の皆さんと意外なほど活発に意見交換できました。各チームの発表者の発表スキルが高く、素晴らしいかったです。

市民、特に小・中学生が多く活用できるような施設になって欲しい。吉祥寺のまちなじむ機能・用途。

井の頭公園の野外音楽堂と連携。（発表にあったが、とても面白いと思った。）

前回より具体的でしたが、何度も話さなければ具体化にならないのではと思いますので、ぜひ今後もまだない意見とアイデアがないのか探してほしい。

次のワークショップは ... ？

テーマ：まちに広げる・もっと広げるために
どうしたらいいか考えよう

日時：令和 4（2022）年 10 月 10 日（月・祝）
13：30～15：30

場所：武蔵野プレイス フォーラム

お問い合わせ

武蔵野市 市民部 市民活動推進課

〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2-2-28

武蔵野市役所 西棟 7 階

電話：0422-60-1831 ファックス：0422-51-2000

ワークショップの情報はこちらからもご覧頂けます。



武蔵野市公式 HP

NEWS LETTER

武蔵野公会堂の改修等に関する
市民ワークショップ

No.3

2022年11月発行
発行元：武蔵野市
編集：(株)シアター
ワークショップ



第3回市民ワークショップを開催しました！

令和4年10月10日（月・祝）、武蔵野公会堂の改修等に関する市民ワークショップの第3回が武蔵野プレイス フォーラムで開催されました。今回が初参加の方も含め、15名の武蔵野市民の皆さまによる熱い意見交換が行われました。

第3回市民ワークショップのテーマは「もっと広げる、まちに広がるためにどうしたらよいか考えよう」でした。前回、前回のワークショップのテーマである、公会堂で何をやってみようか、そのためにどんな機能や規模が必要かのご意見をふまえて、情報発信や吉祥寺のまちとの連携についてグループワークを行っていただきました。今回は説明の後に質問タイムを設け、公会堂とまちづくりの関係についてのご意見や、類似の施設事例をもっと知りたいなど、積極的な発言を多数いただきました。また、本ワークショップの意義についても再確認を行い、いただいたご意見をしっかりと検討に活かす事をお約束しました。グループワークでは、サッカーチームは民間活用、やきゅうチームは公会堂の魅力UP、バスケットチームは広報戦略、バレエチームはイベントに関するご意見などを中心に、各チーム多様な目線から議論が行われ、様々なアイデアが集まるワークショップとなりました。

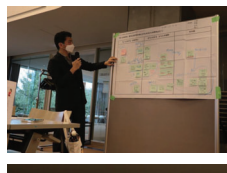
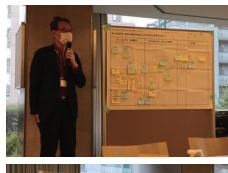
今回の開催で、全3回のワークショップが無事終了しました。いただいたご意見は大切に受け止め、有識者会議に提示し、今後の計画検討においても参考にしていきたいと思います。これまでご参加いただいたみなさま、ご協力ありがとうございました！



話し合いの様子



質問タイム



各チーム発表の様子

公会堂の情報発信

公会堂の公演・イベント発信は、ホームページ、SNS、市報、チラシなどで行われています。



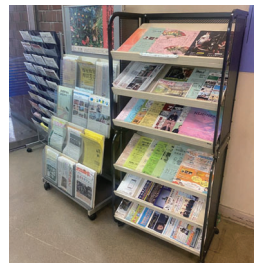
ホームページ



武蔵野市民文化会館、武蔵野公会堂、武蔵野芸術劇場、武蔵野スイングホール、松島野



SNS



チラシラック



市報



チラシ

吉祥寺のまちとの関係

公会堂は、吉祥寺駅とパークエリアを結ぶバードル通りにあります。パークエリアには、緑豊かな憩いの場所である井の頭恩賜公園、個性的な店舗が賑やかに軒を連ねる七井橋通り、そして閑静な住宅地が同居しています。公会堂の改修等については、将来のエリアの面的整備を見据え、住宅地に対する配慮を大切にしながらまちの賑わいとこの繋がりを常に考える必要があります。



MAP
NEXT吉祥寺2021より引用



七井橋通り



バードル通り



井の頭恩賜公園

市民ワークショップでのご意見（抜粋版）

もっと広げる （情報発信）

サッカー チーム



情報発信
・SNSの活用 ツイッターなど
・HP・プレスリリースサイト（スマホ対応）
・掲示板 もっとフレンドリー、かつよく
・掲示板より大きなスクリーン
イベント
・スタンプラリー（民間とも連携する）
・まどき・公園内のイベントと同期させる
教育・若い人
・地域の小中学校と連携・発信（子供を介して）
・若者世代にアピール・コラボ

やきゅう チーム



情報発信
・SNSの「本気」の活用→「中人」がフォローと交流→宣伝内容も工夫
・名物店を作る→市内小〜大学の演劇部の演劇祭→朗読劇 Week→市内演劇祭
・吉祥寺駅（JP・京王）に協力してもらい駅アナウンスとコラボ→舞台の宣伝だけでなく劇中設定を活かしたアナウンスとか
・公会堂のSNS、HP・施設のカラーを出す
・立地の良さを生かす来場者をふやす。街の事業者にもっと参加してもらおう

バスケット チーム



ブランディング
・アニメ社とのコラボ・若者に特化
・施設のカラー・立地の良さを生かす
施設の名称変更
・サカルチャー・プレイスのようなイベント
・PR・まちあるきイベントコラボ
・タイアップ アニメ系イベント
発信（SNS・物理）
・SNSとの連携 文化事業団から独立。
・駅前デジタルサイネージでの広報

バレエ チーム



やはり！
・ロコミ
・なまは重要
・ネーミング
外への発信の仕方
・今何をやっているのか分からない！
・掲示板工夫
工夫
・HPも分かりにくい。音楽？スポーツ？
場所性
・居心地がよい、使いがてがよければ人は集まる
・吉祥寺駅からの看板告知

まちに広がる （まちとの連携）

街区とのつながり
・街区再開発との整合性・駅からの人の流れ
・井の頭通りのバス停整備との関係
屋上・広場
・前面スペース・屋上緑化のオープンスペース
・駅前広場を作った公園との動線を
住宅街との関係
・住宅街の環境は維持するべき
駐車場・駐輪場
・駐輪場 地域住民が来やすく、十分に！
・駐車場スペースの活用

用途を広げる一もつと自由に
・「バードル通り」をゆったりとした通りに
・立ち飲みカフェバー。吉祥寺南口やパークエリアの飲食店が限定で担当。・多目的室。
・自由な利用を。物販、飲食化。・オープンスペース・緑化 市の花、市の木。花見の桜。
・会議等の機能・公園のパフォーマンス
来てもらう、知ってもら
・吉祥寺全体で演劇祭・市が無料イベント
・公会堂バックヤードツアー（建築物の歴史）
・地域住民招待特

オープンスペース
・展示スペース だれでも
・周辺の緑を多めに 井の頭公園と融和
・まちの中に融和するようなオープンスペース
・キッチンカーイベント
・大道芸、フリーマーケット
近隣店舗との連携
・丸井との連携
・飲食店の中のデジタルサイネージとの連携

外とのつながり
・大道芸 バイオリン、バロン、ハモニカ、ギター
・駐車場の芝生化、プリマ・露店・日曜アサガ
飲食機能
・カフェ
会議室はどうする？
・会議室
・電動（階段横のバリアフリー設備）
・文化的発信の場に
広場
・芝生のスロープ
・サスケ公園

その他

民間活用
・PMIなど民間活用の活用
・公共と民間の融合
・地域の民間企業との連携
・アウトドア、スポーツ 近隣ショップと連携

・各吉祥寺地区にある類似施設とのすみ分け（特に会議室、茶室など）
（コメン、商工会館、民間の貸会議室、市民文化会館）
・とはいえ、中途半端な機能のホールはどう使っていく！！（機能のせすき問題）
・南公園を会議場敷地に含める。
・隣接住宅地とどう連携（配慮）できるか

・防災の拠点として考える
・20年先の吉祥寺プランを考える
・南口の再開発の観点で考える
・未来の公会堂を考える、20年を期間とする
・もっと良い公会堂のためには地域一帯のまちづくりも考えていくべき！街区で考えては？（豊島区のように）
・良い公会堂のためには良いまちづくりを

日常的な人のたまり、集まり
・たまり場がないからあった方がいい、夕方、コメンがたまり場になっている
・むしろ集まる場にしてカンリした方がいいのでは？
・月曜の朝ゴミがたきさん
歩行者天国
・末広のガード下は歩行者天国

なんでもアンケートのご意見・ご感想から一部をご紹介します！

このような平場の議論を多く開催するとさらに良いでしょう。限られた3回だけの議論では少ない。南口の開発の一部として公会堂をどのようなプランで建て替えるかが重要。

どういった限定の中で、何のためのワークショップなのかということについての了解が不十分だったのかとは思いました。それはそれとして私個人にとっては興味深い機会でした。

駅から直結のペデストリアンデッキでつなぐ。広告も。車と人の流れを分ける。駐車場も必要。SNSの発信（若い世代に責任をもってやってもらう）。JR/京王線とのコラボ。何故20年という縛りがあるのか？

意見として述べさせていただきましたが、事例として公会堂ホールなどをリノベしたものを教えていただきたい。資料からはキレイなイメージなものばかりで、実際とは異なると思います。

“市民の発表の場”としての在り方で充分と市や市民が考えるのであれば、プロセシアムのある劇場のような作りではなく、スイングホール程度の機能で充分だと思います。中途半端な箱は使い勝手が悪く金も喰います。

良い建築をというお話をされた方がいました。ソフト面が大事ななの言うまでもないですが、仮に改修であっても、一部増築であっても、利用者がいいなと思える施設になってほしいと思います。

あとがき

全3回のニュースレターを御覧いただき、ありがとうございました！ワークショップでいただいたご意見は、公会堂の今後の検討に活かしていきます！



武蔵野公会堂

お問い合わせ

武蔵野市 市民部 市民活動推進課

〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28

武蔵野市役所 西棟 7階

電話：0422-60-1831 ファックス：0422-51-2000

ワークショップの情報はこちらからもご覧頂けます。



武蔵野市公式HP

■ 市民アンケート実施結果

【調査概要】

1 調査目的

武蔵野公会堂は、市民の発表の場などとして親しまれてきたが、設備の老朽化やバリアフリーの課題があり、武蔵野市では現在、施設のリニューアルの検討を進めている。

そこで、だれもが利用しやすく、より一層愛される施設となるよう、広く市民の皆さまから意見をうかがうため、アンケートを実施した。

2 調査方法

(1) 調査対象者 限定なし

(2) 調査内容

① 芸術文化に関する活動について 9問

② 武蔵野公会堂について 7問

③ 回答者について 4問

※設問数には自由記載欄を含む。また他の回答により不要となるものを含む。

(3) 調査回答方法

- ・書面：配架施設窓口（市民活動推進課・市内文化施設）窓口への提出、郵送、FAX
- ・オンライン：市公式ホームページ回答フォーム（LoGo フォーム）より回答

(4) 調査期間

令和4年9月1日（木）～令和4年9月19日（月・祝）

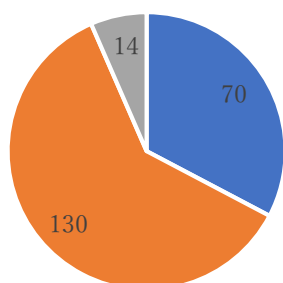
3 回収結果 214名（書面：122名、オンライン：92名）

4 留意点

- (1) 図表の中の回答者数は注意書きがある場合を除き未回答者は含まない。
- (2) 比率は百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入している。
- (3) 複数回答が可能な設問では、その比率の合計が100.0%を上回る場合がある。
- (4) 選択肢表記や回答の小さい比率は、短縮・省略している場合がある。

5 回答者属性

(1) 性別

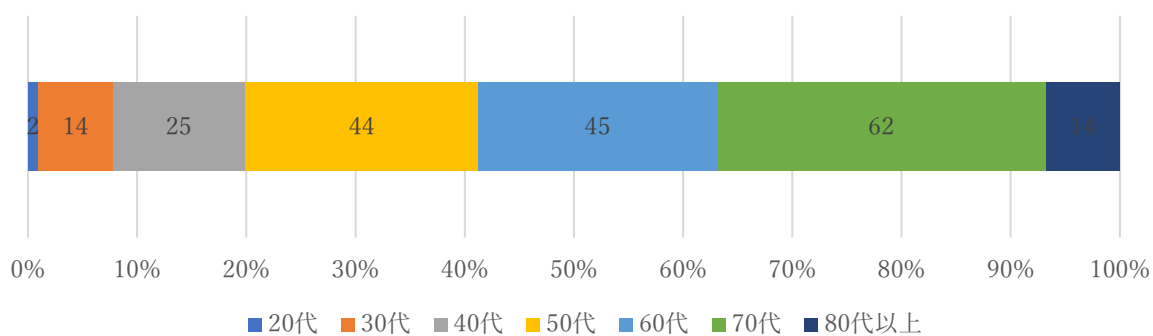


■ 男性 ■ 女性 ■ その他

	人数 (人)	構成比 (%)
男性	70	32.7
女性	130	60.7
その他	14	6.5
合計	214	100.0

※「その他」には未回答を含む。

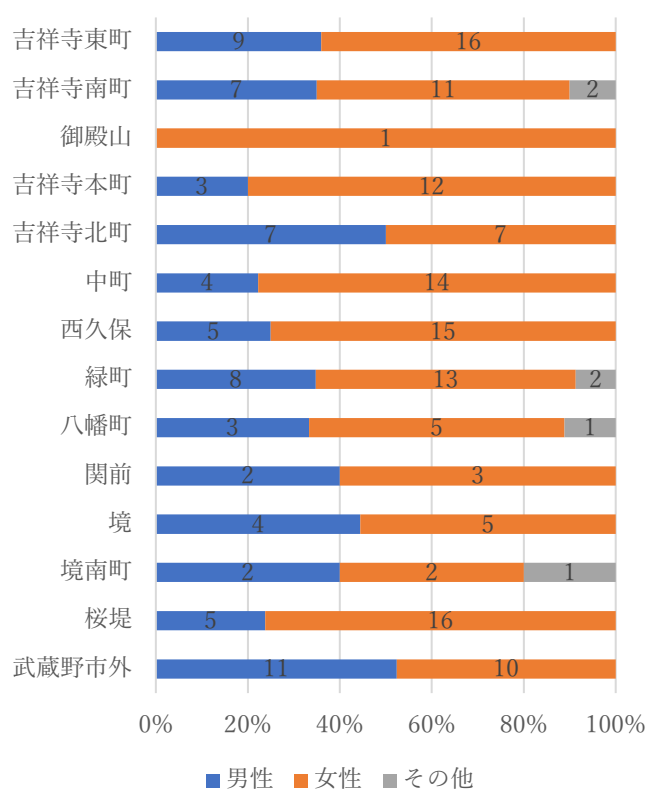
(2) 年代別全体構成比



	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代 以上	合計
人数 (人)	2	14	25	44	45	62	14	206

(3) 居住地域別男女構成比

(人)



	男性	女性	その他	合計
吉祥寺東町	9	16		25
吉祥寺南町	7	11	2	20
御殿山		1		1
吉祥寺本町	3	12		15
吉祥寺北町	7	7		14
中町	4	14		18
西久保	5	15		20
緑町	8	13	2	23
八幡町	3	5	1	9
関前	2	3		5
境	4	5		9
境南町	2	2	1	5
桜堤	5	16		21
武蔵野市外	11	10		21

6 調査票（書面）

武蔵野公会堂の改修等に関するアンケート調査

吉祥寺駅南口にある文化施設「武蔵野公会堂」は、開館から58年が経ち、老朽化した設備の更新、バリアフリーなどの課題を抱えており、武蔵野市では現在、施設のリニューアルの検討を進めています。だれもが利用しやすい、より一層愛される施設としていくため、武蔵野公会堂の現状や今後の使い方の希望などについて、皆様のご意見をおきかせください。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいようお願い申し上げます。

※本調査はお名前を記載する必要はありません。
※回答は、お1人様1回までです。
※9月10日（月・祝）までに、この回答用紙をご提出いただくか、右のQRコードからWEB（市のホームページ）にてご回答ください。
ご提出先については、この用紙の最後のページをご覧ください。
※調査結果は、市のホームページなどで公表する予定です。
【お問い合わせ】武蔵野市 市民活動推進課 電話 0422-60-1831

（1）芸術文化に関する活動についてお尋ねします

① あなたは過去1年間に、芸術文化に関する活動を行っていますか（練習、創作、公演など）。
【 】 あり → ②へお進みください
【 】 ない → ②へお進みください(3ページ)

※習い事や部活動・サークル活動、ボランティア活動を含みます（個人の鑑賞、学校の授業は含みません）。
※職業として活動されている場合も含みます。

「あとと答えた方」
②あなたの活動は以下のどの分野ですか。あてはまるものを3つまで選び【 】内に○印をつけてください。

■音楽	【 】 クラシック音楽	【 】 合唱・声楽
	【 】 その他(ポピュラー・ロック・ジャズなど)	
■演劇	【 】 演劇、ミュージカル	
■舞踊	【 】 バレエ	【 】 ダンス
	【 】 その他(地域の伝統芸能など)	
■古典芸能	【 】 能・狂言、歌舞伎など	【 】 その他(地域の伝統芸能など)
■演芸	【 】 落語・漫才・漫才など	
■生活文化	【 】 華道	【 】 茶道
	【 】 書道	【 】 洋裁・手芸・編物
■美術	【 】 絵画、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン	
■映画	【 】 映画(アニメ含む)	
■その他	【 】 具体的に記入ください	【 】

③ あなたの活動のうち、最も活動時間（回数・日数）が多いものの頻度について、あてはまるものを1つ選び【 】内に○印をつけてください。
【 】 第1回以上 【 】 月1回程度 【 】 月2～3回程度
【 】 2～3か月に1回 【 】 年に1～2回
【 】 その他（ ）

④ 日頃の練習・創作・会議などの活動への参加人数は、1回あたり何人くらいですか。
あてはまるものを1つ選び【 】内に○印をつけてください。
【 】 5人以下 【 】 6人～10人 【 】 11人～15人
【 】 16人～20人 【 】 21人～25人 【 】 26人以上

⑤ 活動成果の発表・公演などを行う場合、その場所について重視するのは次のうちどれですか。
あてはまるものを3つまで選び【 】内に○印をつけてください。
【 】 広さが適している 【 】 設備・備品が整っている
【 】 設備・備品が整っている 【 】 客席が適している
【 】 搬入・搬出がしやすい 【 】 バリアフリー対応がされている
【 】 立地が良い 【 】 駐車場・駐輪場が十分ある
【 】 使用料が手頃である 【 】 開館時間が適している
【 】 予約が取りやすい 【 】 利用の手続きが簡単である
【 】 発表・公演・展示などの情報を発信できる

上記以外に、発表・公演などの場所について重視している点があればご自由にお書きください。

（2）武蔵野公会堂についてお尋ねします

① これまでに武蔵野公会堂を利用したことはありますか。
【 】 あり → ⑦へお進みください 【 】 ない → ⑦へお進みください(4ページ)

「あとと答えた方」
② 利用頻度はどのくらいですか。
【 】 週1回以上 【 】 月1回程度 【 】 月2～3回程度
【 】 2～3か月に1回 【 】 年に1～2回 【 】 数年に1回

③ 主に利用する場所はどこですか。あてはまるものをいくつでも選び【 】内に○印をつけてください。
【 】 ホール 【 】 会議室 【 】 和室

④ 利用の主な目的は何ですか。あてはまるものをいくつでも選び【 】内に○印をつけてください。
【 】 芸術文化に関する活動場所として（練習・創作・発表・公演など） → ⑤へお進みください
【 】 芸術文化以外の活動場所として（説明会・講演会・会議など） → ⑤へお進みください
【 】 公演などの鑑賞 → ⑥へお進みください(4ページ)
【 】 説明会・会議などへの参加 → ⑥へお進みください(4ページ)
【 】 その他 → 具体的に（ ） → ⑥へお進みください(4ページ)

⑤「芸術文化に関する活動場所として」、「芸術文化以外の活動場所として」と答えた方
⑥武蔵野公会堂の以下の項目について、あてはまる欄に○を記入ください(分らない項目は空欄のまま)

	満足	概ね満足	ふつう	やや不満	不満
ホール設備の性能					
ホール設備の使いやすさ					
ホールの音響の良さ					
ホールの防音					
ホール舞台の広さ					
ホールの客席数					
ホールの来室の使いやすさ					
搬入・搬出のしやすさ					
会議室の広さ					
会議室の防音					
和室の使いやすさ					
バリアフリーの状況					
施設の使用料					
駐車場・駐輪場の使いやすさ					
予約の取りやすさ					
団体の活動に関する情報発信					

⑤ 日頃の練習・創作・会議などの活動で使用している場所は、主にどこですか。
あてはまるものをいくつでも選び【 】内に○印をつけてください。

市内公共施設	●武蔵野市民文化会館	【 】 大ホール	【 】 小ホール	【 】 展示室
	【 】 会議室	【 】 茶室	【 】 和室	
	●武蔵野芸術劇場	【 】 小劇場	【 】 小ホール	
	●武蔵野公会堂	【 】 ホール	【 】 会議室	【 】 和室
	●武蔵野スイングホール	【 】 スイングホール	【 】 スカイルーム	【 】 レインボーサロン
	●吉祥寺美術館	【 】 企画展示室	【 】 音楽室	
	●吉祥寺シアター	【 】 劇場	【 】 けいこ場	
	●松露庵	【 】 茶室	●かたらいの道市民スペース	【 】 会議室
	●その他 → 具体的に（ ）			
市外公共施設	【 】 小金井市民文化会館（南えきホール）	【 】 小金井宮地東楽ホール		
	【 】 三鷹市芸術文化センター	【 】 三鷹市公会堂		
	【 】 杉並公会堂	【 】 杉並芸術会館（座・高円寺）		
	【 】 その他 → 具体的に（ ）			
民間施設	【 】 東器店・ライブハウス等のスタジオ	【 】 貸会議室		
	【 】 個人宅	【 】 個人のスタジオ・稽古場		
	【 】 その他 → 具体的に（ ）			

⑥ 日頃の練習・創作・会議などの活動場所について、次のうちどれを重視していますか。
あてはまるものを3つまで選び【 】内に○印をつけてください。
【 】 広さが適している 【 】 設備・備品がそろっている
【 】 立地が良くメンバーが集まりやすい 【 】 駐車場・駐輪場が十分ある
【 】 使用料が手頃である 【 】 開館時間が適している
【 】 予約が取りやすい 【 】 利用の手続きが簡単である

上記以外に、練習・創作・会議などの場所について重視している点があればご自由にお書きください。

⑦ 活動成果の発表や公演などのために使用している場所は、主にどこですか。
あてはまるものをいくつでも選び【 】内に○印をつけてください。

市内公共施設	●武蔵野市民文化会館	【 】 大ホール	【 】 小ホール	【 】 展示室
	【 】 会議室	【 】 茶室	【 】 和室	
	●武蔵野芸術劇場	【 】 小劇場	【 】 小ホール	
	●武蔵野公会堂	【 】 ホール	【 】 会議室	【 】 和室
	●武蔵野スイングホール	【 】 スイングホール	【 】 スカイルーム	【 】 レインボーサロン
	●吉祥寺美術館	【 】 企画展示室	【 】 音楽室	
	●吉祥寺シアター	【 】 劇場	【 】 けいこ場	
	●松露庵	【 】 茶室	●かたらいの道市民スペース	【 】 会議室
	●その他 → 具体的に（ ）			
市外公共施設	【 】 小金井市民文化会館（南えきホール）	【 】 小金井宮地東楽ホール		
	【 】 三鷹市芸術文化センター	【 】 三鷹市公会堂		
	【 】 杉並公会堂	【 】 杉並芸術会館（座・高円寺）		
	【 】 その他 → 具体的に（ ）			
民間施設	【 】 東器店・ライブハウス等のスタジオ	【 】 貸会議室		
	【 】 その他 → 具体的に（ ）			

④で「公演などの鑑賞」、「説明会・会議などへの参加」、「その他」と答えた方
⑥武蔵野公会堂の以下の項目について、あてはまる欄に○を記入ください(分らない項目は空欄のまま)

	満足	概ね満足	ふつう	やや不満	不満
ホール舞台の見やすさ					
ホールの音響の良さ					
ホール客席の快適さ					
ホールのバリアフリー					
ホールのトイレの使いやすさ					
会議室の快適さ					
和室の快適さ					
会議室様のバリアフリー					
会議室様トイレの使いやすさ					
ロビー・休憩場所の使いやすさ					
駐車場・駐輪場の使いやすさ					
施設内の案内・情報提供					
施設の開放感(入りやすさ)					

⑦ 今後、武蔵野公会堂に対して期待することをお聞かせ下さい。

（3）ご回答者ご自身のことについてお尋ねします

① 年齢について
【 】 10代以下 【 】 20代 【 】 30代 【 】 40代
【 】 50代 【 】 60代 【 】 70代 【 】 80代以上

② 性別について【任意】
【 】 男性 【 】 女性 【 】 その他

③ 職業について【任意】
【 】 正社員・職員 【 】 自営・自由業 【 】 非常勤・パート・アルバイト
【 】 専業主婦 【 】 学生 【 】 無職
【 】 その他（ ）

④ 住んでいる地区について
【 】 吉祥寺東町 【 】 吉祥寺南町 【 】 御殿山 【 】 吉祥寺本町
【 】 吉祥寺北町 【 】 中町 【 】 西久保 【 】 緑町 【 】 八幡町
【 】 関前 【 】 境 【 】 境南町 【 】 桜堤 【 】 武蔵野市外

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

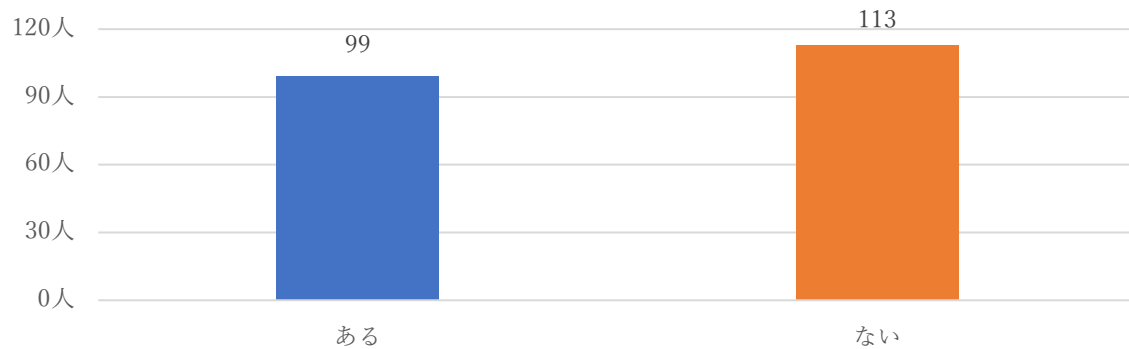
【アンケート用紙の提出方法】
以下へ郵送・ご持参またはファックスでお届けください(最寄りの市内文化施設の窓口【公会堂、市民文化会館、芸術劇場、スイングホール、吉祥寺美術館、吉祥寺シアター】でもお受け取りいたします)
武蔵野市役所 市民活動推進課 (〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28)
ファックス 0422-51-2000 ※2022年9月19日(月・祝)まで (当日消印有効)

【集計結果】

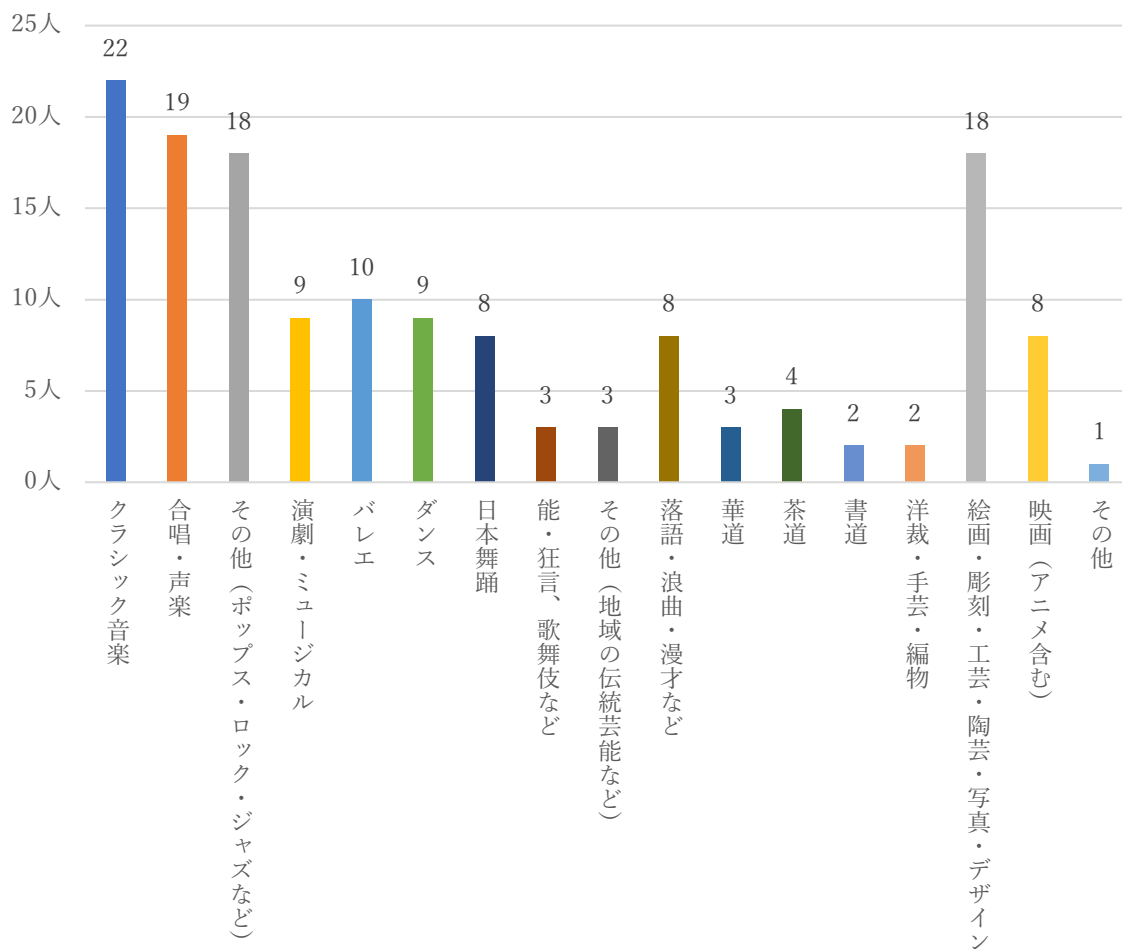
1 あなたは過去1年間に、芸術文化に関する活動をおこなっていますか（練習・創作・公演など）。どちらか1つお選びください。

※ 習い事や部活動・サークル活動、ボランティア活動を含みます

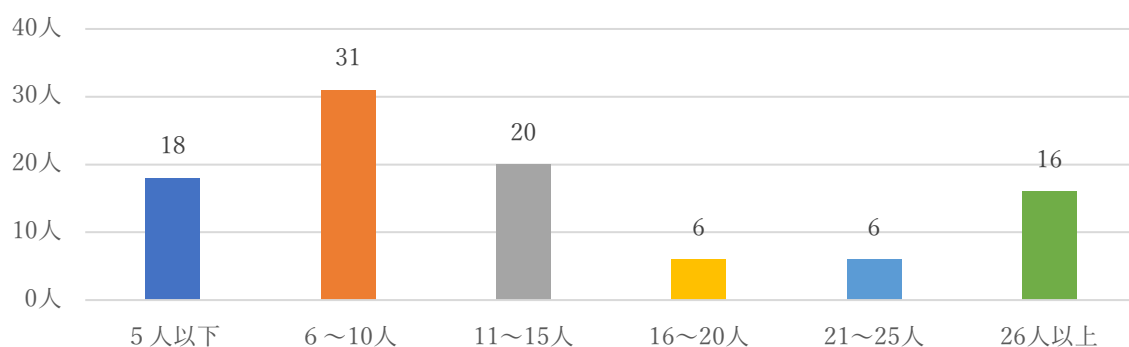
※ 職業として活動されている場合も含みます※個人の鑑賞、学校の授業は含みません



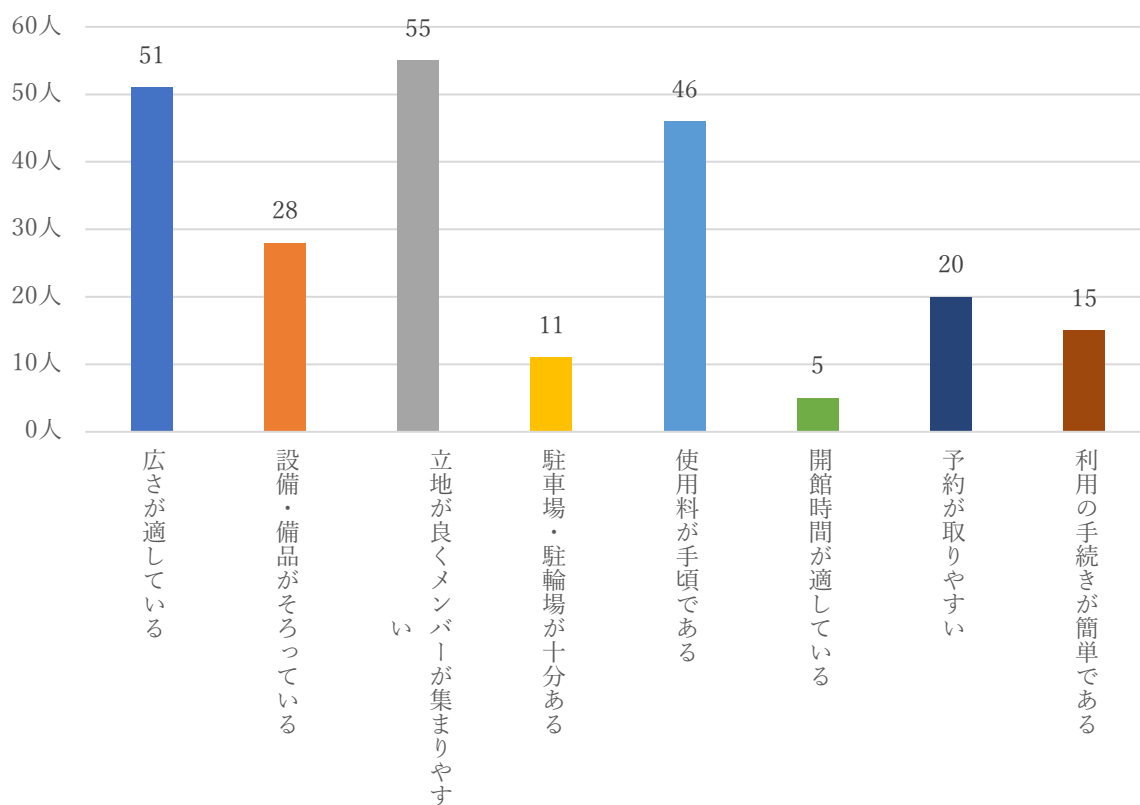
2 あなたの活動はどの分野ですか。
あてはまるものを3つまでお選びください。



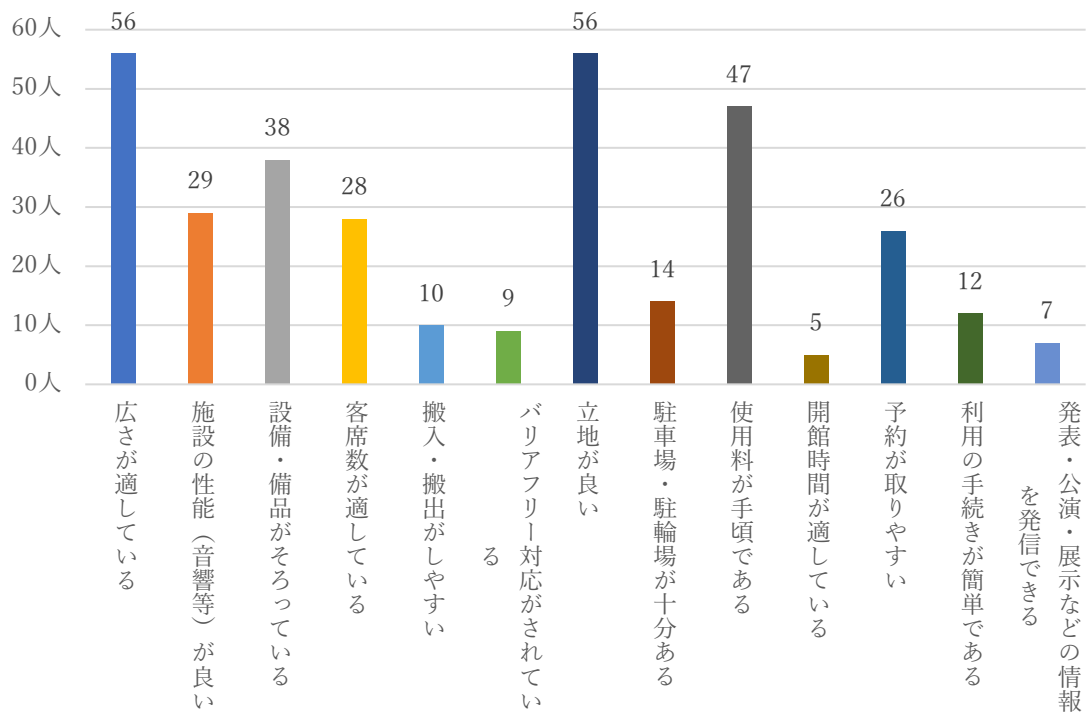
- 3 日頃の練習・創作・会議などの活動への参加人数は1回あたりどの程度ですか。
あてはまるものを1つお選びください。



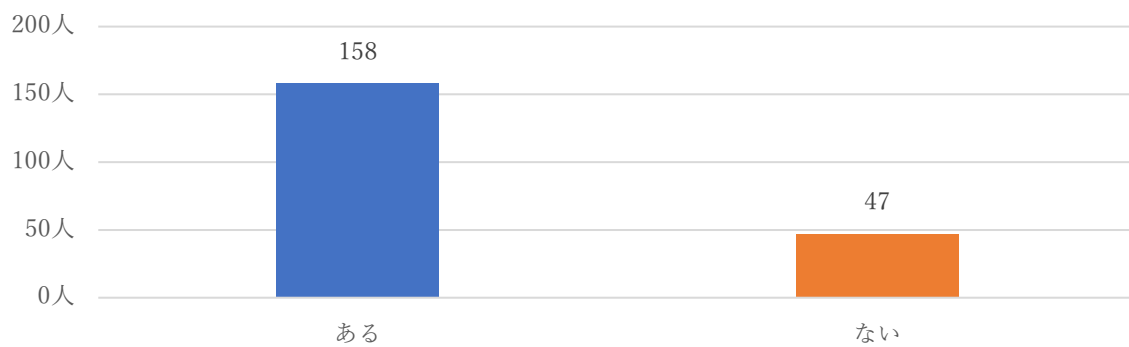
- 4 日頃の練習・創作・会議などの活動場所について、重視するのはどれですか。
あてはまるものを3つまでお選びください。



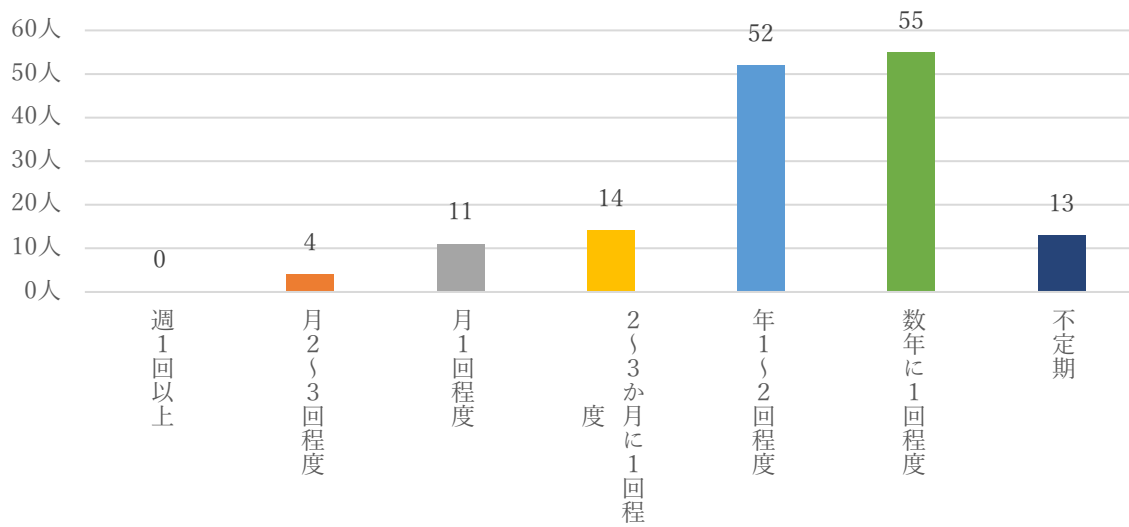
- 5 活動成果の発表・公演などを行う場所について重視するのはどれですか。
あてはまるものを5つまでお選びください。



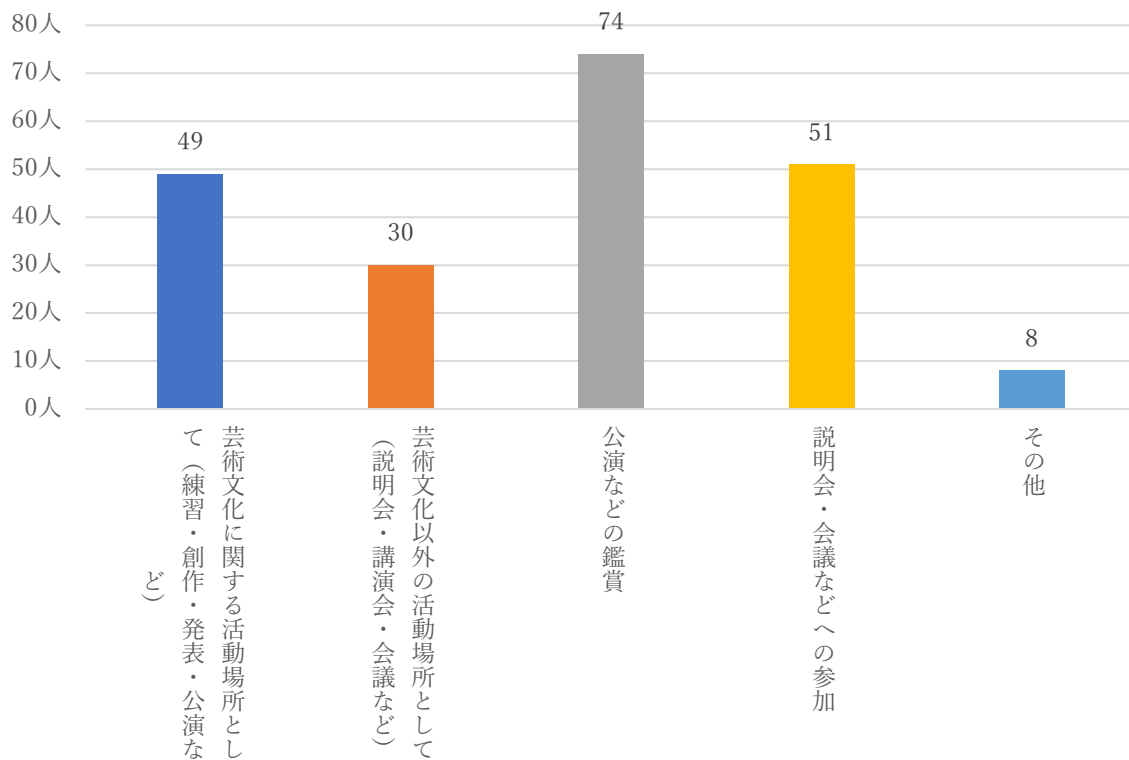
- 6 これまでに武蔵野公会堂を利用したことはありますか。
どちらか1つお選びください。



7 利用頻度はどの程度ですか。
あてはまるものを1つお選びください。



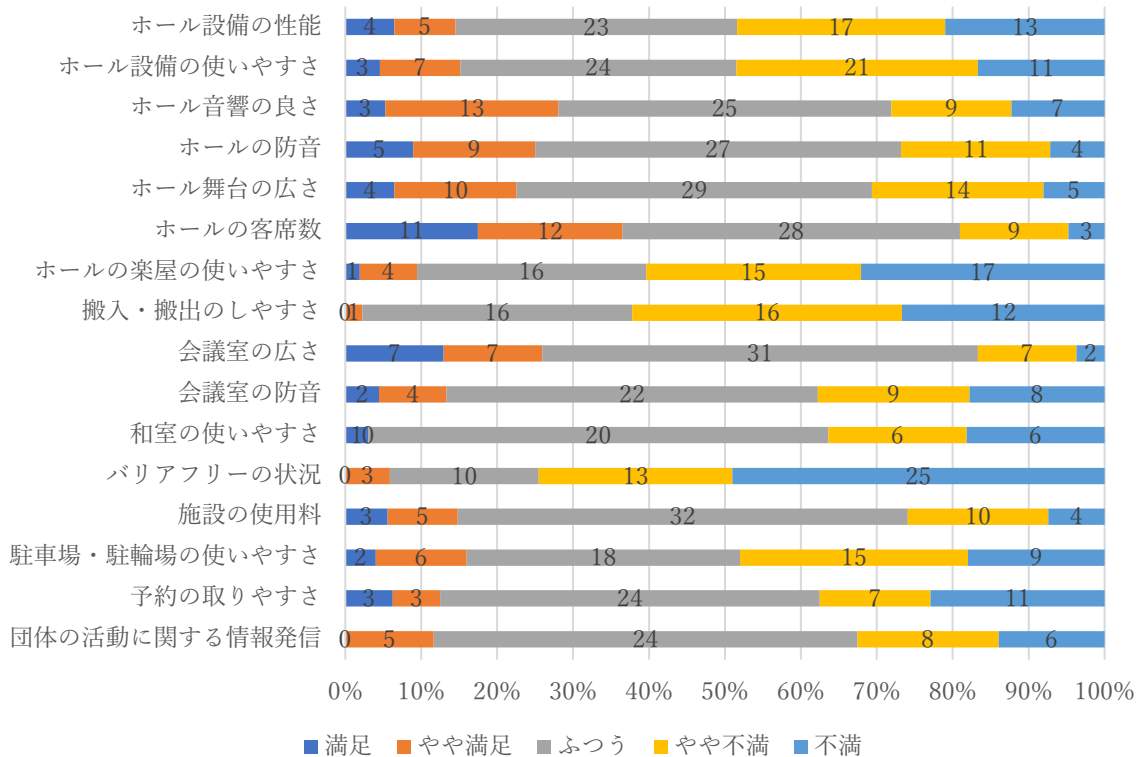
8 利用の主な目的は何ですか。
あてはまるものをいくつでもお選びください。



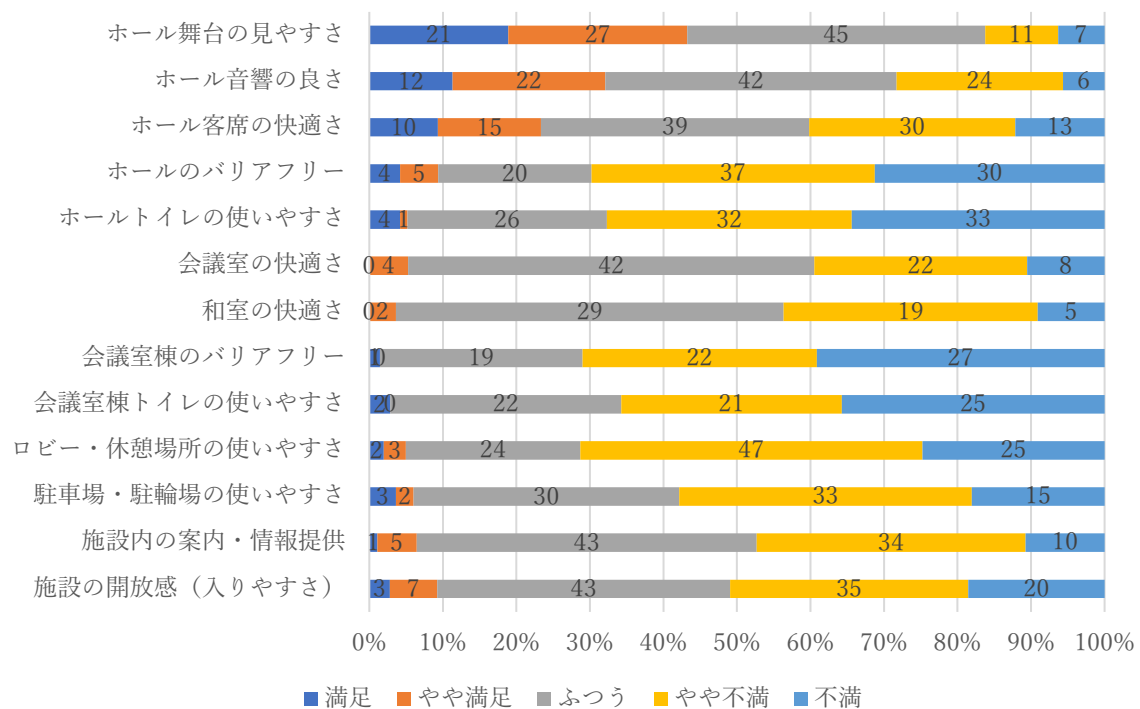
9 武蔵野公会堂の以下の項目についてあてはまるものを1つずつお選びください。

※ 分からない項目は空欄で構いません

【利用目的が「芸術文化に関する活動場所」「芸術文化以外の活動場所」と答えた方】



【利用目的が「公演などの鑑賞」「説明会・会議などへの参加」「その他」と答えた方】



アンケート自由記入欄への回答

番号	年齢	性別	居住地域	今後武蔵野公会堂に対して期待することをご記入ください。
1	40代	男性	武蔵野市外	入りやすい施設となること。 全体的に老朽化しているので、明るい感じにリニューアルしてほしい。 エレベーターは必須である。 2階以上に上がる動線とホールへの動線をもっとわかりやすく分けてほしい。
2	70代	女性	吉祥寺南町	長年武蔵野市に住んでいて、この公会堂は駅から近く大変便利に使ってきた。建物が老朽化し、不便な面もある。建て替えをして、より使いやすい施設にして、市民に開放してほしい。
3	50代	女性	吉祥寺北町	吉祥寺駅の近くという地の利を生かし、吉祥寺の人の流れを変えるくらいの複合施設（おしゃれなカフェやレストランなども併設し、市民の憩いの場としての機能も果たすような）となることを期待しています。建物のデザインも、街並みに変化をもたらすような斬新で秀逸なものを期待します。
4	70代	男性	吉祥寺北町	立地がよくて、クラシック音楽の演奏会とその他の練習設備が整ったものであることを期待します。 中規模アマチュア・オーケストラの練習会場として利用できる設備が武蔵野市にはありません。文化都市として周辺の自治体と比べて大きく見劣りしていて市民として恥ずかしいかぎりです。市民文化会館の練習室は狭すぎて対策上利用できず、ほぼ唯一の設備で合った市民会館（武蔵境）は他の利用団体の不適切礼儀違反で住民クレームを利用に音楽利用不可となっています。広さ条件を満たす南町コミセンは南町住民のみを優先する利用条件で実質使えません。我が武蔵野市で比較的新しく出来たスイングホールやプレイスには練習室設備が全く考慮されていません。ほんとうに情けないです。 繰返しますが、立地のよい武蔵野公会堂が文化の殿堂として誇れる設備に生まれ変わることを期待しています。
5	50代	女性	吉祥寺南町	高層にして、シンボリックな存在になると良い。 公会堂だけではなく、例えば市政センター等のような便利な公共施設が入ってほしい。 周辺と一体感のあるエリアになって、南口一帯が素敵な空間になってほしい。
6	60代	女性	吉祥寺本町	武蔵野公会堂は吉祥寺駅からとても近いので、利用しやすいホールを作って頂きたい。キャパは200～300ぐらいが使い勝手が良いと思います。 客席の椅子は、長時間座っても疲れないちょっと良い椅子にしてほしい。 楽屋も広々と良いですね。 稽古場や練習室をなど防音された、多目的に使用できる部屋を多数作ってほしい。 駅から近いので、駐車場は搬入車や関係者が利用するスペースは確保して、建物を広く作って欲しい。 ロビーも多数の人が利用できるよう、解放感があると良い。 市民や武蔵野市にある団体は利用料金を優遇してほしい。 長い間リニューアルしてくださるのを待っていました。 とても楽しみにしております。
7	50代	男性	境	文化発信の拠点となること
8	40代	女性	境	文化会館という立派な設備がある中、この一等地に公会堂はもったいないのでは？もっと利用頻度が高くなる施設やそれこそ保健センターと複合化しないでここに児童館や子育て支援センターを作り吉祥寺駅南口のシンボルになるようにしてほしい。
9	20代	男性	境	無料の駐輪場にしてください 建て替えいらないです
10	50代		吉祥寺南町	現在と同じ位置、同程度の席数で、明るくデザインと音響の良いホールを期待しています。商業的な公演は市民文化会館とし、公会堂は市民が優先的に利用でき、市民の芸術文化の発展に貢献する施設とする必要があります。 ホールに隣接し、ステージと同じくらいの広さで音響の良いリハーサル室（練習室）を設け、小さな演奏会や多目的にも利用できると良いと思います。 現在はたいへん予約が取りにくく、止むなく市外を利用しています。芸術を愛する市民の高いニーズに応えていただきたいです。 計画に際しては、計画の立案に初期から一般市民と、ホール建築や音響の専門家を参加させ、公平で有効な投資となるよう願います。
11	40代	男性	緑町	公会堂単独の改修あるいは建替ではなく、周囲の老朽化した建物をも含めたパークサイド全体の街づくりを進めて欲しい。
12	40代	女性	中町	バレエの発表会にも使いやすい事 発表会のための会場確保は悩みの種です。私達の規模だと文化会館の大ホールでは広すぎ。小ホールは使用不可で困っています。 候補となるホールが増えて欲しいです。 多くの人数が入れる楽屋があると尚良いです。楽屋として会議室などを使用する場合は、ホールの音を聞けるようになっていると助かります。 広めのリハーサル室があり、リハーサル室のみでも借りられると良いと思います。
13	70代	女性	西久保	エレベーターかエスカレーターが欲しい トイレが各階にあった方が良い
14	70代	男性	吉祥寺北町	吉祥寺駅南口地区の総合開発との関連性で未来志向と持続可能性を併せ持つコンセプトで検討していただきたい。（公会堂としての局所的限定的な発想ではなく）
15	40代	女性	緑町	吉祥寺駅に近い立地を活かしてプレイスのようなもっと複合的な文化施設になるといいなと思います。図書館を併設するなど。
16	70代	女性	境	バリアフリー化して欲しい。特にトイレは各フロアーに作り、洋式化して欲しい。
17	50代	女性	吉祥寺東町	入口が暗くて狭いので、知らない入りにくい感じがあるので、気軽にトイレを借りられるような雰囲気になるといいなと思う。 ホールの雰囲気は好きなので、機能はアップしてほしいが、面影はちゃんと残してほしい。 講演等で行くことが多いので、客席に折り畳みのテーブルがあると嬉しい。

番号	年齢	性別	居住地域	今後武蔵野公会堂に対して期待することをご記入ください。
18	20代	女性	中町	エレベーターの設置、楽屋前の廊下の拡大
19	40代	女性	境	完全民営化か、他市と共同運営にしてもよいのではないか。
20	60代	女性	吉祥寺北町	行きたいと思うようなイベントが頻繁にあること
21	60代	男性	吉祥寺北町	とにかく古すぎる。耐震対策も合わせた改修案もあるが、場所も良いので、新コンセプトの建物を設計コンペで企画してはどうか？
22	60代	女性	吉祥寺北町	駅近の立地の良さを活かし、練習、発表共に文化芸術活動をしやすい施設を期待します。少人数から使える音楽の練習室が欲しいです。他の自治体にはよい施設がたくさんありますが、遠方で苦労しています。
23	50代	女性	吉祥寺本町	せっかく駅前の公会堂なので、もう少し綺麗になるといいと思います。
24	50代	女性	関前	大きなホールだけでなく、もっと小さい、例えば30席ほどのミニシアターを作っていただきたい。エントランスには市民が自由に使用できるオアシスのような場所。お金をかけずに、ラフな感じでいいので、（有名な人のオブジェとか絵画とかまったくいい）緑町のゴミのセンター（名称なんだっけ？）のような倉庫みたいな感じでいい。これまでの箱ものではない発想で、武蔵野市らしい公会堂になることを期待します。ハード面については、各芸術分野（映画、演劇、音楽など）のプロフェッショナルな方が市内にいますので、その方々の意見を聞いて、業者任せにしないで、新しい、時代に合った公会堂になることを望みます。
25	30代	女性	吉祥寺北町	どこにあるかはなんとなく知っていたが、これまで特に利用したことがない。どのようなイベントをやっているのか、情報を得る機会がほとんどないので、発信をしてほしい。また未就学児も一緒に参加できるようなイベントをより増やしてほしい。
26	50代	女性	吉祥寺南町	バリアフリー化（エレベーターの設置） 水回り（トイレ、給湯室）を綺麗で清潔に。（水が濁っていて衛生面で不安） 個別空調管理
27	50代	男性	境南町	子供や老人が利用しやすい。 充実した演目などのプログラム。そしてそれらが安価で堪能できる。 市民が市民活動にも使いやすい。
28	40代	女性	吉祥寺南町	前を通りかかったことしかないのですが、開かれているというよりはいつも薄暗く、どんな公演や活動がされているのかなど外からは分かりづらく、なかに入るまでに至る魅力が感じられないのが残念な感じがしています。
29	50代	女性	吉祥寺北町	明るい雰囲気になると良い。 上階へのエレベーターが欲しい。 バリアフリー化を特に望みます。
30	70代	男性	吉祥寺南町	老朽化していること、駅から至近距離の立地であることなどから全面的に建て直し、200～300人程度の収容人員のホールや会議室・和室等を備えた吉祥寺地域の中核的な住民活動センターとして機能すること。
31	60代	男性	吉祥寺南町	公演がもっと頻繁に開催されるような工夫を希望します。
32	40代	女性	吉祥寺南町	全世代が活用できる複合文化施設。図書館、児童館含む。
33	30代	女性	吉祥寺北町	利用が多いなら改修、利用が少ないなら別施設へ、間違っても駐輪場のように市長の一存で私的売却などしないように。
34	30代	女性	緑町	0歳から親子で観劇できる音楽会や人形劇、演劇、ミュージカルがもっと増えるといいです。おむつ替えやミルクをあげるスペースなどは、女性限定ではなく男性も使えるようになると嬉しいです。
35	60代	男性	中町	まず、公会堂で何をするとどこでどのような活動をされているかが、全く情報がないので老朽化とは言え、多額の税金を投入して建て替えるのがわかりません。一部の市民による一部の利用であれば利用者毎に費用を集めて欲しいと思います。また、吉祥寺駅近くにあるようですが、土地代が高いため、できればもっと北側の安い大きな土地に建てるなども検討を十分したのかも明確にして欲しい。単に今の建物が古くなったから建て替えるでは何も考えない役所仕事だと思います。こちらはサラリーマンとして1円単位の税金を40年近く払ってきた者からすると集めた税金は自分達の福祉や老後を支援するような使い方を希望します。建て替えても利用率を明確に毎週市のHPなどに掲示して費用対効果も明確にしてください。
36	50代	女性	吉祥寺北町	ホールの老朽化、耐震化への対応を速やかに実施して欲しい。 災害時の避難所としての機能も高めて欲しい。
37	40代	男性	吉祥寺東町	もう年数も経っているので建て替えて良い方向にいてもらいたいと思います。 後、武蔵野市消防団第3分団の場所が悪すぎるので、武蔵野公会堂建て直しのときに移動してはどうかと思います。
38	50代	女性	吉祥寺東町	ホールの大きさ（客席数）としては手頃なので、ステージの大きさ・音響やトイレ環境などが整うと良いと思います。ただ、改装して使用料が高くなるのは困ります。
39	40代	男性	武蔵野市外	文化施設としてももっとアクセスしやすさが必要。夜間利用23時等に設定するなど全世代にとって使いやすくしてほしい。 公設公営だけでなく、民間委託するなど生産性の向上に努めてほしい。
40	50代	女性	吉祥寺本町	オンラインでの適切な予約管理、水回りの設備の補修・増強
41	30代	女性	武蔵野市外	イベントを行いやすい施設になってほしい ブレイスのような明るい雰囲気施設の施設にしてほしい
42	30代	男性	境	子供のピアノ教室の発表会で使用させてもらっています。 こぢんまりとしていて、アットホームな雰囲気は気に入ってます。
43	70代	男性	関前	場所は1等地なので大勢が（特に市民が）利用しやすい物を希望。文化活動の発表の場として使いやすい物。
44	50代	女性	境南町	公平な抽選。ネットでの抽選は高齢者や、ネット環境が悪い人に対して不公平ではないか？市の行事で事前に押さえる場合、午前中にするなどの配慮があればより多くの団体が利用できるのではないかと。

番号	年齢	性別	居住地域	今後武蔵野公会堂に対して期待することをご記入ください。
45	30代	男性	吉祥寺北町	オープンインベーシヨンの場として活用されることを期待します。
46	40代	男性	緑町	舞台など
47	50代	男性	武蔵野市外	デッサンなどができる創作室がほしい。できれば、外光が入るように。また、市民が絵画などを発表する展示空間などがあつたらいいと思う。 音楽練習スタジオや録音ルームがほしい。できれば、グループあるいは個人で利用できるような。
48	50代	女性	吉祥寺南町	とにかく古い。 古い建物に特有の妙な匂いが気になります。 駅前の一等地にあるのに空間の無駄な使用も気になります(特に駐車場)。 早く建て替えて武蔵野ブレイスのようにもっと多くの市民に有効活用されることを望みます
49	70代	女性	境南町	場所が良いので、文化活動以外でも、運動等も行えると良い。老人が寝たきりにならないよう、支援してほしい。
50	50代	女性	吉祥寺本町	有名アーティストのコンサートから、能楽など伝統芸能公演まで対応できる施設にしてほしいです。駅にも近いので、きちんと整備したら有効活用できると思います。
51	60代	女性	吉祥寺東町	エレベーター設置。建て替えてもリフォームでも、ピアノの発表会や市民が開く学習会や気軽に開ける施設であってほしい。市民文化会館のようにプロが沢山使う、大仰な施設とは違う施設がいい。 客席の幅はもう少しほしいが、あの傾斜はとても見やすいので活かせると思う。
52	60代	男性	緑町	駅に近く利便性が高いことを利点にし、集客力の高いイベントやコンサートを多く開催して欲しい。また、～月間や、～週間と言った特別な企画を毎年続けていくようにし、武蔵野市及び公会堂のアピールとなるようなことも考えてはどうか。
53	40代	男性	吉祥寺東町	建物を大事にしてほしい。(ホール、外観) 駐車場スペースを有効活用してほしい。
54	30代	女性	中町	吉祥寺駅近くという立地を生かし、人が集まれる開放的な空間となるのを期待したい。ネット予約・オンライン手続きなど利用のしやすさの充実。以前会議室利用時に車椅子の方が上がれずに帰られたことがありそれが忘れられない。公共施設としてのバリアフリー化を早急に望む。
55	60代	男性	境南町	ロビーなどの充実、トイレへのバリアフリー、エレベーターの設置
56	60代	女性	吉祥寺南町	バリアフリーの整備 気軽に立ち寄れる開かれた施設にしてほしい 建物自体古くて狭いので、中途半端な改修ではなく安全面も考慮した建て替えを希望します
57	50代	男性	境	公会堂は避難場所にも指定されていることから、改修ではなく建て替えをするべきです。なぜ、改修するのか甚だ疑問です。
58	50代	男性	西久保	アーティストのライブ誘致をじてほしい 客席数が350と少ないので、有名なアーティストは難しいが、無名の新人、昔は売れていた人など、小規模なキャパでOKなアーティストを誘致すれば良いと思います。 吉祥寺駅すぐの場所だし、宣伝すれば直に予約で埋まりそうな気がします。 段差が急なので座って見るにはすごくいい場所です。 プロダクション、レコード会社に営業してみてもいいかもしれません。 PA、証明、ピアノ、ドラム、アンプなどのセット料金の提示ができれば良いです。
59	30代	男性	西久保	好立地にもかかわらず仕様もソフト面も不十分と感じる。施設としてはごく普通レベルで褒められる点はない。 耐震性に不安があるということで再開発されると思っていたが一向に情報が出てこない(改修延命とは聞いたが)。 魅力的な街づくりという点において吉祥寺とくに南口は取り残されていると感じる。立地はいいのに、バスの交通の便、施設のスペック、清潔感に欠けており、またそれが改善される目処が立たないことは残念でならない。 なぜ再開発しないのか。 市も議員も出来る事をやろうとしていない、出来ない理由ばかりで期待が持てない。 (開発をせず)民間に任せたいならそう発信すれば良いし、開発するなら方向性を示して欲しい。 問題の先送り主義はやめ、真剣に街づくりに取り組んでいただきたい。
60	40代	女性	武蔵野市外	会議室の机や椅子が古い。エレベーターがほしい。色々なセパレート等が自由にフレキシブルに分けられる最新型の机や椅子にしてほしい
61	30代	男性	武蔵野市外	民間に売却し商業施設になること。
62	50代	女性	境	バリアフリーの徹底！
63	70代	女性	吉祥寺本町	吉祥寺の面的整備がどのような手法で行われるにせよ20年以上はかかると思われるので、その間は小ぶりでも武蔵野市らしさを発信できる施設にしてほしい。 武蔵野市らしさとは、①施設の全部を再生エネ・省エネ等カーボンフリーで稼働、ユニバーサルデザイン、小コストの技術の最先端・粋を凝らした未来志向のもの、明るいことは大事だが施設の美しさは形状ではない。カーボンフリーが大事にされていけばその形状もまた美しい ②小ぶりの施設なのでホールは基本生かす。 ③武蔵野の文化は芸術だけではなく、講演会や集会等の知的文化もある。会議室棟は耐震が十分でないので全面的に建替えて、ハイブリットな多目的室(会議や講演会、イベント、展示)を作る。パーティーで広さを調整できる使い勝手のよいもの。 ④ 小さな音楽ライブやフリーマーケット、バザーなどイベントが可能なオープンスペース、普段はフリーな子どもの遊び場や大人のくつろぎの場になる ⑤ 音楽練習の防音室をつくる。市内に少ないので市民優先にする。 ⑥ 豊かな緑のある施設・屋上緑化・壁面緑化など
64	70代	女性	西久保	吉祥寺の駅前にありながら、古い建物ということを理解した上でも使いにくさを実感しています。立地条件にあった、市民が利用しやすい施設となる事を切にのぞみます。
65	60代	男性	武蔵野市外	現状の不備面を改装するだけで良い。周辺地域の大規模な再開発は、長期を掛けて検討すべきだと思う。

番号	年齢	性別	居住地域	今後武蔵野公会堂に対して期待することをご記入ください。
66	70代	男性	吉祥寺本町	立地条件は素晴らしいので、単なる貸小屋・貸会議室としての機能にとどまるのではなく、（１）居住者も来街者も、気軽に立ち寄って、楽しい居心地のいい時間を過ごせるような場所であり、（２）とりわけ若者がそこにに行けばプロの適切な援助も受けられて、音楽や演劇などの技術を習得できるような創造的・教育的機能を持ち、（３）災害時に、避難場所や帰宅困難者の待機場所ともなる場所となることで、吉祥寺の町としての格が一段上がるような場所になって欲しい。 （１）についてさらに言えば、来館者の駐車スペースはほとんど（舞台装置等の搬入車両のことは考慮しなければならぬだろうが）必要ないと思われるので、自由に入ることの出来るオープンスペースを多くつくり、そこを縁溢れる場所で、小さな子どもを遊ばせても安全な場所にする。 さらには、フリーマーケットやちょっとしたライブができる空間にもしたい。ベンチやトイレもあって、お年寄りも時間を過ごせ、オープンテラスのカフェなども配置できるといい。 （２）との関係では、会議室はコミセンにもあるので、小さな会議室がいくつも必要とは思われず、上記（２）とのからみでは、防音機能の整った音楽練習室、演劇の稽古ができる空間を備えたい。調理室やFMラジオ局などもここに置いてはどうか。 （３）ホールは、災害時には座席を取り外してきて、平土間になるようにし、座席数は今くらいがちょうどいい気がするが、もっとゆったりとした座席の配置にしてほしい。 全体としてバリアフリーや再生エネルギーの使用を取り入れるのは必須だが、建物全体との印象としては、明るく開放的なものであって欲しい。ホール棟の建て替えができなくても、改修により、屋上が使用できるようにし、街路からもスムーズに入ることができ、緑が豊かな空間になれば、最高！
67	40代	男性	吉祥寺東町	低コストでの運用。使用者による相応な負担。
68	70代	女性	八幡町	交通の便が良いので市民が活用できる会議室を設けてほしい又、視覚障害者の会議（東京都盲人福祉協会、多摩ブロックなど）の集まりができる場所が武蔵野市にはありません。趣旨に反するかもしれませんがご検討宜しくお願い致します。
69	70代	女性	中町	特にありません。
70	50代	女性	関前	駐輪場の充実（チャリ移動の市民は多い）。建物は、武蔵野プレイスのように、楽しそう！面白そう！というワクワク感溢れるもの。にもかかわらず、そこまで予算はかかっていない知恵と工夫が詰まっている。屋上は例えば、脱炭素で太陽光発電か農園。演奏や団体活動での利用がなくても自ずからお金を生み出せる仕掛けを作っておく。地下は災害用備蓄庫や避難空間。
71	50代	女性	緑町	全面的な設備のリニューアル、バリアフリーはもちろんですが、さまざまな人が使える稽古場を複数設置してほしいです。 建物エントランスと劇場入り口の受付周りの使い勝手の悪さ、スペースの無さを改善してほしい。 劇場技術スタッフの方々は、限られた設備の中でも利用者に寄り添い細やかなサポートをしてくださり素晴らしいのですが、事務方、管理部門がいかにもお役所的で融通がきかず残念です。これは市内全ての文化施設に当てはまりますが、劇場はクリエイティブな場所であり役所ではないということをもう少し理解していただくと文化都市武蔵野らしい良い施設が増えるのではないのでしょうか？
72	40代		吉祥寺南町	- 音響について 高齢者が、落語公演などを聞き取りやすいような音響がいいと思います。 - 座席数について 収益をしっかりとあげられるような座席数が良いのではないかと。 - トイレ 大ホールのトイレは、全体的に古く、少し汚い印象がある。 - 建物の建て替え費用について 武蔵野市にある文化施設の老朽化や長期的な建て替え問題があるのではないかと。 使用料金から、例えば利用者ひとりあたり１００円を別途徴収して長期的に積み立てて利用者の料金から出来るだけの費用を捻出するのはどうか？ （武蔵野市の路線バス、ムーバスのような方式） スイングホールみたいにテナントを誘致して収益を上げる方法 美術館のように公演にちなんだ飲食物を提供して収益を上げる方法 その収益を長期的な建て替えなどに使える方法はないか。
73	40代	女性	吉祥寺本町	トイレを明るくしてほしい。 照明設備がもっと色々出るとなると嬉しい。
74	30代	女性	関前	無駄なお金をかけないこと。建て替えなどについて市長や、一部職員と業者の癒着など不適切ととられるようなやりとりが絶対にないこと。 駅近くの立地を生かして市政センターや市民向け駐輪場など市民サービスの利便性向上が中に組み込まれること。
75	60代	女性	吉祥寺東町	立地条件が素晴らしいので是非新しい公会堂を建てて、活用したい
76	40代	男性	吉祥寺南町	末長く利用したい。
77	60代	女性	吉祥寺東町	せつかくの駅近さを生かして、市民の利用に加え、より多くのプロの講演、演奏会を見ることができるよう、開放的かつ設備の整った施設になって欲しい
78	70代	女性	吉祥寺東町	吉祥寺駅から最も近い位置にあるので、もっと多く利用できる建物にして欲しい。高層化して部屋を多くするとか。
79	60代	女性	吉祥寺東町	災害時の避難場所としての機能を合わせ持った施設として欲しい
80	60代	女性	吉祥寺南町	なじみのない人にわかりやすい演目等の案内、トレーニングジム、スタジオなど一般の人が気楽に通える教室
81	60代	女性	吉祥寺本町	明るく清潔で、市民が会議や文化活動以外にも普段から立ち寄れる（図書館やカフェなど）武蔵野プレイスのような存在になればと思います。
82	60代	女性	武蔵野市外	舞台裏（そでの広さ、楽屋の広さ、楽屋の数、楽屋のトイレ等が充実していること）
83	50代	女性	緑町	客席数はちょうどいいのですが、舞台の奥行きがなくダンスの発表会には適していないので使用はしていません。舞台の大きさが音楽だけではなく、他のことにも使用できるものだと思っています。楽屋も狭いです。

番号	年齢	性別	居住地域	今後武蔵野公会堂に対して期待することをご記入ください。
84	60代	女性	西久保	階段せまく危険。障害のある人は使いづらいです。早く建て直してほしいです。
85	40代	男性	吉祥寺南町	エレベーターがないのは不便。(例)会議室や和室を楽屋として利用した場合、舞台そでまでの移動が大変で高齢の出演者に負担が著しい
86	70代	女性	吉祥寺本町	地の利を生かしてエレベーター付駐車場付の使いやすいホールを作してほしい。洋・和どちらにもつかえるようにしてほしい
87	70代	男性	吉祥寺東町	高層化してふるさと歴史館、吉祥寺美術館を入れて一連の再開発に取り組んでほしい
88	80代以上	男性	吉祥寺東町	吉祥寺の顔にふさわしいホールを！
89	70代	女性	吉祥寺東町	バリアフリーにしてほしい
90	70代	男性	吉祥寺東町	武蔵野市3駅の中でも中心となる吉祥寺を経済的にも文化・芸術的にも対外に発信可能な最適な場所である。全面的に立て直して市民の声を聞くべきであります。駐輪場の二の舞はやめてください、松下市長殿。
91	50代	男性	吉祥寺北町	学習塾の保護者会などでしか公会堂ホールを使用したことがない。なぜなら音楽等には古くて対応できないからである。市民文化会館は交通の便も悪いので、建て直して武蔵野市民が誇れるちゃんとした文化施設とすることを望む(住みたい街に上位ランクインする吉祥寺には今のホールは貧相で、使いづらく話にならない！)
92	40代	男性	吉祥寺南町	多くの人が気持ちよく利用できる施設にすることを期待してます。
93				市民が使いやすい施設をお願いします
94	40代	女性	緑町	吉祥寺駅前の一等地にあるので、災害時にも対応できるような建物(施設)に建替してほしいです。バリアフリー化を行い外を明るくし防犯対策としても役立ってくれたらうれしいです。夜の公会堂の周りは暗く、公会堂も暗い。吉祥寺イメージに合っていないと思います。
95	60代	女性	緑町	ロビーの広さ、トイレまでの階段、玄関の広さ
96	70代	女性	緑町	開館58年になるとは思いませんでした。以前利用の時(絵手紙教室)は細かいことなど気にもとめることがほとんどありませんでした。教室の参加者(都内他のまち郊外いろいろ)の人にとって吉祥寺駅の近くなので利便性は良いと思われます。改装の時は建物の景観も明るく(斜光面)内部もみなさんの希望も考慮の上、取り組んで欲しいです。(館内は正直なところ暗い！)
97	80代以上		緑町	だれもが気軽に利用できる施設を第一に！多岐にわたる文化の発信拠点となれるような設備と施設に。少人数のグループでも利用しやすいような安い使用料の設定を。
98	70代	男性	緑町	武蔵野文化会館があるので、武蔵野公会堂は重複しているので公会堂は必要ない
99	70代	男性	緑町	”市の文化・芸術の拠点としての存在であること”、これを大事にして、どうあるべきか、をさらに検討して、全国に誇れる施設として成長して欲しいですね。
100	60代	女性	中町	エレベーターが欲しい、カフェが欲しい、ロビーの休憩スペースが少ない
101	70代	女性	中町	講演会で年に一回利用するだけでした。感じることは利便性がいいので、もっと皆に活用していただけるよう広さやビルの高さ、工夫し入りやすい利用しやすい公会堂にぜひお願いします。
102	80代以上	女性	西久保	座席が狭く奥の席に入る時は手前のほうに立っていただいたりしているので大変
103	60代	女性	西久保	屋上(最上階)にプラネタリウムを作りたい
104	50代	女性	桜堤	施設の老朽化はだいぶ前から言われているので、安心して利用できるよう同じ地に建てられなくても新しくなるとよいと思う。
105	60代	女性	桜堤	建て替えてほしい。エレベーターは必要。駐車場が狭いので地下駐車場をお願いします。
106	70代	男性	桜堤	ホール座席前後が狭いのでユトリを作りたい
107	50代	女性	桜堤	駅に近いという利点があるので、色んな舞台を見ることができればと思います。
108	50代	女性	八幡町	防災時に活用できる
109	60代	女性	八幡町	入口やロビーのあたりが少々くらい雰囲気の影響があり、入りやすさ、明るい環境になったら良いのではないかと思います。
110	70代	女性	桜堤	全体的に暗いように伺える。照明を工夫して欲しい。
111	60代	女性	吉祥寺東町	大変席がすわりやすく舞台に対して見やすい。トイレが階段を下りて地下は使いにくい
112	50代	女性	八幡町	クラシックバレエの発表会ができる広さが欲しい
113	80代以上	男性	武蔵野市外	場所として便利なので(杉並区在住)
114	80代以上	男性	武蔵野市外	場所としては最適。入口に入るのに、足が悪いので、手すりを付けた階段にしてもらいたい
115	80代以上	女性	吉祥寺本町	市の東・吉祥寺の住民にとって公会堂は近くにあり利用しやすくホールの広さも手軽で昔から親しんでいる。最近西の境地域、スイングホール・プレイスの利用が多いが東側の住民は遠くて利用しにくい。一日も早い公会堂の改修を待っています。エレベーターをつけて使い易くきれいにリニューアルされることを楽しみにしています。

武蔵野公会堂改修等基本計画案に関するパブリックコメント実施結果

- ・パブリックコメント実施期間：令和５年２月３日から22日まで
- ・市民説明会：令和５年２月11日、2月16日（参加者計11名）
- ・意見件数：43件（パブリックコメント7名、市民説明会7名による意見）

No.	計画案の項目		意見	市の考え
	大項目	中項目		
1	1 基本計画策定に至る経過について	基本計画策定に至る背景	市役所内部では、パークエリアの課題解決のために様々な検討を行ってきたのだと思う。どんな課題があって、何がすでに検討されているか、没になった案も含めて、基礎知識として頭に入れた上で、皆でまちの将来像を描くことが必要なのではないか。非常に関係者が多いので、何らかのたたき台を元に、具体的な話をしていくのが良いと思う。	ご意見として承ります。
2	1 基本計画策定に至る経過について	基本計画策定に至る背景	3段落目以降記載のとおり、武蔵野公会堂の改修に対して様々な計画が「その計画ごとの将来的な武蔵野公会堂の位置づけ」をしたことにより、なにを軸に武蔵野公会堂を改修していけばいいのかが分かりにくくなっているように思う。この武蔵野公会堂改修等基本計画において、「市民の芸術文化を支える武蔵野公会堂としての機能充実」なのか、「芸術発表だけでなく多目的に使える公共施設としてリニューアル」なのか、「まちづくりの一部に組み込まれ再開発される多目的機能を有する公共施設」なのか、有識者会議が考える「今後の武蔵野公会堂のあるべき姿」から見たはっきりとした軸(優先順位)を示したほうがいいのではないかと考える。	本計画で示した「目指すべき姿」の3つのコンセプトが基本になると考えています。
3	1 基本計画策定に至る経過について	基本計画策定に至る背景	今回は、全面改築せずに、延命を図り、都市計画的な再配置も含めて余地を残しておくということには賛成だ。「基本計画策定にあたって」における基本計画内容の検討、事業手法の選択は妥当だと思う。ただ、提案されているプラン（ラフデザイン）にはかなり疑問がある。改善案1、2とも、建築面積が大きく、オープンスペースがない。これだけの容積であれば、1棟にまとめた方が、利用勝手もコストも設備利用率もあがり管理が楽になる。	ご意見も含めて今後の設計段階にて検討して参ります。
4	1 基本計画策定に至る経過について	基本計画策定に至る背景	特におすすめの第2案は、L型で既存ホールの2面を囲う形になり、次にホールを改築あるいは新築する時に、プラン上も工事上も自由度が皆無になる。20年で償却してしまう場合でも、建築面積は小さい方が好都合である。	ご意見として承ります。
5	1 基本計画策定に至る経過について	基本計画策定に至る背景	このような一等地は、収益を挙げられる用途に高度に用いるべきで、公会堂のベターな立地はイーストエリアのクリアランスを兼ねて、吉祥寺図書館に隣接する場所だと思う。それまでの繋ぎと考えれば、とりあえず改修がベターである。ただ、本来の公会堂の本質はホールにあるので、第2案のように、会議室や管理スペースを新築するのは本末転倒だと思う。	本施設はホールを中心とした文化施設ではありますが、これを補完する諸室についても設置が不可欠であると考えます。改修等にあたっては、本計画P19に「既存建物を活用した複数の選択肢が想定されるため、基本計画の段階では改修の詳細な範囲は限定せず、設計提案により判断する」と記載しており、第2案で決定したものではありません。
6	1 基本計画策定に至る経過について	基本計画策定に至る背景	結論として、改善案2には反対で、代案を検討してから決めても遅くない。それが、プロポーザルとして出てくる可能性があるのなら、そちらに期待したい。プロポーザル条件をあまりリジッドにして、原案を逸脱しないように誘導しないほしい。	改修等にあたっては、本計画P19に「既存建物を活用した複数の選択肢が想定されるため、基本計画の段階では改修の詳細な範囲は限定せず、設計提案により判断する」と記載しており、第2案で決定したものではありません。

No.	計画案の項目		意見	市の考え
	大項目	中項目		
7	1 基本計画 策定に至る 経過について	施設概要	用途地域上 8 0 ・ 6 0 0 で駅前の一等地だが、このような低層建築では勿体無いと思う。本来、ここにあるべきではない施設、というのが第一印象だ。その点が長寿命化の提案になっているのだと、好意的に評価する。	ご意見として承ります。なお、公会堂の土地は現時点で建蔽率80%、容積率600%の指定を受けている地域ですが、容積率については、建築基準法の規定により、前面道路の幅員（西側の市道第151号線の8.0mが適用）に 6 /10 を乗じた数値と比べて、小さい数値となる480%が適用となります。
8	1 基本計画 策定に至る 経過について	施設概要	既存建物を保存しつつ改修をするということだが、各所でよくある話として、その建築が著名な建築家により設計されていて、近代建築史における記録として残すべきと評価があり、なるべく残すという判断をされる場合があるが、公会堂の設計者はだれなのか。	のちに著名な建築家となった方が設計事務所に所属していた頃に設計したと聞いています。
9	2 基本計画 策定にあ たって	施設更新 の基本的 な考え方	2023年12月18日(日)に武蔵野公会堂「社会実験」を主催し、当日のシンポジウムで登壇した。既存建物を生かして延命化を図るという基本計画(案)を作成いただき、この流れで進んでいくことと思うが、シンポジウムで発言した内容をパブリックコメントとさせていただく。当日の様子を動画にしているので、ご覧いただくと幸いです。	令和4年12月の武蔵野公会堂社会実験のシンポジウムの動画を拝見し、更地・民間利用・高層化などの大きくリニューアルすべきとのご意見と理解しております。設備の老朽化に早急に対処すべきことや、現在も利用率の高い施設であること、このエリアのまちづくりの将来構想とともに一体的な検討が不可欠であること等を総合的に検討した結果、減築や増改築も含む改修等により、将来を見据えて施設の延命化を図ることとしました。
10	2 基本計画 策定にあ たって	施設更新 の基本的 な考え方	説明会で、公会堂建築当時の周辺（スバル座とか）のスライドを見た。あのような周辺状況であれば、防音機能も現在ほどは求められなかったらと思うし、あのような周辺状況であったからこそ、特徴的な形の屋根の建物となったのだらうと思う。言い換えれば、抜本的に施設の姿を変えるのであれば、周辺の状況がどう変わるのかが見えてこなければ、それにマッチした建物・施設は描けないのだらうと思う。だから、抜本的に変えるのではなく、20年の延命化をする、という選択は、理にかなっていると思う。	ご意見として承ります。
11	2 基本計画 策定にあ たって	施設更新 の基本的 な考え方	今回の延命化によってもたらされる（残される）20年という時間は、20年先のまちの将来像を描き、実現するための取組を行うための時間である。	ご意見として承ります。
12	2 基本計画 策定にあ たって	施設更新 の基本的 な考え方	この公会堂の改修によって吉祥寺駅からの井の頭公園に通じていくエリアをどのような魅力的なまちとするのか、この機に真剣に市も一緒になって考えていただきたい。	都市基盤整備の分野のみでなく、産業振興なども含め、吉祥寺駅南口のまちの将来像の立案について検討を進めています。
13	2 基本計画 策定にあ たって	施設更新 の基本的 な考え方	駅前広場の計画は案として周知されているのか。	吉祥寺駅南口駅前広場は平成12年に都市計画決定がされており、関連の計画策定時など、節目で周知を続けています。
14	2 基本計画 策定にあ たって	施設更新 の基本的 な考え方	とても素晴らしい計画だと思うが、駅前広場の進捗状況や買収状況はどの程度か。	買収状況は駅前広場の計画地である三角地帯の公衆トイレ周辺約1,900平米のうち約6割進んでおり、完了するとパークロードのバスの通過交通が解消される予定で歩行しやすい環境になります。

No.	計画案の項目		意見	市の考え
	大項目	中項目		
15	2 基本計画 策定にあ たって	施設更新 の基本的 な考え方	新たな土地はもう生まれないので、上方に容積を拡大するなど再開発の手法をとることになるのか	現在市では面的な市街地再編も視野に検討進めるという表現をしています が、具体的な面的整備の手法は様々あるため、今後さらに検討を進めていく 予定です。
16	2 基本計画 策定にあ たって	施設更新 の基本的 な考え方	当該基本計画（案）の進め方は正しい、時宜的な選択であったと賛意を送る。いくつかの論点を下記する。 なぜ「正しい」と選択と言えるのか。 公会堂も築60年近いRC造の建築物であれば、素材の劣化、それに伴う構造強度の確認は合理的な対応と思う。そのよ うな与件が大部分においてクリアされていること（一部は補強が必要としても）、そうであれば取り壊して新しくす る必然的動因は存在しない。設備（機械、電気等）は建築物においては特に近代建築においては、時間とともに更新さ れるべき部位である。これまで部分的な補修でしのいできたものを、この機会を捉えて給排水・空調、音響、インター ネット環境など根本的に、更新していただきたいと考える。残存躯体への新しいエネルギー/コミュニケーション系統 の循環器・機器更新は、改修デザインのポイントでもあるだろう。 また「公会堂」という近代化の要請から生まれた建築の一形式が現在においてそぐわないものかどうか。その社会的役 割は逆に、機能的内容を市民のさまざまなアクティビティに合わせて変化させてきており、ますます地域において必要 な施設であると見通せる。「公会堂」という名辞は、市民が様々に意見を表明する場所であるという本質的な意味を持 するものである。今後も引き続き使用されるべき言葉であり、施設であるとする。更新された施設の名称は、市民に 親しみのあるものとしてさまざまに「呼称」は検討されることと思う。 次に今回の基本計画策定にあたり、この施設が占める市における場所的位置が論点となったと想像する。吉祥寺駅南口 という駅圏のほぼ真っ只中に位置し、北口のような広場の余裕空間もバスプールもなくマイナスイメージを体しなが ら、もう一方でいくつかの筋を通して商業集積を介して井の頭公園へ経由する、プラスイメージの賑わいの場となっ ている。たしかに単体建築として評価するより広域的レベルで配慮するという考えもこういう背景から議論されたと思 う。市民の幸せを理念とする都市計画的まちづくりの観点から、すなわち、市の総合計画のようなまちづくり方針に沿 う形で、公会堂敷地を更地として使用して、隣接する所有者と連携して、町づくり視点で計画する案も当然議論され た。たとえば近傍の三鷹駅南口の人、車の流動が整理された現状は、周辺が木造建築物時代の限られた地権者だったと しても、どのくらいの年月と買取、既存施設の更新・移動に伴う建設費関連の予算措置を慮る時、吉祥寺南口地域の計 画が複雑で、すでに多層化された都市集積であり、そのための新たな計画に莫大な予算と時間を必要とすることは必定 である。公会堂敷地の最大限容積率を行使しても、隣接する諸施設との連携・システムとして計画しなければ、人の流 れを活性化し、賑わいを新たに生み出すことは難しいと考える。駅北口の「ハーモニカ横丁」が持す課題と同種の問題 を広域的にもつように感得する。 以上のような論点から舌足らずではあるが、「正しい」と述べた。	ご意見として承ります。

No.	計画案の項目		意見	市の考え
	大項目	中項目		
17	2 基本計画策定にあたって	施設更新の基本的な考え方	南口の再開発の最後のチャンスであると思う。暫定広場、公会堂を含め魅力ある街づくりを20年先までに検討ではなく、4～5年で市の方針を決めてほしい。もう何十年もまえからグラウンドデザインの冊子もできているが、一歩も歩みが無いように見える。ワークショップや意見交換会に参加して希望を持ち続けてきた。単独の建て替えが始まる前に街づくりの一体的な開発を切に願う。第2の改修の予算は素人ではわからないが、アスベスト対策に4～5億はかかるのご意見があったので、将来への投資でもあり、適正な見積もりを出していただきたい。	現在、都市整備の分野のみでなく、産業振興なども含め、吉祥寺駅南口のまちの将来像の立案について検討を進めています。 アスベスト対策は、調査結果をもとに、現状は概算の費用として3,900万円ほどを計上しています。今後の設計段階において改めて詳細を検討していきます。
18	2 基本計画策定にあたって	施設更新の基本的な考え方	当該基本計画（案）の進め方は正しい、時宜的な選択であったと賛意を送る。いくつかの論点を下記する。 なぜ「時宜的」に優れた選択なのか。 単体建築という個別の視点から、また広域的町づくりの視点からみても、それ以上に市が取り組むべき方策を生み出していかなければならないのは、時宜的に見て自然の行う大きなサイクルの理念が、人々の生活の中に「循環」という概念が市民に浸透していているという現在の背景がある。新設し、廃棄し、そして更新するというサイクルではない考え方が、人々の生活の思想としてゆっくりと浸透してきている。使用されてきた施設を残すのは施設そのものではなく、施設を使い続けてきた人々の営みを残し得ることと、改修によりこれからの多様な人々の営みが総合的にその歴史を引き立てて行く出発という場に、立ち会う機会を得ること考える。建築は常に人々の生活とともにある事によって「建築」という概念を持す存在であり、その意味で人間が時間とともに老いていくように遺構化の過程を生きる存在であり、建築は新設時から存在論的に「人間生活遺構」という概念を生きられている存在と思う。 「基本計画（案）」に「延命」という言葉がある。「延命」という言葉の使用に伴って、主催者側に既存を引き継がざるを得ない負い目感がえられる。古いものを残す事が過去に執着する事につながるという切り口は、日本全国で戦われてきた歴史的建築物保存や歴史的な町並み保存に関する事例における更新論の根拠である。今回の改修は「武蔵野公会堂」を60年前に立ち上げた市民の意欲、あるいは自治体の新設に向けてのまちづくり方針を改めて見返して、その進取の精神を武蔵野市民の新しい世紀における諸活動を生み出す場所として行かねばならない、という事以上ではないだろう。 建築（施設）は誕生から老化へとその過程を生きる在りようですので、今回の「改修更新化」は出発であり、先達たちの施設と共にあった活かし方を振り返り、この場所から新しい面立ちを持って世界に発信していく気概を表明する機会が設けられたということと思う。プロポーザルの大きな意味合いがそこにあると思う。 「延命」に微かに見受けられる「負い目」のようなものは根本的に払拭していただきたいと思う。 武蔵野市に長く在住してきた者ですが、武蔵野市は全国に先駆けて多くの施策を提起してきた歴史を有する自治体と考える。今回の事案を通じて、改まる「建築・施設」を場所として人間生活への新しい提案を行なっていただきたいと思う。そのような見解から「正しい、時宜」を得た「武蔵野公会堂改修等基本計画（案）」のプロポーザル事業であるようにしていただきたいと思う。	より時代に合った機能にアップデートしつつ、これまでの歴史や人々の思いを継承していくことも重要であると認識しており、今後の設計段階で留意していきたいと考えています。

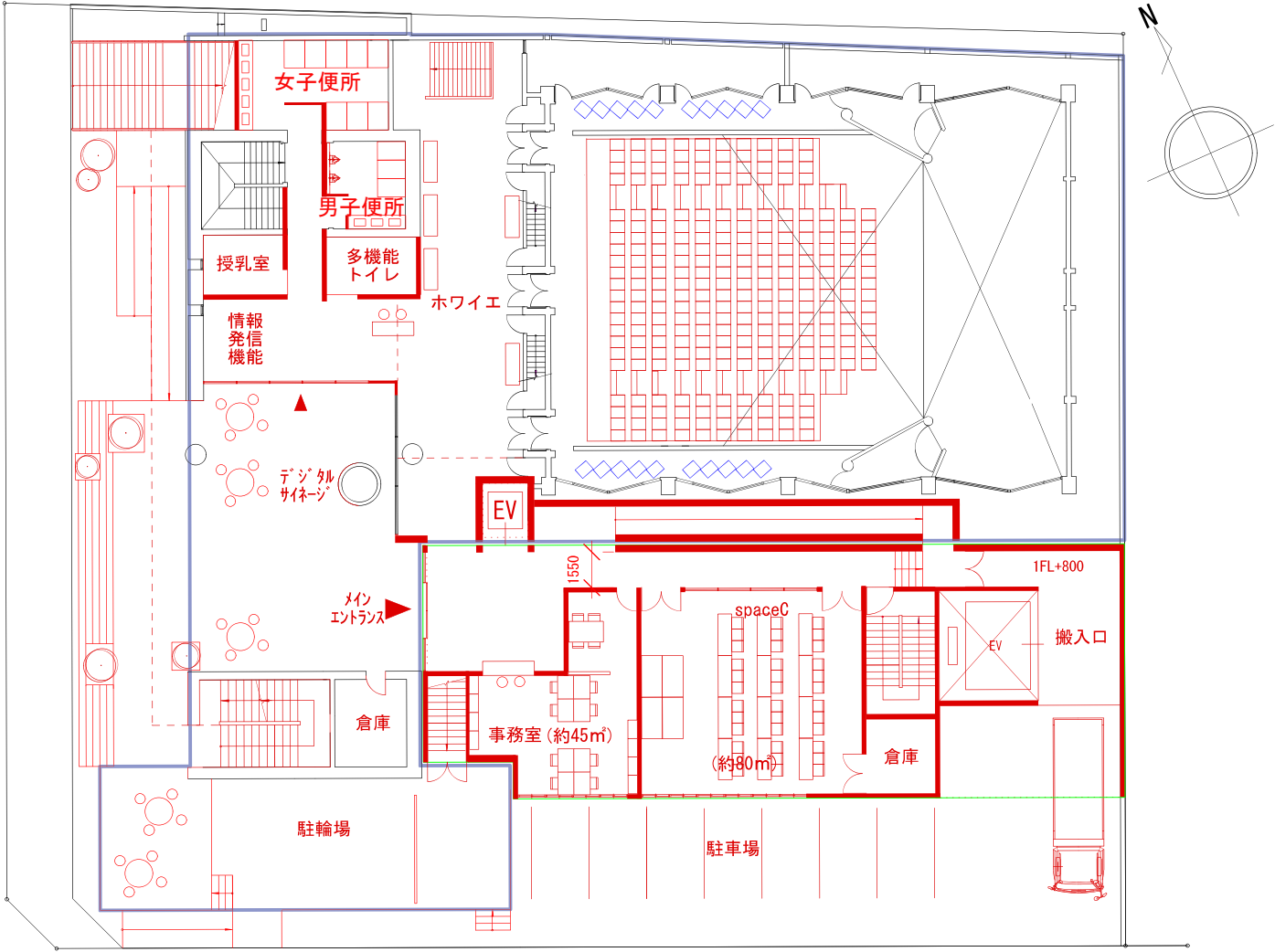
No.	計画案の項目		意見	市の考え
	大項目	中項目		
19	2 基本計画策定にあたって	施設更新の基本的な考え方	計画（案）を見た中で、アンケートの自由記入見ると、約30件は建替えを望んでおり、中でも単純な建替えではなく吉祥寺駅南側の総合的な開発との意見がかなりある。その中で一番積極的な意見が約5件あり、改修20億円だとすると、20年間は毎年1億支払うのと同じである。吉祥寺の魅力度は相対的に低下している。この時点で「さすが吉祥寺だな」といわれる街づくりをしないと、不動産の評価も下げなければならない事態に直面するかもしれない。公会堂の市有地を種地にし、地区計画に基づいて再開発しないといけない。公会堂の改修を2階程度にするのも容積率を生かしていないが、生かそうとすれば近隣から反対がくる。こんな無駄な使い方はできないはず。近隣と一緒にしないと何にもできない。	本計画では、吉祥寺駅南口の将来の面的整備の可能性も踏まえ、公会堂は増築等を含めた改修を行うこととしています。現在、吉祥寺南口のまちの将来像の立案について検討を進めています。
20	2 基本計画策定にあたって	施設更新の基本的な考え方	全体的な空間をどうするかというイメージを共有する場、同じ方向を向く場がなく、その中で市民活動推進課が担当していたらこういうものになってしまう。まちづくり全体を扱う総合企画やまちづくり事務所も共管していない。総合的な形で諮問をするべきだ。ヒアリングやワークショップ等に参加したものの、結局動線や音響など、使用者目線での話になってしまい、既存建物を前提にしている。せっかくの種地なので、さすが吉祥寺というものにするためのイメージをここで作る。それが上手くいけばパークロードをなくした再開発も動いていくと思う。	本計画は、吉祥寺駅南口の面的整備に関して関係部署と連絡調整を行いながら作成しています。公会堂は周囲のまちとつながりまちの活気を生み出すとともに、将来の周辺エリアの姿を見据え、利用者や来街者に親しまれる施設を目指す位置付けています。
21	2 基本計画策定にあたって	武蔵野公会堂が改修等により目指すべき姿	「文化」や「文化的」という言葉はよく使用されるが、それが何であるか説明できるかという点、とても難しい。武蔵野市は文化的なまち、と感じている人も少なくはないと思うが、何をもってそう感じているのかは、人によってまちまちであり、おそらく説明も難しい。その前提で、「文化施設の在り方検討委員会」の提言にある「市民文化の交流・発信拠点」という公会堂の（新しい）姿を、どのように実現するのかは、どこで検討されるのか。公会堂は利用団体の関係者のみの利用が多く、利用者が抱えているイメージはともかく、多くの一般の方のイメージは「文化」や「イベント」ではなく、残念ながら「健康診断の会場」だったわけである。潜在的な利用者も含めて、ホールや諸室については、いわゆる貸館中心の施設運営の需要が高いことは変わらない中で、直接的な利用者でない市民を含めて、「文化」というまちのイメージを想起させ、共有していくためには、どのようなことが出来るのか。今回もたらされる20年でやって見せる必要がある。今回の改修では、そのための設えを整える必要があるのだと思う（明るく開けたロビーやまちとのつながりを感じられる構えがそれになるのだと思う）。そのことは、決して、設計者や指定管理者の提案任せではないと思う。	ご意見として承ります。 本計画では「目指すべき姿」として3つのコンセプトを掲げていますが、管理運営に関する具体的な計画を今後検討していきます。
22	2 基本計画策定にあたって	武蔵野公会堂が改修等により目指すべき姿	日中も土日も多くの人がいるのに、吉祥寺には防災拠点がない。このところ地震も頻発し、向こう20年は大丈夫と言いつても切れない部分があり、かつ先日のトルコ地震では対策を講じていたもののあの被害状況であることから、防災をどうするかを運営に組み込んでほしい。発災時の情報発信をここでどうするか。このエリアの避難所である第三小学校までは距離があり、情報を取りに行くことは困難であり、防災無線も一切聞こえず、対応方法がないとの回答を受けている。ここが情報発信の場となってほしい。	地域防災計画で公会堂は帰宅困難者一時滞在施設という位置づけであり、改修後の施設においても適切に備蓄倉庫を確保する予定です。防災上の役割については今後も継続的に検討します。
23	2 基本計画策定にあたって	改修等の基本方針	①安全性と機能性を確保しコストバランスに配慮した改修等工事 本文内容に賛同するとともに、下記の下線部分の追記を提案する。 (追記提案) ○老朽化が著しい電気・空調・給排水の一般設備については、安全性の確保の視点に加え、建築物のエネルギー消費性能の向上に加え、 <u>高効率機器の採用による省エネルギー化等</u> により環境負荷の低減を図り、ランニングコストにも留意して、全面更新を前提とした改修とする。	今後の設計段階において留意すべきご意見として承ります。

No.	計画案の項目		意見	市の考え
	大項目	中項目		
24	2 基本計画 策定にあ たって	改修等の 基本方針	2-(3)-①-3項目め 「公共施設の保有量の適正化」とあるがなにが適正なのかは状況によると思う。適正化・床面積の過度な増加という文 言に気をとられるあまり、本当に必要な増築の妨げにならないようにしてほしい。せっかく改修したのに「帯に短し襷 に長し」の中途半端な機能とならないよう注意していただきたいです。	今後の設計段階において留意すべきご意見として承ります。
25	2 基本計画 策定にあ たって	改修等の 基本方針	2-(3)-③ 会議室機能は本当に必要だろうか？ホール使用団体と管理者が打ち合わせするための会議室のみ残し、あとは(舞台か らの動線がなんとなかなら)楽屋やリハーサル室・練習室を新設したほうが、芸術文化活動をする市民にとっては利 便性が高く、舞台を有する施設としてふさわしいように思う。会議室は吉祥寺南コミセン・本町コミセン・御殿山コミ セン・商工会館などの市施設や、民間の貸会議室などで代用できる。	本計画では、会議室という限定的な活用ではなく、様々な活用を図れる「諸 室」として整理し、練習室や楽屋などとしても使うことができるよう、仕様 や配置を検討していくこととしています。
26	2 基本計画 策定にあ たって	改修等の 基本方針	武蔵野市の文化を発展させたいとも思うものの、全面的に建替えるにあたってはまちづくりとともに進まなくてはなら ないと考えている。なぜ公会堂だけなのか、と思われるのではないかな不安がある。	公会堂の検討と並行して吉祥寺駅南口の将来像立案の検討も進めており、共 有すべき課題や今後の検討の進め方などについて令和5年度に周知を行う予 定です。
27	2 基本計画 策定にあ たって	改修等の 基本方針	開館から60年という年月が経っており、近代化の中で、市民の色々な意見を発表する場である公会堂、という一つの形 式が生まれ、非常に生き生きとした市民の思いがの中に籠っている中、新しくして再出発するという意味合いで、何 か哲学みたいなものがほしい。公会堂を壊すのではなく保存しつつ改修する、という選択は素晴らしいと思っている が、RCが問題ないという理由での延命化ということだけではなく、古い建物が新しく次の世代に向かって展開してい くことに対する一つの理念や考え方のようなものがもう少しあるとよい。	No.18をご参照ください。
28	3 主な改修 項目		3全般 「主な改修事項(実現すべき空間・機能)」に記載されている内容がすべて実行できれば素晴らしいが、現在の敷地面 積・床面積で実行できるかといえば相当難しいのではないかな。実現する優先順位をつけた上で、本当に必要であれば公 共施設等総合管理計画の縛りに負けない、思い切った増築・増床面積の判断が必要だと思う。	本計画P29にて「今後の設計においては、施設の残耐用年数を踏まえ、改修 等の優先度を見極めながら、仕様や改修等の範囲を決定していくことが重要 になる。」と記載しているとおり、コストバランスに十分に配慮して今後の 設計段階で具体的な改修等内容を精査していきます。
29	3 主な改修 項目	ホール機 能	3-(1)-①-2項目め プロの演奏家を呼ぶための施設ではないのなら、ピアノはヤマハかスタインウェイのどちらか1台に絞ってはいかが か。2台分のピアノ庫を設置する余裕はないのでは？	2 台のピアノ配置は、2台ピアノ曲の演奏ができる等の利点がありますが、 スペースとの兼ね合いも含めて今後の設計において検討いたします。
30	3 主な改修 項目	ホール機 能	ホールの座席は当初はプラスチック製で冷たく座布団を置いてほしいとの要望が結構多かったので、席数を減らし今の 布製の椅子に変更している。それを再度交換しようとする高額になるので有効活用しながらできないのか気になる。	椅子のサイズが現在のニーズより小さく、また、通路幅を現行法に適合させ るためには交換が必要となります。再利用の取り組みについては参考とさせ ていただきます。

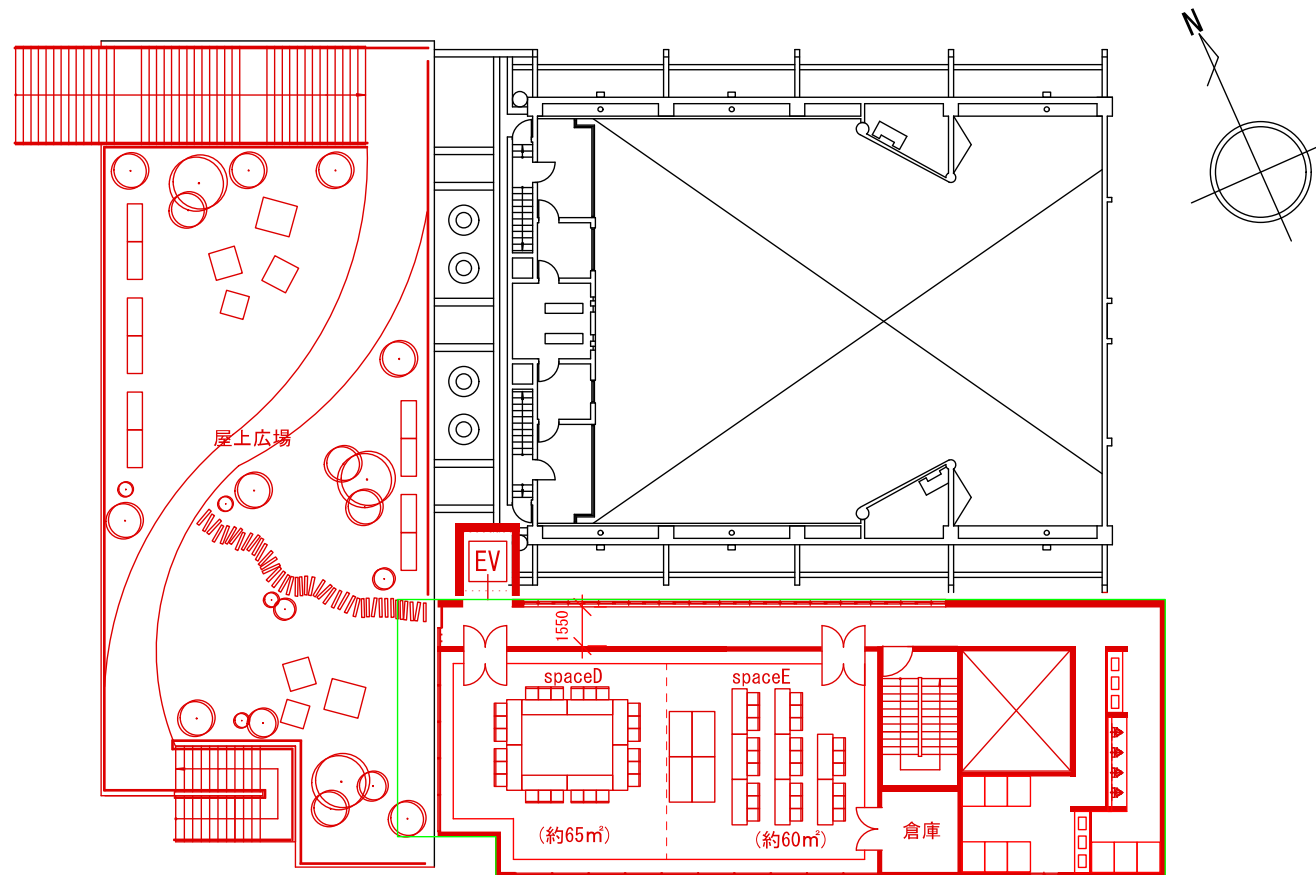
No.	計画案の項目		意見	市の考え
	大項目	中項目		
31	3 主な改修項目	諸室機能	③その他 本文内容に賛同するとともに、下記の下線部分の追記を提案する。 (追記提案) ○災害時の帰宅困難者一時滞在施設と位置付けられているため、防災備蓄倉庫は引き続き確保する必要がある。また、大規模停電時の電源確保として、多様なエネルギー（都市ガス、LPGガス等）の活用によるコージェネレーションシステムや停電対応型GHPの有効性を検討するとともに、再生可能エネルギーの活用など、災害時にも電力を確保できるような検討が必要である。	非常用発電設備の必要性については本計画P26に記載しました。その他の詳細のご意見については、今後の設計段階において参考といたします。
32	3 主な改修項目	共用空間等	色々なものを含めたまちづくりというのは、行政が関わらないと絶対できないことなので、色々な面から安心して暮らせるようなまちづくりを考えてほしい。	現在、都市整備の分野のみでなく、産業振興なども含め、吉祥寺駅南口のまちの将来像の立案について検討を進めています。
33	4 事業概算費用	改修等工事概算額	改修工事の費用概算が一番高額な案で約20億円だったが、設計や解体費用などの付随するものを含めた総工費が約20億円という認識でよろしいか。	改修費用の積算についてはモデルプランをベースに工事費を積み上げて算出しています。その費用には現会議室棟の2階から上を解体する費用や南側に新棟を建設する費用、ホール機能の拡充や劣化への対応、その他共通仮設費等の諸経費を含め、現在の単価で見込んでいます。設計費用や工事監理費は含まれていません。
34	4 事業概算費用	改修等工事概算額	基本計画が改修の提案で終わってしまっており、次のホールの改修あるいは、全面新築のイメージが全く想定されていないのはおかしい。コストも、次のプランを入れた総合的なコストで比較するべきでとりあえずの改修計画コストと改築コストを比べても意味がない。また、コスト比較はおすすめの改善案2がベースになっており、改善案1のコストが明示されていない。最初から改善案2ありきの意見誘導に見える。仮に20年で全面移転ということになれば改善案1の方がましである。この場所ですやはり継続となれば、このくらいの差なら全面建て替えの方が、長寿命で最先端に生まれ変わるのでいいと思う人が多いのではないかな？新築コストを20年で割るか、80年で割るかの問題になる。ちなみに私は、とりあえずの延命でいいと思うが、次のアクションとコストを示していただかないと判断できない。いわゆる「ライフサイクルコスト」を示すべきである。	令和3年度に策定した「文化施設整備計画」においては、改善案1や新築に係る費用について、維持管理に係る費用も含めて示しています。 なお、80年の使用を前提として新築する場合には約9,000㎡規模の建物が建つ土地であるため、ご意見を踏まえ本計画P29に説明を追加しました。
35	4 事業概算費用	改修等工事概算額	アスベスト処理だけでも5億円くらいかかるのではないかな。参考モデルプラン①では約17億で済むのか。	アスベスト調査の実施結果をもとに、現状は概算の費用として3,900万円ほどを見込んでいます。今後の設計段階において改めて詳細を検討していきます。
36	5 事業手法の検討	事業手法について	設計者や業者の選定ではしっかりと方向性を示しつつ、市民が安心してまちづくりに参加できるような方法をとっていただきたい。	今後の設計段階において留意すべきご意見として承ります。
37	6 管理運営の考え方	運営面における必要な取り組み	今までとは異なる施設運営が必要になるのであって、事業といっても、これまでのような公演以外の事業を展開する必要が出てくるので、運営経費もこれまでと比較するものではないだろう。つまり、貸館業務の絶対量は変わらないまま、指定管理事業全体に占める割合は下がるだろう。貸館中心の施設の指定管理者とは異なるという認識で、公募の是非や具体的検討を行うべきだと思う。今までと異なる方法で指定管理者を選定することは妥当だと思うが、事務方も質・量ともに相当な労力の覚悟をして臨む必要があるだろう。	ご意見として承ります。

No.	計画案の項目		意見	市の考え
	大項目	中項目		
38	6 管理運営の考え方	運営面における必要な取り組み	ハードの設えも必要だが、今後、施設の運用面でも、使用料や減免等の制度など、この施設をどのように「市民文化の交流・発信拠点」としていくのかという工夫も検討する必要があるだろう。	ご意見として承ります。
39	6 管理運営の考え方	運営事業者の体制等	公会堂が改修等により目指す姿を大切にしていきたい。市民が文化や学習等の活動をしていく場として使用しており、そういう経過で作りあげられてきている。改修完了後の指定管理者については公募による選定が予定されており、本当に目指す姿を達成できるのか。これを達成するには使用料の問題もあるので、高額にならず、大げさなものでなくとも構わないので、市民が使用できて、でも使い勝手は向上している、ぜひそういうものになってほしい。	運営事業者については公募による選定を予定していますが、市民にとって利用しやすい施設とすることを基本として、今後の利用条件や運営体制等を検討いたします。
40	6 管理運営の考え方	運営事業者の体制等	運営事業者の体制だが、使用料の減免制度を既存の利用団体にとっての利便性が下がるようでは改修の意味はない。	指定管理者の公募に関する具体的な基準や方法はこれから検討しますが、現状の使用料の減免制度については、公会堂だけではなく全体で検討する必要があります。
41	6 管理運営の考え方	運営事業者の体制等	現在の指定管理者が武蔵野文化生涯学習事業団であるが、改修後は公募による選定になる理由は何か。公会堂改修とはどうつながっているのか。	公の施設の指定管理者は、原則として全てが公募の検討対象になります。その中で市の政策と一体で運営していくべき施設等は公募の対象外としていますが、基本的には公募により、優れた運営の提案を募っていくこととなります。
42	7 事業スケジュール		改修でも新築でも工事期間中は施設が使用できないが、代替施設については費用計上していないという理解で良いか。	機能を継続することが必要な市役所や福祉施設等の公共施設は、代替の仮設を計画しますが、文化施設の場合は一時的な休館もやむを得ないと判断しており、代替施設の費用の検討していません。
43	参考資料	武蔵野公会堂参考モデルプラン	巻末の参考モデルプランは、非常に無駄が多く南側の建築はすべて西側に一括すべきである。西側の屋上広場などはほとんど機能しない。是非、西側1棟ストレートな平面形状の5階建程度のプランを検討してほしい。改善案2の新会議室棟の機能をすべて新管理棟に載せれば良いと思う。現在よりも南側のオープンスペースが大きくなり、新しい機能が発生し、次にホールを大規模にする自由度が生まれる。	ご意見として承ります。

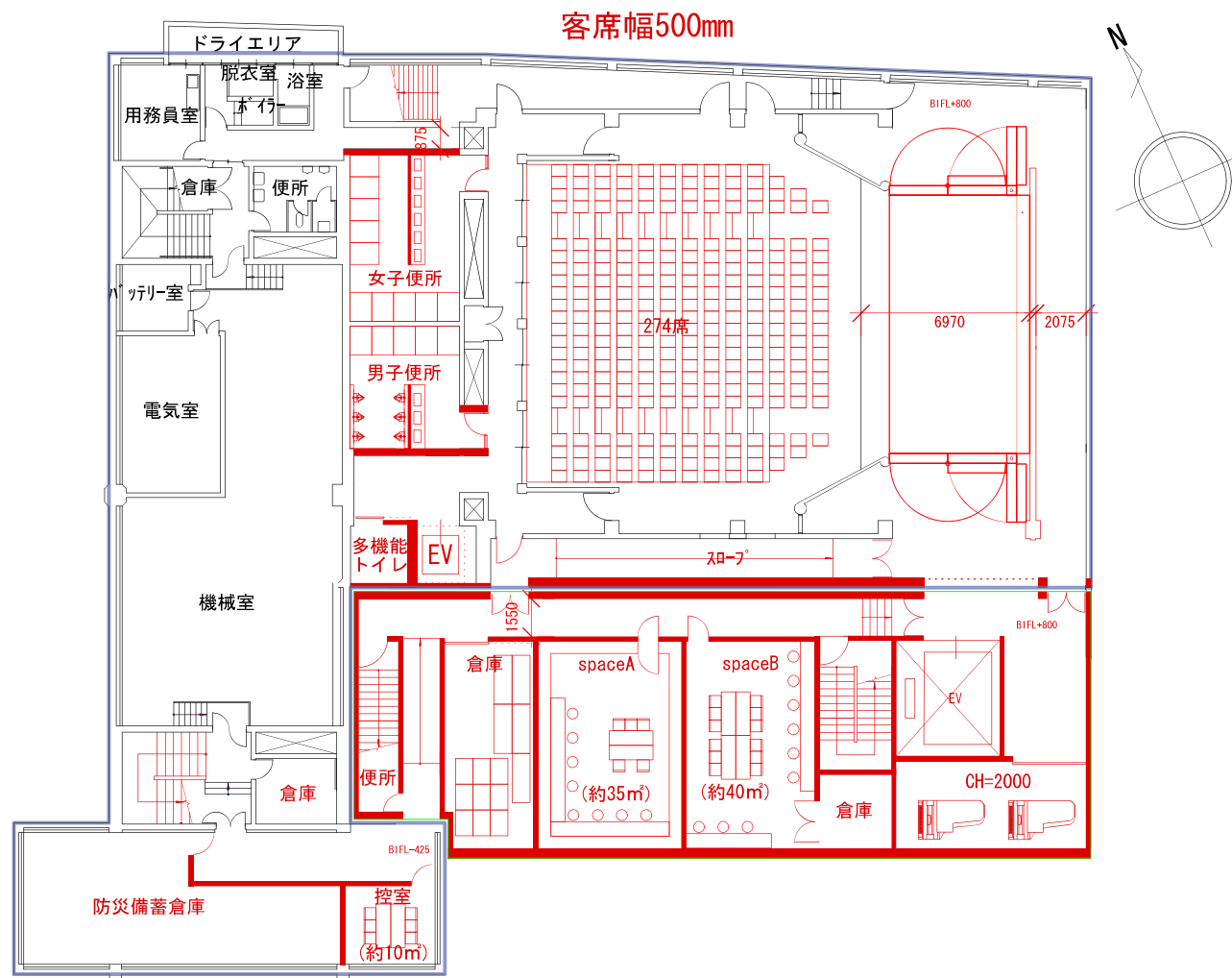
■武蔵野公会堂 参考モデルプラン
(延床面積 約2,570㎡)
※各諸室の面積は概算の内寸値



1 階平面図



2階平面図



地下平面図

武蔵野公会堂改修等基本計画

令和 5 年 4 月発行

武蔵野市市民部市民活動推進課

〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28 武蔵野市役所西棟 7 階

E メール SEC-KATSUDOU@city.musashino.lg.jp

T E L 0422-60-1831 / F A X 0422-51-2000